取扱説明書

FORIS®
FX2431TV

地上・BS・110度CSデジタルチューナー搭載
カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず本取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。この取扱説明書は大切に保管してください。

EIZO®

絵表示について

本書では以下の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

△	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば ⚠ は「感電注意」を示しています。
⃠	禁止の行為を示すものです。たとえば ⃠ は「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示するものです。たとえば ⏚ は「アース線を接続すること」を示しています。

営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、入力された映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。

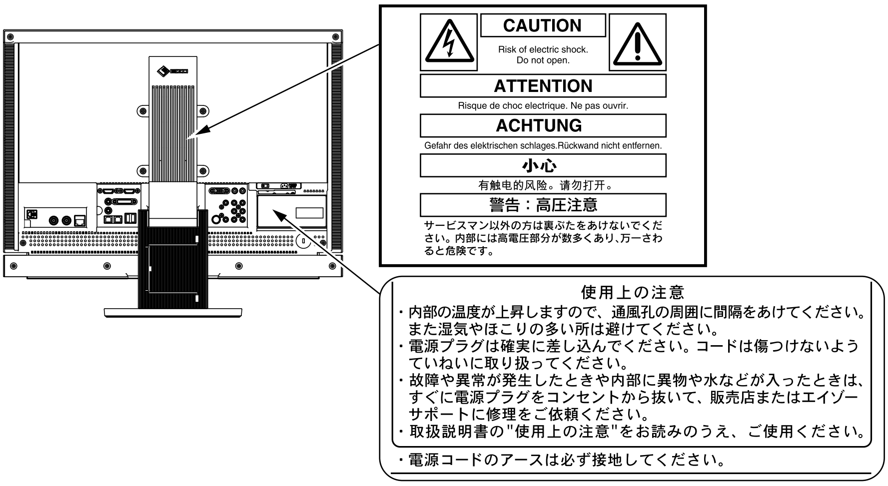
本製品は、米国特許第 5315448 号および第 6836549 号を含む米国特許、およびその他の知的財産権によって保護される著作権保護技術を採用しています。 この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許諾が必要です。本製品の分解や改造は固く禁じられています。

⚠使用上の注意

重要

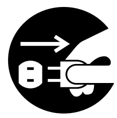
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】



⚠警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



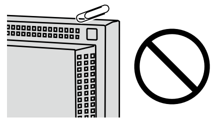
裏ぶたを開けない、製品を改造しない
本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。
また、改造は火災、感電の原因となります。



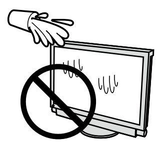
修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する
お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



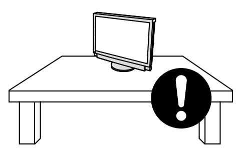
異物を入れない、液体の入ったもの（花瓶など）や濡れたものを置かない
本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。



万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



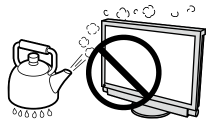
丈夫で安定した場所に置く
不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



⚠ 警告

次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。



- 屋外。車両･船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- 可燃性ガスのある環境。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

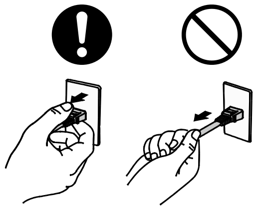
付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する



付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

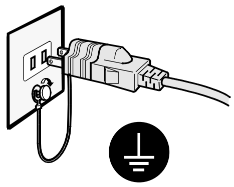
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ



コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

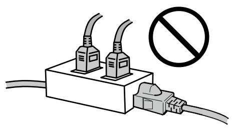
電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する



なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

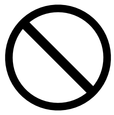
次のような誤った電源接続をしない



誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。

電源コードを傷つけない



電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。

電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

アンテナ工事は販売店またはエイゾーサポートに相談する

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグ / コード、アンテナ線、電話機コードには触れない

感電の原因となります。

アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。

リモコン用乾電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。

・分解や加熱をしたり、濡らしたりしない。
・乾電池の取りつけ、交換は正しくおこなう。
・2 本以上使用する製品での交換は、同じ種類・銘柄の新しい電池を使う。
・プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる。
・被覆にキズの入った乾電池は使用しない。
・廃棄時は地域指定の「乾電池回収箱」などへ入れる。

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。

万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

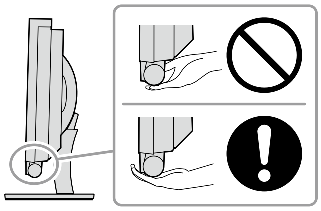
蛍光管バックライトには水銀が含まれているため（LED バックライトを使用した製品は水銀を含有していません）、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。

⚠ 注意

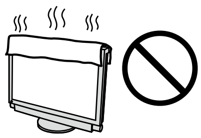
運搬のときは、接続コードを外す
コードを引っ掛け、けがの原因となります。



本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ
落としたりするとけがや故障の原因となります。



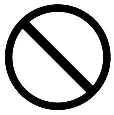
通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。
- 通風孔をカーテンなどでふさがない。
- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 周囲の壁から 10cm 以上の間隔をあけて設置する。
- 横倒しや、逆さにして設置しない。



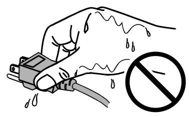
電話回線への接続は正しくおこなう
火災や故障の原因となります。



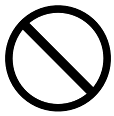
モジュラー分配器、電話機コードを分解、改造したり、端子に触れたりしない
電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などには強い電流が流れ、感電の原因となります。



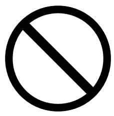
濡れた手で電源プラグに触れない
感電の原因となります。



ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
聴力に悪い影響を与える原因となります。



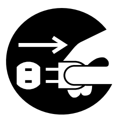
電源プラグの周囲にものを置かない / 製品は電源コンセントの近くに設置する
火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



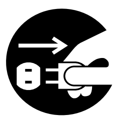
電源プラグ周辺は定期的に掃除する
ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く
プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧、TV 視聴など一般的な用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30 分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。（次ページ「クリーニングのしかた」参照）

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- 液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することをおすすめします。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。
- 本機の近くで電磁波を発生するような機器（携帯電話など）を使用しないでください。機器相互間での干渉により、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。
- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

ソフトウェアのバージョンアップについて

本機をご購入されてからも、より快適にお使いいただくために、本機内部のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。
本機はデジタル放送の電波を利用して自動でソフトウェアをバージョンアップするダウンロード機能に対応しています。お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動でおこなう設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新のソフトウェアでお楽しみいただけます。
自動でダウンロードをおこないたくない場合は、[デジタルメニュー]の[設定する]-[自動更新設定]を「手動」に変更してください。この場合、自動ダウンロードについての情報があるときは、「放送メール」でお知らせします。
ソフトウェアの自動ダウンロードについては、P77を参照してください。

もくじ

もくじ

第 1 章　特長と概要

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1　特長

・24 型ワイド画面　WUXGA（1920 × 1200） 対応

・高色域パネルを採用

AdobeRGB カバー率 96%、NTSC 比 92%の広い色域を実現します。

* 本機は、sRGB への変換には対応していません。

・ステレオスピーカー内蔵

・豊富な入出力端子を搭載

DVI-D コネクタ× 1、D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ× 1、

HDMI 端子× 2、S 映像 / 映像入力端子× 1、コンポーネント映像入力端子× 1

・HDMI 入力で PC 信号に対応。PC 入力と合わせると、コンピュータの 4 系統入力が可能になります。

・S 映像 / 映像入力で NTSC に加え、PAL 信号に対応。

・HDMI 入力およびコンポーネント映像入力で、1080p@24Hz（48Hz 表示）に対応。

アンテナ入力端子（地上デジタル× 1、BS・110 度 CS デジタル× 1）

・USB 自動切り換え機能

入力切換に連動して、モニターに接続した USB 機器が動作するコンピュータも自動的に切り換わります。

*PC 入力に接続したコンピュータに対してのみ有効です。

■ USB 切換の設定をする［USB 切換］（P37）参照

・ゲーム映像の表示に特化した機能を搭載

- スルーモード：映像処理をスキップし、映像表示時の遅延を最小にすることができます。
- リアルイメージ：ドットで表示されるゲーム映像を、ドットを崩すことなく表示することができます。

3-3　ゲーム映像を表示する（P38）参照

・HDMI CEC（Consumer Electronics Control）機能

本機は HDMI CEC に対応しています。HDMI CEC に対応した外部機器を接続すると、相互の制御が可能になり、本機のリモコンで外部機器を操作することができます。

3-4　外部機器を操作する（HDMI CEC 機能）（P39）参照

・デジタルチューナーを搭載

地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送が視聴ができます。

3-5　テレビを見る（P42）参照

・省電力機能

消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。

本機は省電力のためのさまざまな機能を搭載しています。

- 主電源オフ時消費電力 0W

主電源スイッチを装備。

モニターを使用しない時は、主電源スイッチをオフにすることで、確実に電源供給が停止します。

- Auto EcoView （オートエコビュー）機能

モニター正面のセンサーが検知した周囲の明るさと、表示映像の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します。不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担を軽減します。

● 自動明るさ調整の設定を切り換える［Auto EcoView］（P63）参照

- EcoView Index（エコビューインデックス）機能

モニターの輝度に応じた省電力の度合いを、緑のインジケータで示します。

省電力の度合いを意識することで、消費電力の削減につながります。

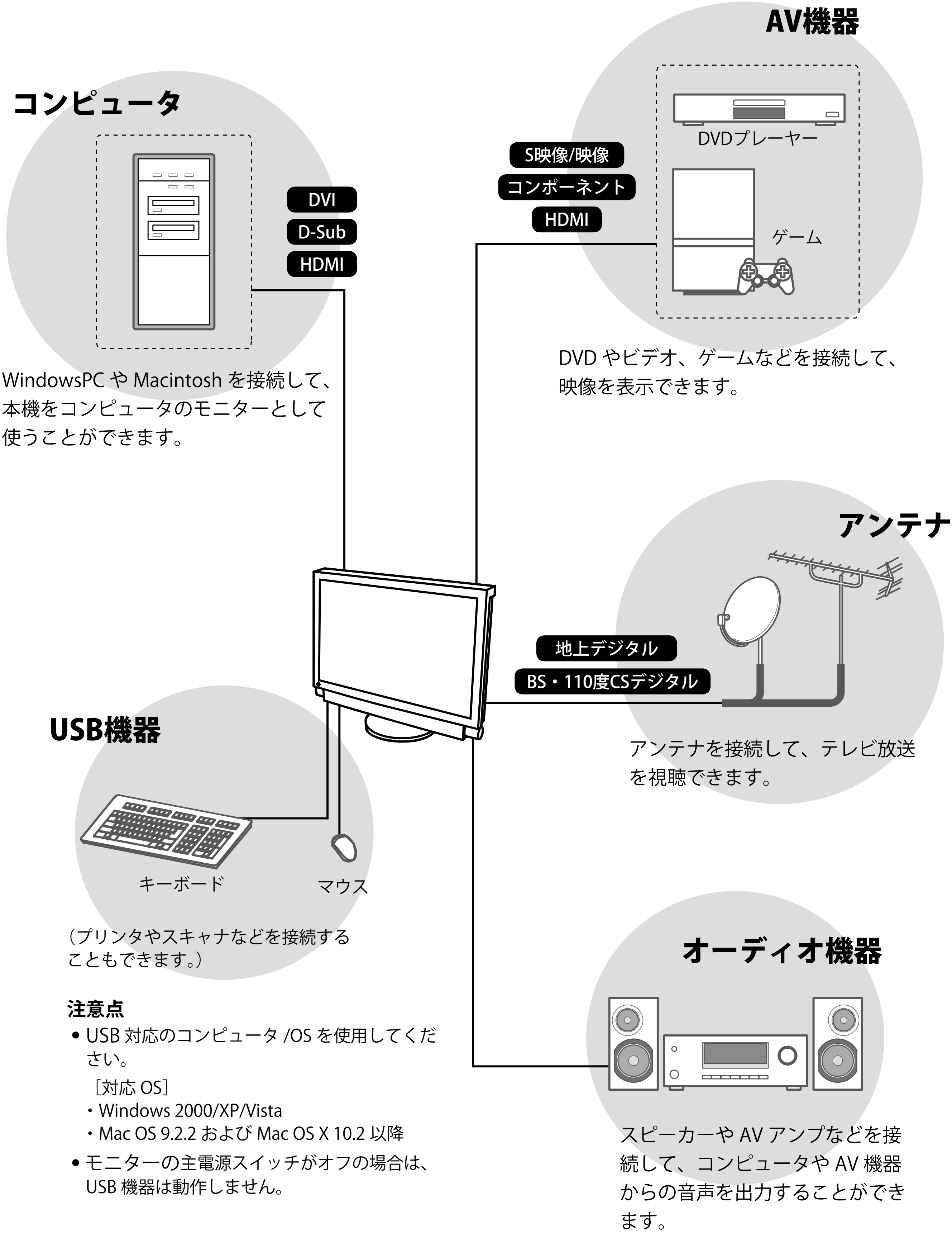
4-5　EcoView Index でモニターの省電力の度合いを表示する（P68）参照

・リモコンによる簡単操作、各種調整 / 設定が可能

リモコン操作ガイド（別紙）参照

・著作権保護技術 HDCP 対応

使用例



注意点

- USB 対応のコンピュータ /OS を使用してください。

  ［対応 OS］
  - ・Windows 2000/XP/Vista
  - ・Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
- モニターの主電源スイッチがオフの場合は、USB 機器は動作しません。

参 考

- ・ヘッドホンをヘッドホン端子に接続して音声を聴くこともできます。

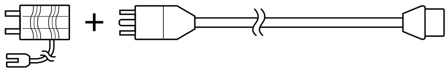
1－2　梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

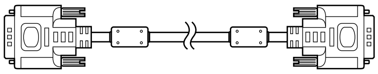
参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

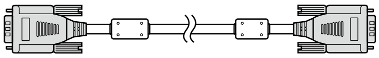
☐ モニター本体
☐ リモコン
☐ 単3形乾電池 2本
☐ 電源コード（二芯アダプタ）



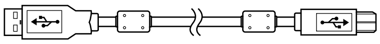
☐ 信号ケーブル（デジタル）：FD-C39



☐ 信号ケーブル（アナログ）：MD-C87



☐ EIZO USBケーブル：MD-C93



☐ アンテナケーブル



☐ 電話機コード



☐ モジュラー分配器
☐ 取扱説明書（本書）
☐ かんたんガイド
☐ デジタル放送受信契約申込書
☐ B-CASカード
☐ 保証書（梱包箱に添付）
☐ ユーザー登録のお願い
☐ お客様ご相談窓口のご案内
☐ EIZO LCD ユーティリティディスク（CD-ROM）
☐ VESAマウント取付用ネジM4×12mm 4本
☐ B-CASカバー

● ユーティリティディスクについて

■ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェアが含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txt または「お読みください」を参照してください。

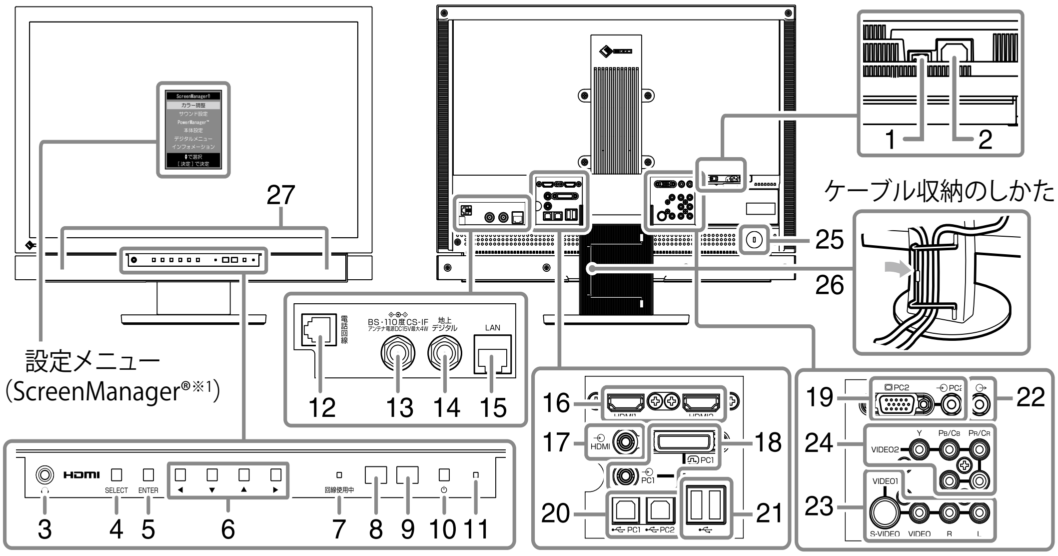
内容	概要	対応 OS
Readmeja.txt または「お読みください」ファイル		
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	Windows ※ご使用の OS が Windows 以外の場合、当社ホームページ（http://www.eizo.co.jp）からダウンロードしてください。
ScreenManager Pro for LCD	マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェアです。 調整可能な項目については「パラメータ調整項目一覧」を参照してください。	Windows XP/Vista
＊ WindowMovie チェックソフトウェア	WindowMovie は、ScreenManager Pro for LCD の機能です。詳細はディスク内の ScreenMananger Pro for LCD の取扱説明書を参照してください。	※ WindowMovie チェックソフトウェアは、Windows Vista には対応していません。
EIZO ScreenSlicer	画面を分割して、複数のウィンドウを効率よく配置するソフトウェアです。	Windows XP/Vista
モニターの取扱説明書（PDF ファイル）		

■ ScreenManager Pro for LCD を使用するときは

ScreenManager Pro for LCD のインストール方法、使用方法については、ディスク内の ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書を参照してください。

1‐3　各部の名称と機能

本体

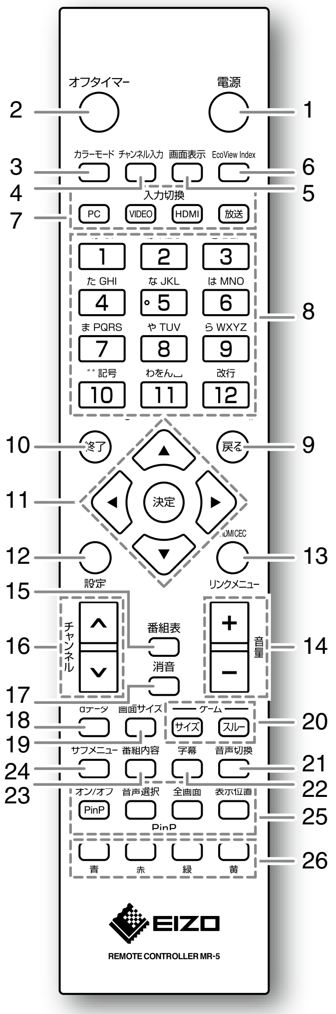


※1 ScreenManager® は当社設定メニューのニックネームです。

1	**主電源スイッチ**	主電源のオン/オフを切り換えます。
2	**電源コネクタ**	電源コードを接続します。
3	**ヘッドホン端子**	［ステレオミニジャック］ ヘッドホンを接続します。
4	**セレクトボタン（SELECT）**	・「SELECT」メニューを表示します。 ・ 押すたびにメニュー内容が切り換わります。 （「SELECT」メニューでは音量調節、チャンネル切換、放送切換、入力切換ができます。）
5	**エンターボタン（ENTER）**	設定メニューを表示し、各メニューの設定/調整項目を決定したり、設定/調整結果を保存します。
6	**コントロールボタン（◀▼▲▶）**	各メニューで設定/調整項目を選択したり、調整値を増減する場合に使用します。
7	**回線使用中ランプ**	電話回線使用中に点灯します（緑）。
8	**センサー**	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView（オートエコビュー）機能（P63参照）
9	**リモコン受光部**	リモコンからの信号を受信します。
10	**電源ボタン**	電源のオン/オフを切り換えます。
11	**電源ランプ**	モニターの動作状態を表します。 青：画面表示　 オレンジ：節電モード　 消灯：主電源スイッチ / 電源ボタンオフ
12	**電話回線端子**	電話回線を接続します。
13	**BS・110度CSアンテナ入力端子**	BS・110 度 CS デジタル用アンテナを接続します。
14	**地上デジタルアンテナ入力端子**	地上デジタル用アンテナを接続します。
15	**LAN端子**	ネットワークを接続します。
16	**信号入力コネクタ（HDMI1/2）**	［HDMI端子×2］ AV機器/コンピュータを接続します。
17	**音声入力端子（「アナログ音声」）**	［ステレオミニジャック］ HDMI入力で、音声信号をHDMI端子以外から入力する場合に使用します。
18	**信号入力コネクタ（PC1）**	［映像：DVI-Dコネクタ / 音声：ステレオミニジャック］ コンピュータを接続します。
19	**信号入力コネクタ（PC2）**	［映像：D-Sub15ピン（ミニ）コネクタ / 音声：ステレオミニジャック］ コンピュータを接続します。
20	**USBポート（UP）**	［アップストリーム×2］ コンピュータと接続します。
21	**USBポート（DOWN）**	［ダウンストリーム×2］ USBに対応している周辺機器を接続します。
22	**音声出力端子**	［ステレオミニジャック］ オーディオ機器を接続します。

23	**信号入力コネクタ（VIDEO1）**	［映像：S映像/映像入力端子 / 音声：ピンジャック］ AV機器を接続します。
24	**信号入力コネクタ（VIDEO2）**	［映像：コンポーネント映像入力端子 / 音声：ピンジャック］ AV機器を接続します。
25	**盗難防止用ロック**	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
26	**ケーブルホルダー**	ケーブルを収納します。
27	**スピーカー**	音声を再生します。

リモコン



1	**電源**		電源をオン/オフします。
2	**オフタイマー**		電源が切れるまでの時間を設定します。
3	**カラーモード**		カラーモードを切り換えます。
4	**チャンネル入力**		チャンネルをチャンネル番号で選ぶときに使います。
5	**画面表示**		デジタル放送や入力の情報を表示します。
6	**EcoView Index**		省電力の度合いを示すインジケータ（緑）を表示/非表示します。
7	**入力切換**		入力を切り換えます。
		PC	PC1/PC2
		VIDEO	VIDEO1/VIDEO2
		HDMI	HDMI1/HDMI2
		放送	地上D/BS/CS1/CS2
8	**数字ボタン**		チャンネルを選ぶときや数字入力、文字入力に使います。
9	**戻る**		メニュー操作などで、メニューを一つ前の画面に戻します。
10	**終了**		メニュー操作などで、メニューを終了します。
11	**▲ / ▼ / ◀ / ▶ / 決定**		画面に表示される各種メニューの項目選択や、設定・調整を決定するときに使用します。
12	**設定**		設定メニューを表示/終了します。
13	**リンクメニュー（HDMI CEC）**		リンクメニューを表示/終了します。
14	**音量**		音量を調節します。
15	**番組表**		番組表を表示します。
16	**チャンネル**		チャンネルを順送りで切り換えます。
17	**消音**		音声を一時的に消します。
18	**dデータ**		データ放送を表示/終了します。
19	**画面サイズ**		画面サイズを切り換えます。
20	**ゲーム**		ゲーム映像を表示しているときに使用します。
		サイズ	画面の表示サイズを切り換えます。
		スルー	スルーモードに切り換えます。 （VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力時のみ有効）
21	**音声切換**		音声を切り換えます。
22	**字幕**		字幕の表示（オン/オフ）や字幕言語を切り換えます。
23	**番組内容**		番組の内容説明を表示します。
24	**サブメニュー**		「サブメニュー」を表示します。
25	**PinP**		
		オン/オフ	2画面（PinP）表示をオン/オフします。
		音声選択	出力音声（親画面/子画面）を切り換えます。
		全画面	子画面を全画面（1画面）で表示します。
		表示位置	子画面の表示位置を切り換えます。
26	**カラーボタン**		データ放送やメニュー操作などで項目を選択するとき、またHDMI CEC機能を使って外部機器を操作するときなどに使用します。

参考

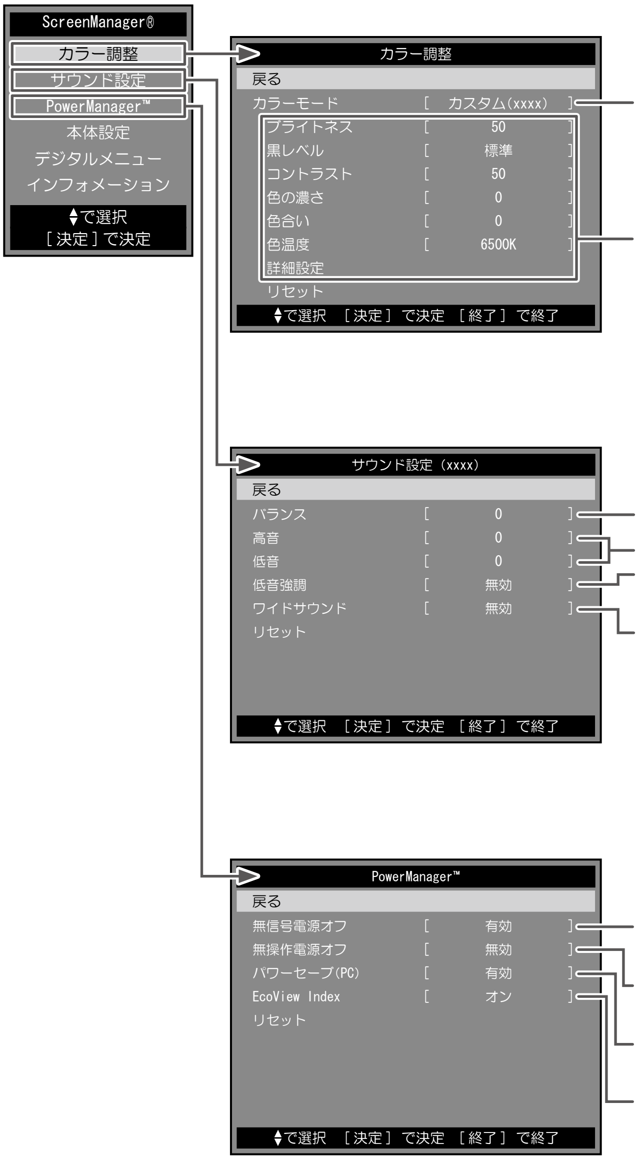
- スルーモードとは、映像表示時の遅延を最小にしたモードです。

1‐4　機能一覧と設定メニュー基本操作方法

機能一覧

注意点
- 入力によって設定できる機能が異なります。（「設定メニュー項目一覧」P94 参照）

設定メニュー（操作方法は P19 参照）



カラー調整をする（簡易調整）

- カラーモードを選ぶ［カラーモード］
  ………………………………………………… P60 参照

カラー調整をする（詳細調整）

- それぞれのモードに対して、［ブライトネス / 黒レベル / コントラスト / 色の濃さ / 色合い / 色温度 /Auto EcoView/ 輪郭補正 / コントラスト拡張 /RGB バランス / ゲイン / ガンマ / ノイズフィルタ / I/P 変換］の設定ができます。
  （モードごとに設定できる機能は異なります。）
  ………………………………………………… P61 参照

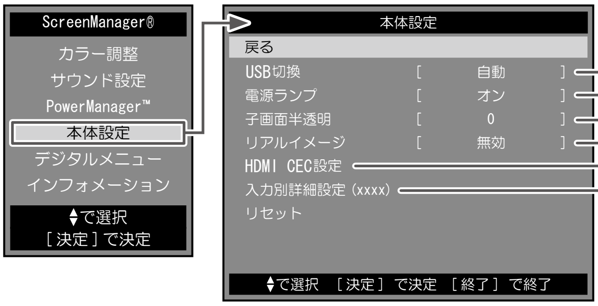
音声を調整する

- 左右の音量バランスを調整する［バランス］… P66 参照
- 高音 / 低音を調整する［高音 / 低音］ ………… P66 参照
- 低音強調の有効 / 無効を切り換える［低音強調］
  ………………………………………………… P66 参照
- ワイドサウンドの有効 / 無効を切り換える
  ［ワイドサウンド］ ……………………………… P66 参照

省電力設定をする

- 無信号時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える
  ［無信号電源オフ］ ……………………………… P67 参照
- 無操作時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える
  ［無操作電源オフ］ ……………………………… P67 参照
- モニターの省電力モードの有効 / 無効を切り換える
  ［パワーセーブ（PC）］ ………………………… P68 参照
- EcoView Index でモニターの省電力の度合いを表示する
  ［EcoView Index］ ……………………………… P68 参照

設定メニュー（操作方法は P19 参照）



本体設定をする

- USB 切換の設定をする［USB 切換］ ………… P37 参照
- 電源ランプの点灯 / 消灯を切り換える［電源ランプ］ ……………………………………… P69 参照
- 2 画面（PinP）表示時の子画面の表示を半透明にする［子画面半透明］ ……………… P52 参照
- リアルイメージの有効 / 無効を切り換える［リアルイメージ］ ……………………………… P38 参照
- HDMI CEC 設定をおこなう［HDMI CEC 設定］ ……………………………………………………… P40 参照

入力別に詳細な設定をする

■ PC 入力時

- 画面のちらつき･表示位置･サイズを自動調整する［自動画面調整］ ………………………………… P56 参照
- 色階調を自動調整する［自動レンジ調整］ … P58 参照
- 縦縞を消す［クロック］ ……………………… P57 参照
- ちらつきやにじみをとる［フェーズ］ ……… P58 参照
- 表示位置のずれを直す［ポジション］ ……… P58 参照
- 画面にノイズが現れた場合に設定する［信号フィルタ］ ………………………………… P81 参照
- 音声のレベルを調整する［音声レベル］ …… P67 参照

■ VIDEO 入力時

- 画面サイズの自動切換の有効 / 無効を切り換える［画面サイズ自動切換］ ………………………… P53 参照
- 画面の表示率を設定する［画面表示率］ …… P54 参照
- 映像の色にじみや色縞、点状のノイズをとる［3D YC 分離］ ……………………………………… P82 参照
- 正しく画面が表示されない場合に設定する［カラーシステム］ ……………………………… P82 参照
- ちらつきやにじみをとる［フェーズ］ ……… P59 参照
- 音声のレベルを調整する［音声レベル］ …… P67 参照

■ HDMI 入力時

- 入力フォーマットを設定する［入力フォーマット］ …………………………… P69 参照
- 画面サイズの自動切換の有効 / 無効を切り換える［画面サイズ自動切換］ ………………………… P53 参照
- 画面の表示率を設定する［画面表示率］ …… P54 参照
- 正しく色が表示されない場合に設定する［カラースペース］ ……………………………… P82 参照
- 音声の入力端子を設定する［音声入力端子］ ………………………………… P70 参照
- 音声のレベルを調整する［音声レベル］ …… P67 参照

■テレビ放送時

- 画面の表示率を設定する［放送表示モード］ ………………………………………………… P54 参照

設定メニュー（操作方法は P19 参照）



番組を探す

- 番組表で選ぶ［番組表］ ………………………… P43 参照
- 今放送中の番組を選ぶ［今放送中から］ …… P44 参照
- ジャンルで検索して選ぶ［ジャンル別に］ … P44 参照

情報を見る

- いろいろな情報を見る（［放送メール］/［B-CAS カード］/［ステータス表示］/［ボード］） …………… P51 参照
- ペイ・パー・ビュー番組の購入状況を確認する［購入記録］ ………………………………………… P49 参照
- ペイ・パー・ビュー番組の購入情報の送信結果を確認する［購入記録送信結果］ ……………… P49 参照
- 双方向通信の一覧を表示する［双方向通信一覧］ ……………………………………………………… P48 参照
- お好みページを見る［お好みページ］ ……… P48 参照

設定する

- 字幕 / 文字スーパーの表示を設定する［字幕の設定］ …………………………………… P47 参照
- 視聴制限を設定する［制限項目設定］ ……… P50 参照
- 文字の入力設定をする［文字入力設定］ …… P88 参照
- 選局対象を設定する［選局対象］ …………… P45 参照
- 二重音声の設定をする［二重音声設定］ …… P46 参照
- 番組タイトルの表示 / 非表示を設定する［タイトル表示］ ………………………………… P47 参照
- 機能待機の設定［機能待機］ ………………… P74 参照
- チャンネル設定をする［チャンネル設定］ … P70 参照
- 地域設定をする［地域設定］ ………………… P72 参照
- 受信設定をする［受信設定］ ………………… P72 参照
- 電話設定をする［電話設定］ ………………… P74 参照
- B-CAS カードの動作をテストする［B-CAS カードテスト］ ………………………… P74 参照
- ネットワーク設定 / ブラウザ設定をする［ネットワーク設定 / ブラウザ設定］ ………… P75 参照
- 自動更新設定（ダウンロード予約）をする［自動更新設定］ ………………………………… P77 参照
- すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す［設定リセット］ ………………………………… P78 参照

情報をみる

- モニター情報を表示する［インフォメーション］ ………………… P77 参照

- 操作ボタンをロックする …………………………………………………………… P77 参照
- EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り換える ………………………………………… P77 参照
- 表示されているメニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す［リセット］ ……………… P78 参照

設定メニューの基本操作方法

［**設定メニューの表示と機能の選択**］

■ 設定メニューの表示

- リモコンの場合：(設定)を押します
- 本体操作ボタンの場合：ENTER を押します。

■ 項目選択メニュー、設定 / 調整画面の表示

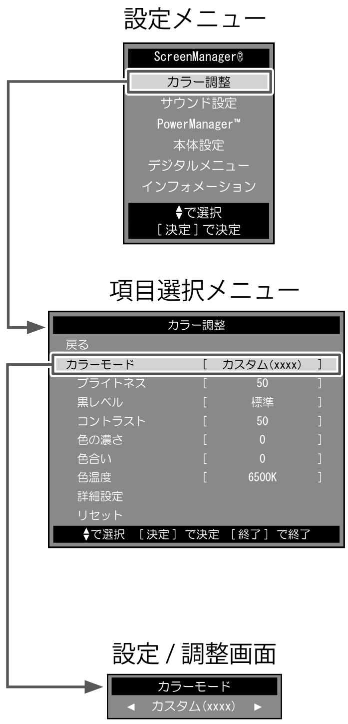
- リモコンの場合：
  コントロールボタン（▲ / ▼ / ◀ / ▶）で機能を選択し、(決定) を押します。
- 本体操作ボタンの場合：
  コントロールボタン（▲ / ▼ / ◀ / ▶）で機能を選択し、ENTER を押します。

■ 設定 / 調整

コントロールボタン（▲ / ▼ / ◀ / ▶）で設定 / 調整します。

■ 確定

- リモコンの場合：(決定) を押します。
- 本体操作ボタンの場合：ENTER を押します。



［**メニューの終了**］

- リモコンの場合：(終了)を押します。
- 本体操作ボタンの場合：ENTER を 2 回続けて押します。

参 考

- リモコンの(戻る)を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

注意点

- 本体操作ボタンでは、デジタルメニューの操作はできません。

第 2 章　準備する

2 - 1　準備の流れ

以下の流れで必要な準備（設置・接続・設定）をおこないます。

手順① 2-2 リモコンの準備 P21

手順② 2-3 接続する

- コンピュータのモニターとして使用する場合 P22
  - ■ コンピュータを接続する
  - ■ USB機器を接続する
- AV機器を使用する場合 P25
  - ■ AV機器を接続する
- テレビを見る場合 P26
  - ■ B-CASカードを取り付ける
  - ■ アンテナを接続する
  - ■ 電話回線に接続する
  - ■ ネットワークに接続する
- オーディオ機器を使用する場合 P32
  - ■ オーディオ機器を接続する

↓

電源コードの接続 P32

手順③ 2-4 高さ・角度を調節する P32

テレビを見る場合･･･

手順④ P33

2-5 かんたん設置設定をする

デジタル放送を見るための設定をおこないます。

以上で準備完了です。

必要に応じて･･･
画面や音声の調整、本機の設定などをおこなってください。

参 考

- アンテナを接続した後に、アンテナの方向調整が必要になる場合があります。
- 電話回線の接続は、データ放送の双方向通信サービスの利用やペイ・パー・ビュー番組の視聴などに必要です。
  電話回線に接続した場合は、［電話設定］（P74 参照）をおこなってください。
- ネットワークの接続は、インターネット経由でデータ放送の双方向通信サービスを利用する場合に必要です。
  ネットワークに接続した場合は、［ネットワーク設定 / ブラウザ設定］（P75 参照）をおこなってください。

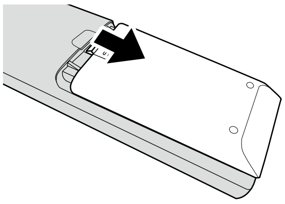
参 考

- BS･110 度 CS デジタル放送では、別途各放送局と受信契約が必要になる場合があります。

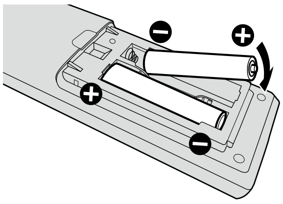
2 - 2　リモコンの準備

● 乾電池を入れる

(1) リモコンの底面を上にし、矢印の方向にスライドさせ、カバーを取り外します。

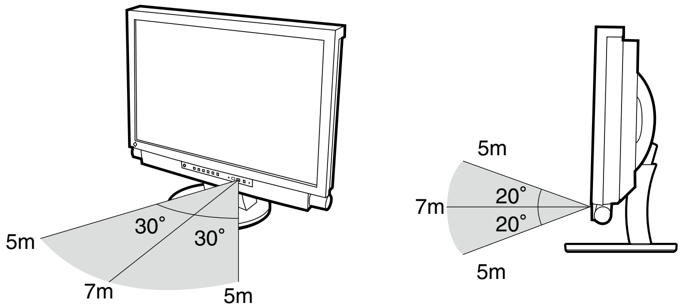


(2) 単 3 形乾電池を入れ、カバーを元に戻します。



● 受信範囲

リモコンは図の範囲から操作してください。



2 - 3 接続する

［接続手順］

1 **本機の用途に応じて外部機器やアンテナなどを接続します。**

- コンピュータのモニターとして使用する場合 P22
- AV 機器を使用する場合 P25
- テレビを見る場合.. P26
- オーディオ機器を使用する場合 P32

● コンピュータのモニターとして使用する場合

注意点

・今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、接続する前に下記を参照して、コンピュータの設定を必ず本機で表示できる解像度、垂直周波数に変更しておいてください。

対応解像度

本機は以下の解像度に対応しています。

解像度	垂直周波数	表示モード	デジタル信号入力の場合 ドットクロック：~ 162MHz	アナログ信号入力の場合 ドットクロック：~ 162MHz
640 × 400	70Hz	NEC PC-9821	―	○
640 × 480	67Hz	Apple Macintosh	―	○
640 × 480	~75Hz	VGA, VESA	○（60Hz）	○
720 × 400	70Hz	VGA TEXT	○	○
720 × 480	60Hz	VESA	○	○
848 × 480	60Hz	VESA	○	○
800 × 600	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
832 × 624	75Hz	Apple Macintosh	―	○
1024 × 768	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
1152 × 864	75Hz	VESA	―	○
1152 × 870	75Hz	Apple Macintosh	―	○
1280 × 768 ※1	60Hz	VESA CVT RB	―	○
1280 × 768 ※1	~75Hz	VESA CVT	―	○
1280 × 960	60Hz	VESA	○	○
1280 × 960	75Hz	Apple Macintosh	―	○
1280 × 1024	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
1360 × 768	60Hz	VESA	―	○
1600 × 1200	60Hz	VESA	○	○
1680 × 1050 ※1	60Hz	VESA CVT	○	○
1680 × 1050 ※1	60Hz	VESA CVT RB	○	○
1920 × 1200 ※1 ※2	60Hz	VESA CVT RB	○	○
1280 × 720p	50Hz ※3, 60 Hz	720p	○（60Hz）	○
1920 × 1080p	50Hz ※3, 60 Hz	1080p	○（60Hz）	○
1920 × 1080p ※3	24Hz, 25Hz, 30Hz, 48Hz	1080p	○	―

※1 ワイドの信号を表示する場合は、VESA CVT 規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。

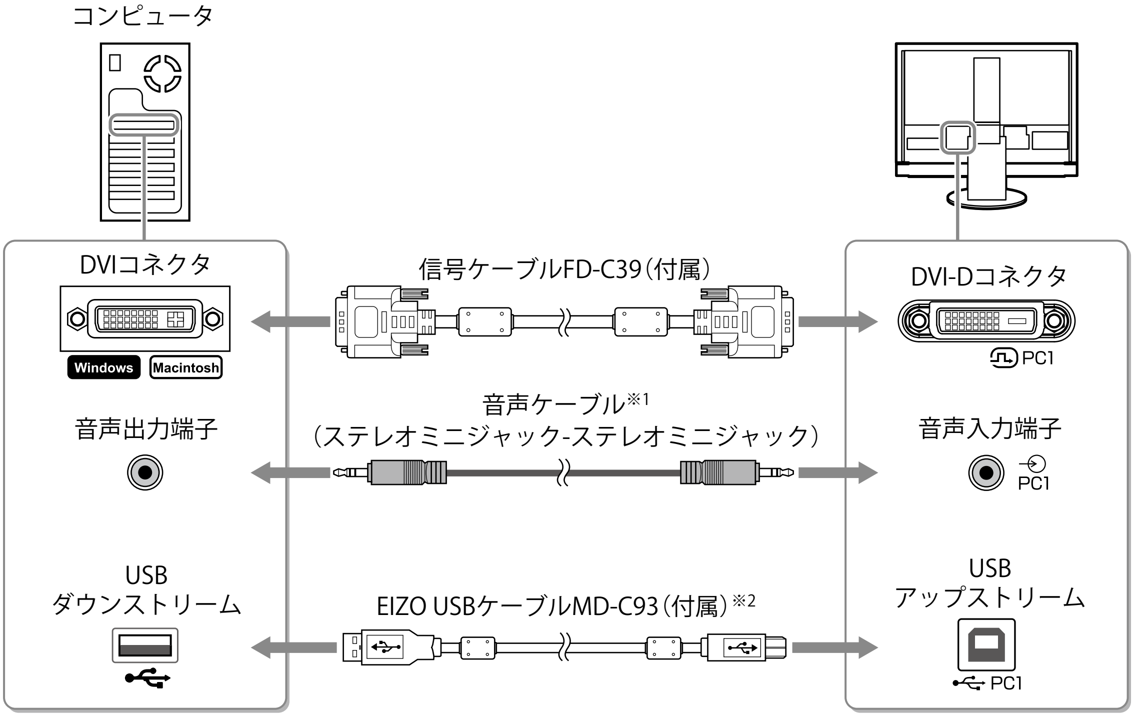
※2 推奨解像度です。（この解像度にしてお使いください。）

※3 マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

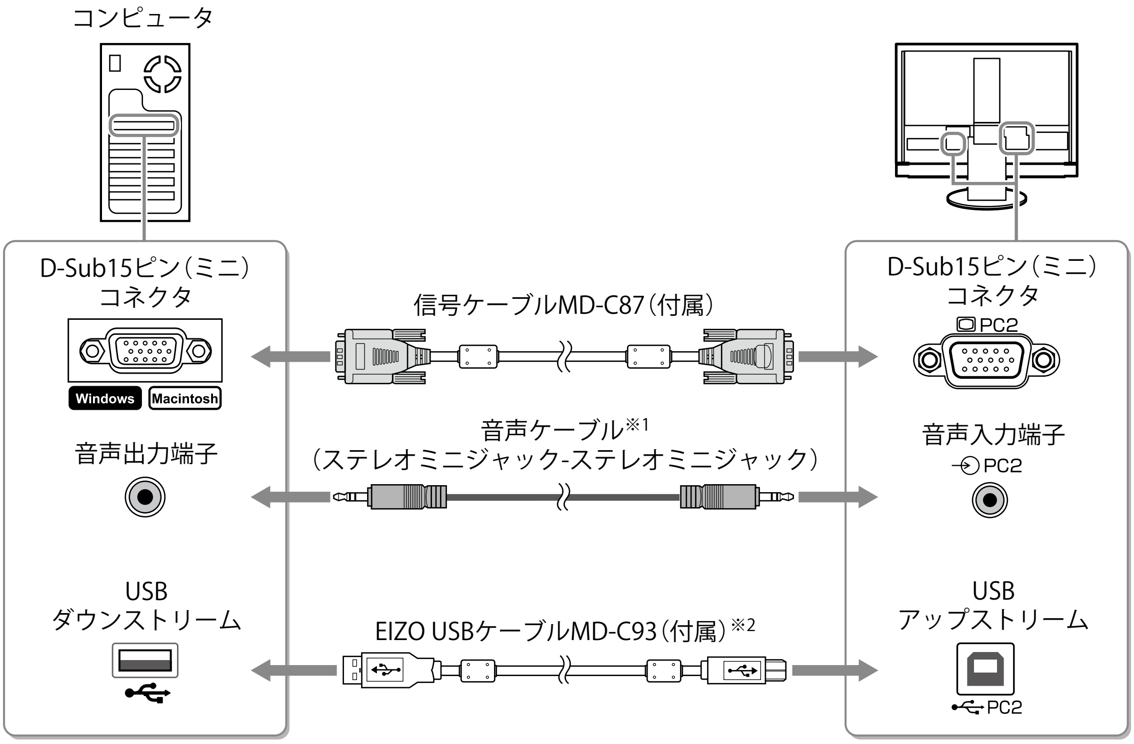
■コンピュータを接続する

(1) コネクタに合った信号ケーブルを使って、コンピュータとモニターを接続します。
信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

【PC1 入力に接続する場合（デジタル信号接続）】



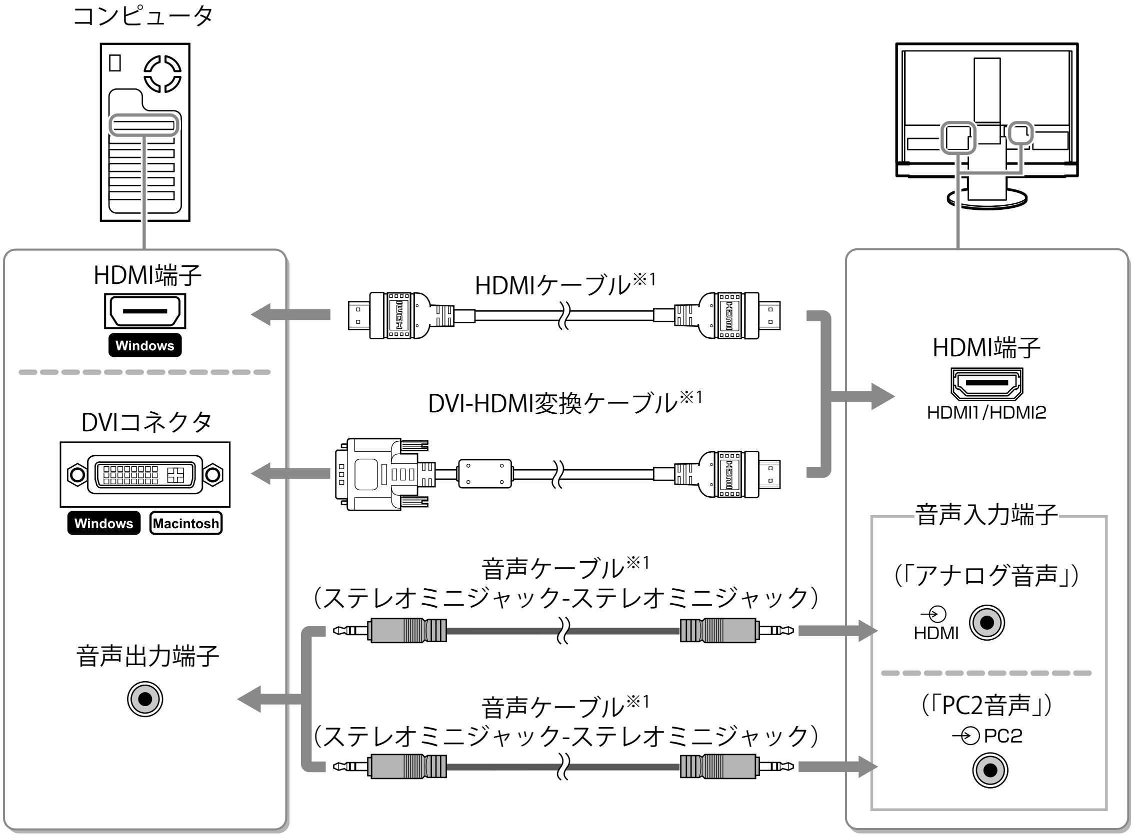
【PC2 入力に接続する場合（アナログ信号接続）】



※1 別途お買い求めください。
※2 コンピュータを 2 台接続する場合は、
別途 USB ケーブルをお買い求めください。

次ページにつづく>>

【HDMI1/2 入力に接続する場合（デジタル信号接続）】



※1 別途お買い求めください。

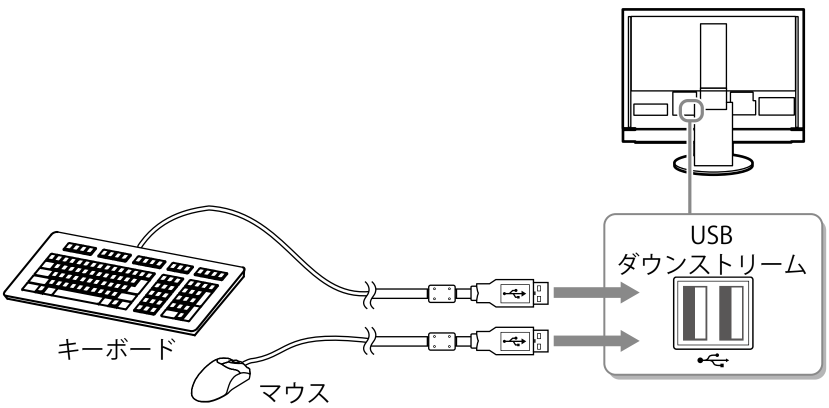
注意点

・コンピュータを HDMI 入力に接続する場合は次の点に注意してください。

- 設定メニューの［入力フォーマット］設定（P69 参照）を「PC」に設定してから、コンピュータを起動してください。
- 設定メニューの［音声入力端子］設定（P70 参照）で、コンピュータからの音声を入力する端子を設定（「PC2 音声」または「アナログ音声」）してください。

■ USB 機器を接続する

(1) USB 機器（キーボードやマウスなど）をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続します。



注意点

・接続後、電源を入れると自動で USB 機能がセットアップされます。
・使用するコンピュータ、OS および USB 機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
・モニターの主電源スイッチがオフの場合は、USB 機器は動作しません。

参考

・入力切換に連動して、USB 機器が動作するコンピュータ（PC1/PC2）も自動的に切り換わります。
　また、USB 機器が動作するコンピュータを指定することもできます。（P37 参照）

● AV 機器を使用する場合

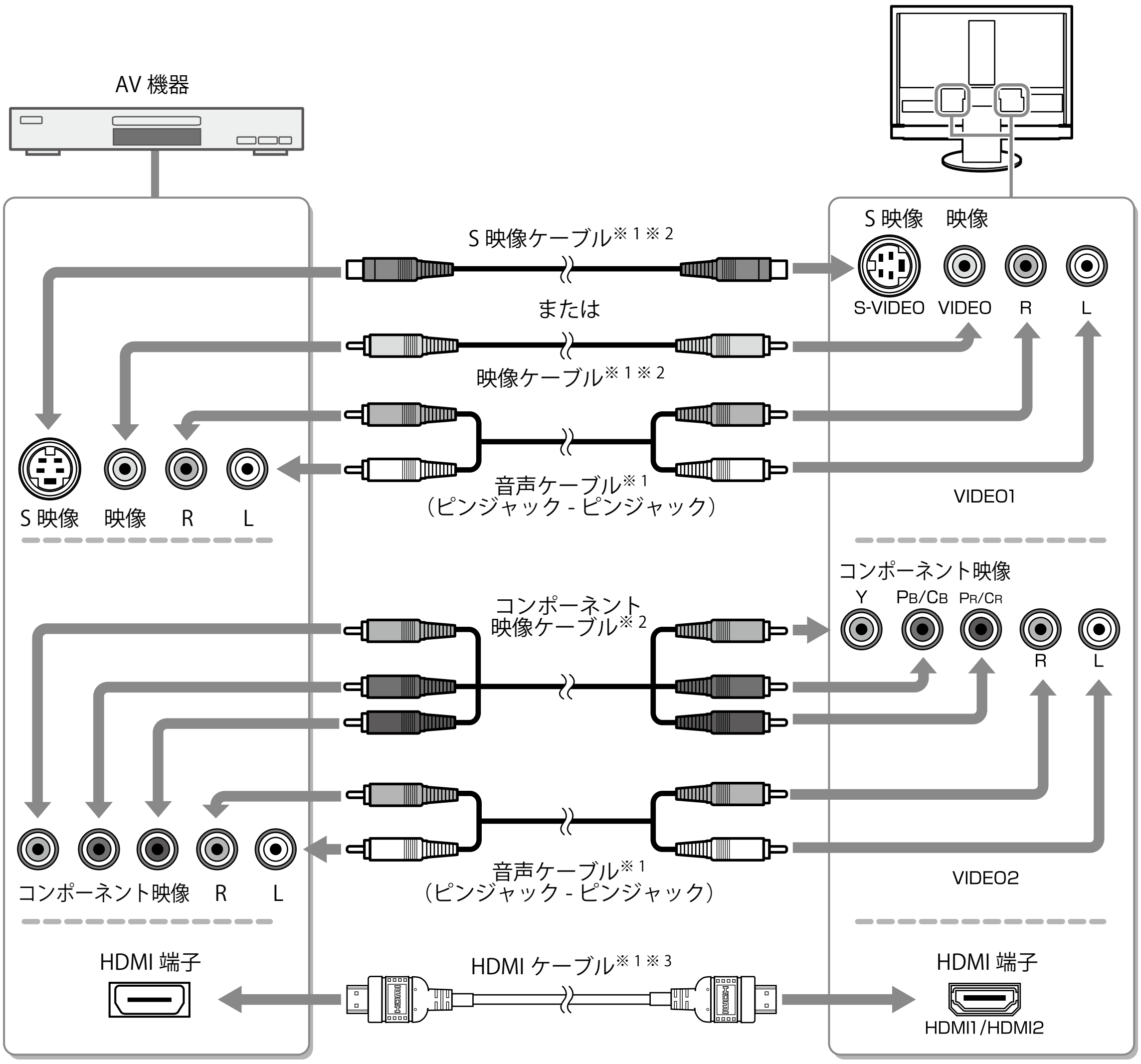
対応信号フォーマット

本機は以下の信号フォーマットに対応しています。

入力	対応フォーマット	
VIDEO 入力	S 映像 / 映像信号の場合	- NTSC / PAL / PAL-60
	コンポーネント映像信号の場合	- 525i（480i） / 525p（480p）：60Hz - 625i（576i） / 625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i） / 750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/50Hz/60Hz
HDMI 入力	・ 映像信号 - 525i（480i） / 525p（480p）：60Hz - 625i（576i） / 625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i） / 750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/25Hz/30Hz/50Hz/60Hz ・ 音声信号 - 2ch リニア PCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz）	

■ AV 機器を接続する

(1) コネクタに合った信号ケーブルを使って、AV 機器とモニターを接続します。



※ 1 別途お買い求めください。
※ 2 どちらか一方を接続してください。
※ 3「High Speed HDMI™ Cable」と表記のあるケーブルをご使用ください。

● テレビを見る場合

■ B-CAS カードを取り付ける

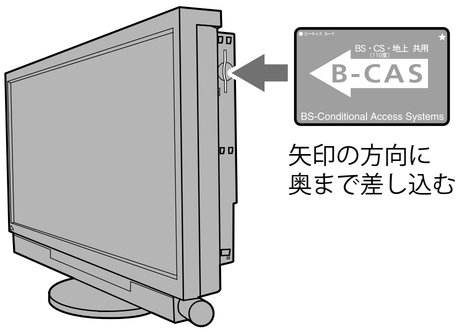
付属の B-CAS カードを本体に挿入しないと、デジタル放送の視聴はできません。デジタル放送をご覧になる前に、必ず挿入してください。（B-CAS カードは常に挿入しておいてください）B-CAS カードの取扱いの詳細は、B-CAS カードが貼ってある台紙の説明を参照してください。

参考

・カードを紛失した場合や盗難にあった場合、また、破損したり汚れたりした場合には、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。連絡先は、B-CAS カードが貼ってある台紙に記載されています。

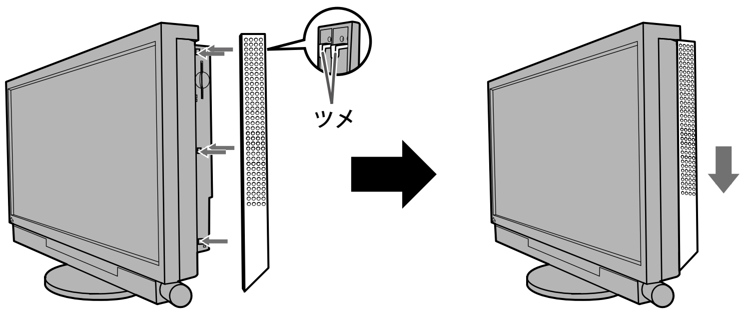
(1) 側面挿入口に、矢印の方向に B-CAS カードを差し込みます。

奥までしっかりと差し込んでください。



(2) 付属の B-CAS カバーを取り付けます。

B-CAS カバーのツメをモニターの取り付け穴に差し込み、下にスライドさせて固定します。



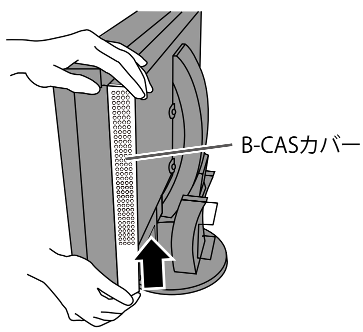
CS 放送など、契約の必要なチャンネルの受信契約をする際には、加入申込書に B-CAS カードの説明紙に付いている「加入申込書用バーコードシール」を貼るか、B-CAS カードの登録番号を記入する必要があります。

参考

・B-CAS カードの登録番号は、B-CAS カードを取り出さなくても画面に表示することができます。詳しくは、「いろいろな情報を見る」（P51）を参照してください。

注意点

・B-CAS カバーは、カバーを上方向にスライドさせて取り外します。その際、力の加減によって、カバーが勢いよく外れ上方向に飛び出す恐れがあるので、必ず**カバーの上部に手を添えて**スライドさせてください。



■アンテナを接続する

参考

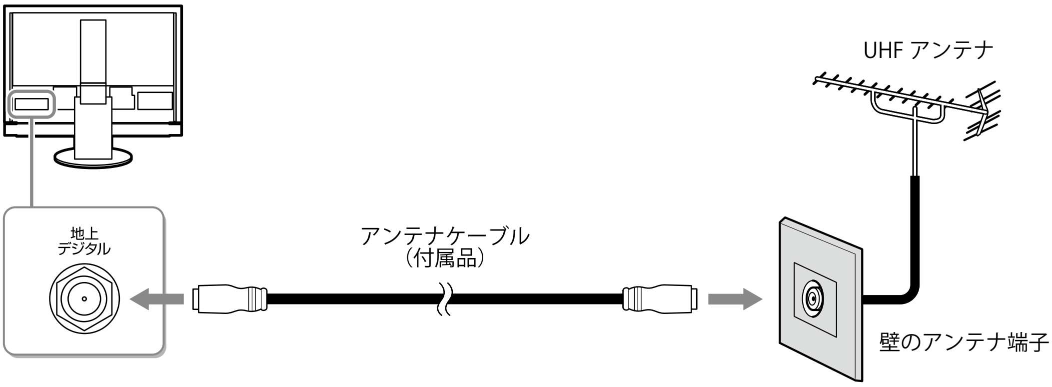
・アンテナの設置は販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

UHF アンテナ

地上デジタル放送は、UHF アンテナを使って受信します。現在使用しているアンテナやお住まいの地域に応じて、次のように設置してください。

- VHF アンテナのみ設置されている場合
  地上デジタル放送に対応した UHF アンテナの設置が必要です。
- UHF アンテナが設置されている場合
  そのまま地上デジタル放送を受信できる場合がありますが、次のような場合は、アンテナの調整や新たに地上デジタル放送に対応したアンテナの設置が必要です。
  - 地上デジタル放送のチャンネルと合わない場合
  - 地上アナログ放送と地上デジタル放送の電波の来る方向が違う場合

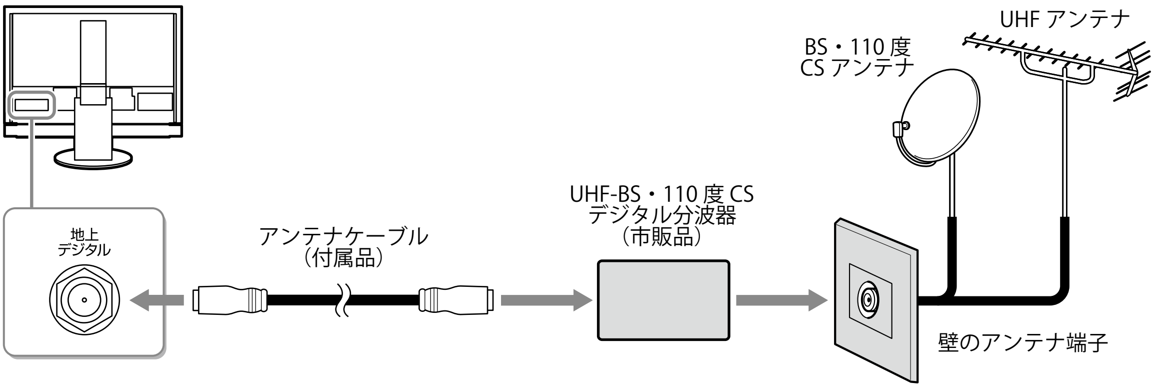
地上デジタル用と BS・110 度 CS デジタル用のアンテナ端子が別になっている場合



参考

・デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります。（P72 参照）方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

地上デジタル放送と BS・110 度 CS デジタル放送の電波が混合され、
アンテナ端子がひとつになっている場合（集合住宅の共同アンテナなど）



参考

・ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送が伝送される場合もあります。詳しくは、共同アンテナの管理者（マンション管理者や管理組合など）やケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

次ページにつづく>>

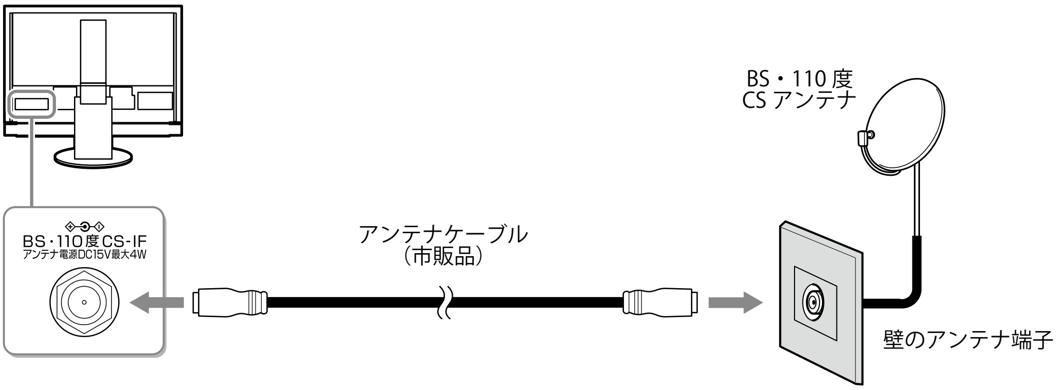
BS・110度CSデジタル用アンテナ

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の両方をご覧になる場合は、BS・110度CSデジタル用アンテナが必要です。

注意点

・従来のBSアンテナで、BSデジタル放送が安定して受信できない場合は、BSデジタル用、またはBS・110度CSデジタル用のアンテナを使用してください。
・BS‐CS分配器やブースターなどをお使いになる場合は、110度CSデジタル放送（周波数2150MHz以上）に対応したものを使用してください。
・スカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。

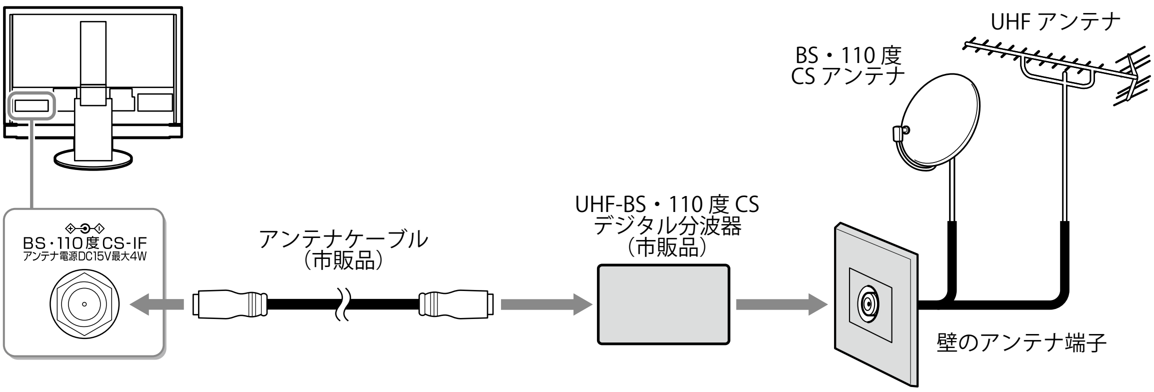
BS・110度CSデジタル用と地上デジタル用のアンテナ端子が別になっている場合



参考

・デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります。（P72参照）方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の電波が混合され、アンテナ端子がひとつになっている場合（集合住宅の共同アンテナなど）



参考

・共同アンテナをご使用の場合などで、すでに別の機器からアンテナ電源を供給されているときは、［アンテナ電源］設定を「オフ」に変更してください。（P72参照）

■電話回線に接続する

データ放送の双方向通信サービスを利用したり、ペイ･パー･ビュー番組を楽しむときに必要です。

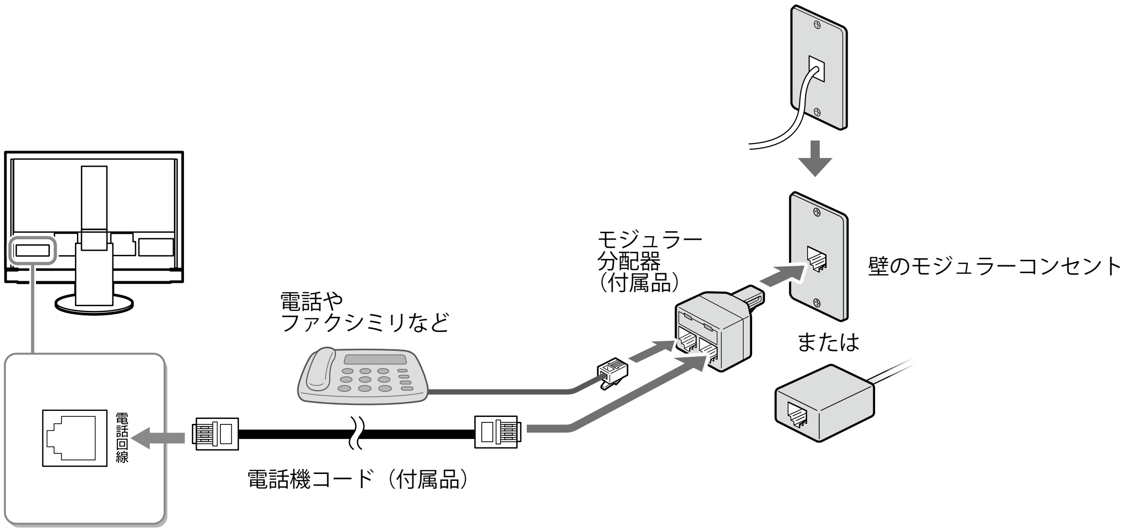
注意点

・次の電話回線には接続できません。
 - デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線
 -「内線設定」が、9 桁以上必要な構内交換機の電話回線
 - ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線
 （主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）

・ひかり電話、IP 電話をお使いの場合、データ放送の双方向サービスが利用できない場合があります。詳しくはご契約の電話業者にお問い合わせください。

モジュラーコンセントに接続する場合

はじめに、電話回線コンセントを確認してください。モジュラーコンセントでない場合は工事が必要です。電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担当者）でなければおこなえません。ご購入の販売店または NTT 営業所へご相談ください。



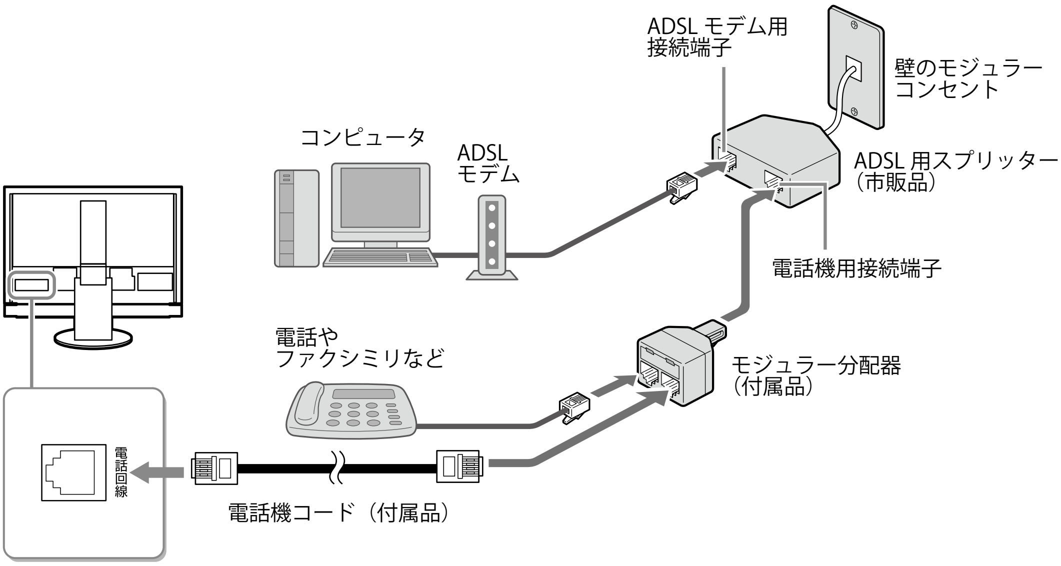
注意点

・電話機コードを LAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子に、挿入しないでください。電話機が使えなくなったり、本機の故障の原因となります。
・電話機コードを抜き差しするときは、本機と接続している機器の電源を切り、電話機コードのプラグをコンセントから抜いてください。
・本機がセンターと通信しているときは、電話機やファクシミリは使用できません。
・ダイヤル式電話機をお使いの場合は、本機が放送局と通信をおこなっているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。呼出音が鳴らないようにするには､電話回線との接続に､付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器を使用してください。
・同じ電話回線に、3 つの機器（電話機やコンピュータ、ファクシミリなど）を一緒に接続すると、接続した機器の影響で電話機の呼出音が鳴ったり､正しく通信できなかったりすることがあります｡このような場合は、モジュラー分配器ではなく、市販の 3 分配用モジュラー分配器を使用して、電話回線に接続してください。
・電話機コードは、冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くには近づけないでください。ノイズが混入して誤動作することがあります。

次ページにつづく>>

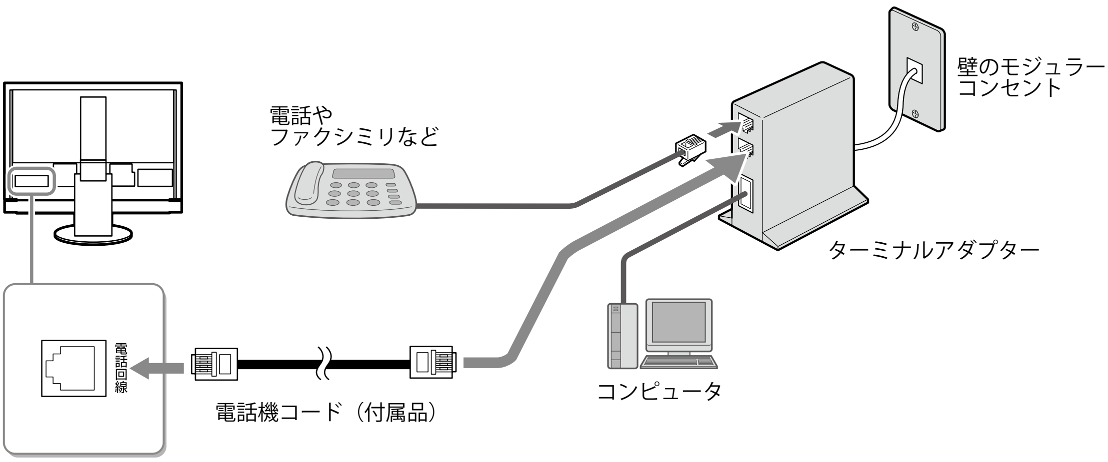
ADSLに接続する場合

電話回線にADSLモデムが接続されている場合は、ADSL用スプリッター（市販品）を使用し、ADSL用スプリッターの電話機用接続端子にモジュラー分配器（付属品）をつないで、本機を接続してください。詳しくは、スプリッターの取扱説明書を参照してください。



ISDNに接続する場合

ターミナルアダプターのアナログポートに電話機コードを接続してください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書を参照してください。

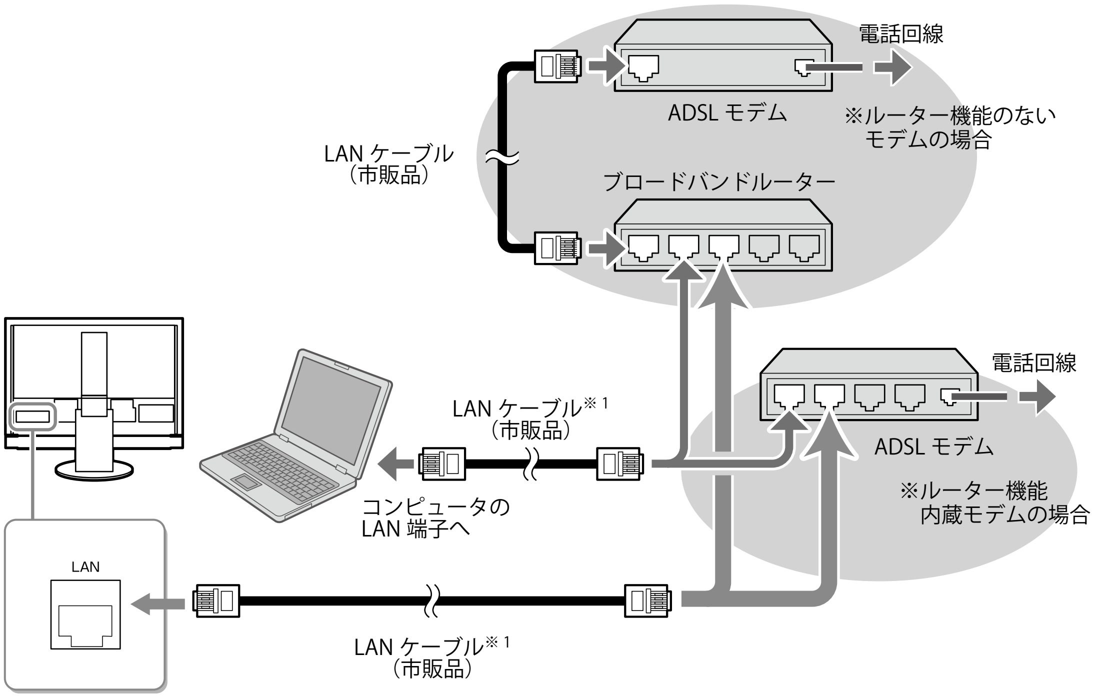


■**ネットワークに接続する**

インターネット経由でデータ放送の双方向通信サービスを利用する場合に必要です。

注意点

- ブロードバンド環境をお持ちでない場合、導入や契約については ADSL などの回線事業者にご相談ください。
- 本機では、ADSL モデムやルーターの設定はできません。ADSL モデムやルーターによっては、コンピュータでの設定が必要な場合があります。
- ケーブルテレビインターネットのケーブルモデムへの接続については、ご利用のケーブルテレビ会社にご相談ください。
- ブロードバンドルーターやハブは、必ず 10BASE-T/100BASE-TX に対応しているものをお使いください。
- 接続後は、必ず［ネットワーク設定 / ブラウザ設定］（P75 参照）をおこなってください。



※1 ストレートタイプをご使用ください。

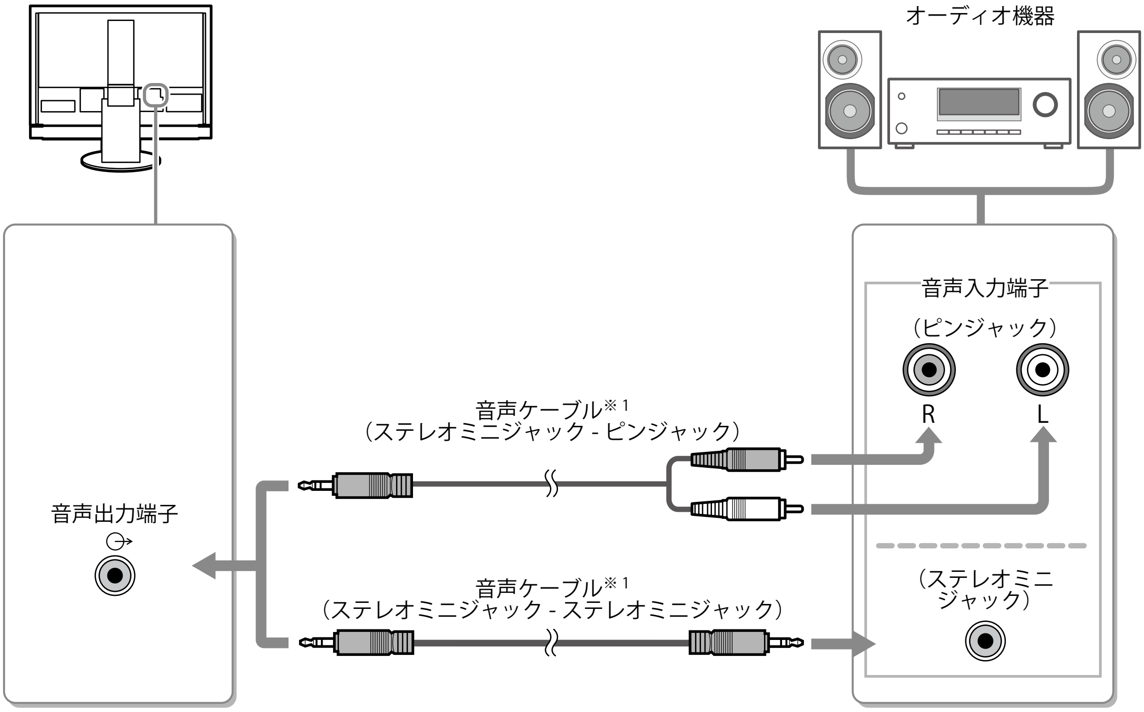
参 考

- 本機の MAC アドレスの確認のしかた
  ルーターの設定などで、本機の MAC アドレスを確認するときは、次の手順でおこないます。
  (1) テレビ放送に切り換え、設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、（決定）を押します。
  (2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、（決定）を押します。
  (3)［設定する］メニューで［設置設定］を選択し、（決定）を 3 秒以上押します。
  (4)［設置設定］メニューで［ネットワーク設定］を選択し、（決定）を押します。
  ［ネットワーク設定］画面が表示されます。
  (5)▲ または ▼ で［MAC アドレス］の項目を表示し確認します。

● オーディオ機器を使用する場合

■オーディオ機器を接続する

(1) コネクタに合った信号ケーブルを使って、オーディオ機器とモニターを接続します。



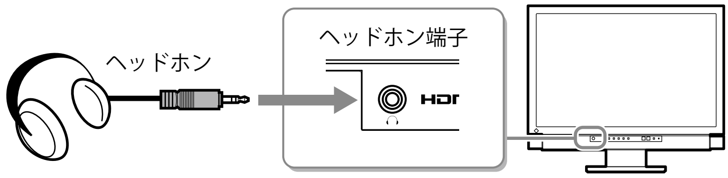
※1 別途お買い求めください。

注意点

・オーディオ機器を使用する場合は、本機の音量を「0」にしてください。音量や音声の調整はオーディオ機器側でおこなってください。

参 考

・ヘッドホンを使用する場合は、モニターのヘッドホン端子に接続してください。

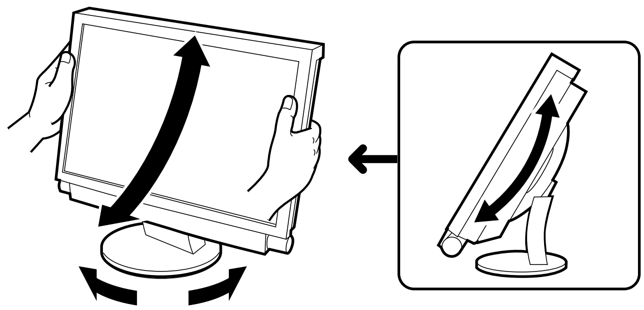


2 電源コンセントに接続します。

付属の電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。

2 - 4　　高さ・角度を調節する

モニターの左右を両手で持ち、画面の高さや上下左右の角度を作業に適した状態になるように調整します。

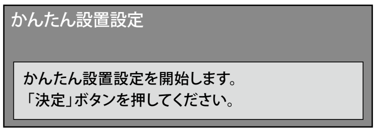


2－5　かんたん設置設定をする

次の順序でデジタル放送を見るために必要な設定をおこない、チャンネルやデータ放送の設定などをお住まいの地域の放送に合わせます。

1 **リモコンの（電源）（または本体の⏻）を押します。**

かんたん設置設定画面が表示されます。



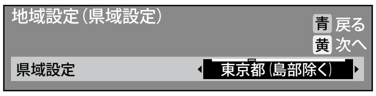
2 **（決定）を押します。**

3 **接続確認画面の説明を読み、（黄）を押します。**

4 **1 ～ 10 0 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、（黄）を押します。**



5 **◀ または ▶ で お住まいの都道府県を選択し、（黄）を押します。**

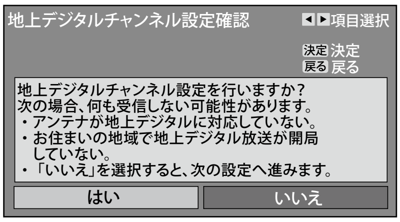


6 **B-CAS カードテストの結果を確認し、（黄）を押します。**

B-CAS カードテストは自動で開始します。テストが終了すると、テスト結果が表示されます。



7 **チャンネル設定確認画面で「はい」を選択し、（決定）を押します。**



設定しないときは、「いいえ」を選択し、（決定）を押します。（手順 11 へ進みます。）

注意点

- テレビを見ない場合は設定する必要はありません。

注意点

- 主電源スイッチがオンになっていることを確認してください。（出荷時オン）

参 考

- テレビ以外の入力が選択されている場合は、テレビ放送に切り換えてください。

参 考

- 間違えて入力したときは、◀ または ▶ で修正したい位置へ移動し、再度入力し直してください。

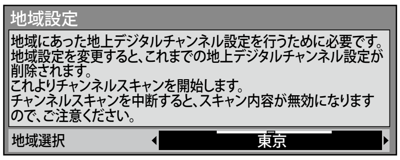
参 考

- 伊豆諸島、小笠原諸島地域は「東京都島部」を選択します。
- 南西諸島鹿児島県地域は「鹿児島県島部」を選択します。

参 考

- テスト結果が「NG」の場合は、かんたん設置設定終了後に、B-CAS カードを正しく挿入しなおして、［B-CAS カードテスト］（P74 参照）をおこなってください。

8 ◀ または ▶ でお住まいの地域を選択し、決定を押します。



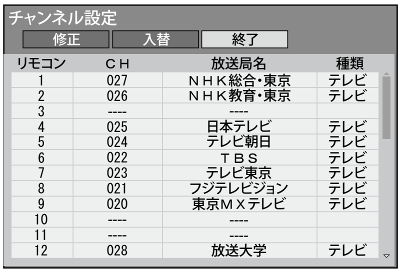
チャンネルスキャンが始まります。

チャンネルスキャンが終了すると、チャンネル設定画面が表示されます。

参 考

- 受信される地域によっては 10 分程度かかることがあります。

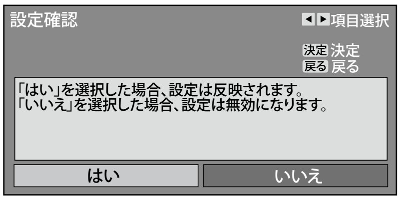
9 正しく設定されていることを確認して「終了」を選択し、決定を押します。



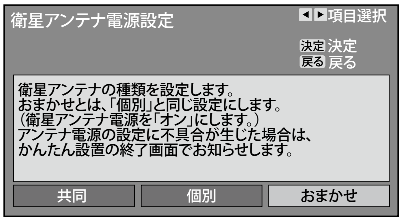
参 考

- 地上デジタル放送では、入力された地方および地域の情報と、実際に受信できたチャンネルの情報をもとに放送システム上の規定などに従ってリモコンの数字ボタンにチャンネルが割り当てられます。
- チャンネルを修正したい場合は、チャンネル設定の「マニュアル修正」の手順②以降を参照してください。（P71）
- 設定されるチャンネルの目安については「6 - 4　地上デジタル放送の放送一覧」（P91）を参照してください。

10 設定確認画面で「はい」を選択し、決定を押します。



11 ◀ または ▶ でアンテナの種類を選択し、決定を押します。



参 考

- 共同アンテナの場合は、［アンテナ電源］設定を「オフ」にします。（P72 参照）
- よくわからないときは「おまかせ」に設定してください。（ただし、［アンテナ電源］設定（P72 参照）は「オン」に設定されます）

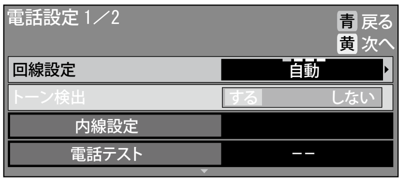
12 電話設定をおこないます。

電話回線に接続した電話の使用状況に応じて、各項目の設定をおこなってください。

電話回線に接続していないなど、電話設定が不要な場合は［青］を押し、手順 13 に進みます。

(1) 電話回線の種類を設定します。

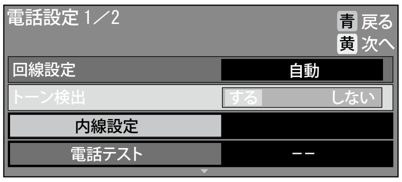
❶ ▲ または ▼ で［回線設定］を、◀ または ▶ で電話回線の種類を選択します。



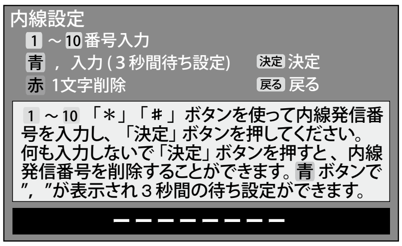
通常は「自動」を選択します。

(2) 外線使用時に 0 発信などが必要な電話を使用している場合に、内線番号を設定します。

❶ ▲ または ▼ で［内線設定］を選択し、［決定］を押します。



❷ ［1］〜［10 0］で内線番号を入力し、［決定］を押します。

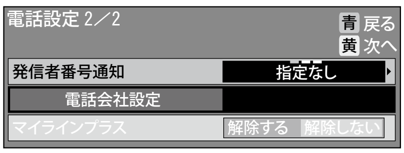


❸ 設定確認画面で「はい」を選択し、［決定］を押します。

(3) 相手に自分の電話番号を通知するかどうかを設定します。

設定	設定内容
指定なし	電話会社との契約に従う
通知する	相手に常に通知する
通知しない	相手に常に通知しない

❶ ▲ または ▼ で［発信者番号通知］を、◀ または ▶ で設定を選択します。



次ページにつづく>>

参 考

・電話設定は、かんたん設置設定終了後でも設定できます。

参 考

・「自動」でうまく設定できないときに、「プッシュ」（ダイヤルボタンを押すと『ピッポッパ』と音が出る場合）、「ダイヤル 20（20pps）」または「ダイヤル 10（10pps）」（ダイヤルボタンを押しても音が出ない場合）を選択してください。

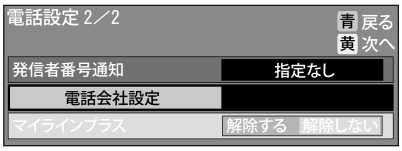
・回線設定が「自動」以外の場合、［トーン検出］を設定してください。
▼ で［トーン検出］を選択し、電話回線の状態に合わせて ◀ または ▶ で設定を選択します。
「する」　：通常ご使用のとき
「しない」：受話器を上げて『ツー』音が聞こえないとき

参 考

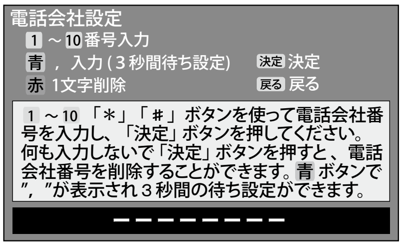
・0 発信の後、外線につながるまでに時間のかかる電話のときは、［青］を押します。

(4) 本機から電話をかけるときのみ電話会社を変えたい場合に、電話会社の番号を設定します。

❶ ▲ または ▼ で［電話会社設定］を選択し、(決定)を押します。



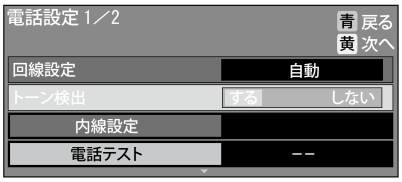
❷ [1]〜[10]で電話会社の番号を入力し、(決定)を押します。



❸ 設定確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。

(5) 電話設定が正しくおこなわれているかテストします。

❶ ▲ または ▼で［電話テスト］を選択し、(決定)を押します。



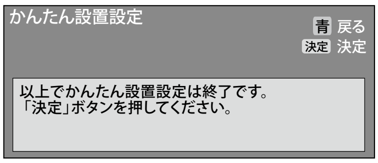
電話テストが開始されます。

テストに 3 分程度かかる場合があります。
テストが終了すると、テスト結果が表示されます。

-「OK」の場合：(決定)を押します。
-「NG」の場合：画面の説明を確認し、(決定)を押します。
（かんたん設置設定終了後に、再度［電話設定］（P74 参照）をおこなってください。）

(6) (黄)を押します。

13 かんたん設置設定終了画面の説明を読み、(決定)を押します。



以上で、かんたん設置設定は終了です。

参 考
・マイラインプラスを契約しているときは、▼ で［マイラインプラス］、◀ で「解除する」を選択します。

参 考
・「衛星アンテナとの接続に不具合があります。」と表示されたときはアンテナの接続をご確認ください。

第 3 章　操作する

3‐1　入力 / 放送を切り換える

● 入力を切り換える

表示したい機器が接続されている入力に切り換えることができます。

(1) リモコンの PC VIDEO HDMI を押します。
ボタンを押すたびに入力が切り換わります。
- PC ：PC1 → PC2
- VIDEO ：VIDEO1 → VIDEO2
- HDMI ：HDMI1 → HDMI2

■ USB 切換の設定をする［USB 切換］

本機のダウンストリームポートに USB 機器を接続している場合に、USB 機器が動作するコンピュータを指定することができます。

設定	設定内容
自動	入力切換（PC1 ⇔ PC2）に応じて、USB 機器が動作するコンピュータも自動で切り換わります。
PC1	「PC1」入力に接続したコンピュータ上で動作します。
PC2	「PC2」入力に接続したコンピュータ上で動作します。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。
(2)［本体設定］メニューで［USB 切換］を選択し、決定を押します。
［USB 切換］設定画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で「自動」/「PC1」/「PC2」を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

参 考
- 本体操作ボタンでの操作
  - 入力切換メニューが表示されるまで SELECT を押し、◀ または ▶ で入力を切り換えます。

注意点
- 「自動」は、PC 入力に接続したコンピュータに対してのみ機能します。
- HDMI入力に接続したコンピュータで USB機器を使用したい場合は、本機のアップストリームポート（「PC1」または「PC2」）とコンピュータを USBケーブルで接続し、［USB切換］を USBケーブルを接続したポートに設定してください。
- 設定を切り換える際には次の点に注意してください。
  - モニターに USB メモリなどの記憶装置を接続している場合、データの消失・破損の恐れがあります。記憶装置を取り外してから設定を切り換えてください。

● 放送を切り換える

本機は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送を視聴できます。

(1) リモコンの 放送 を押します。
ボタンを押すたびに放送が切り換わります。
- 放送 ：地上 D → BS → CS1 → CS2

参 考
- 本体操作ボタンでの操作
  - 放送切換メニューが表示されるまで SELECT を押し、◀ または ▶ で放送を切り換えます。
- 110 度 CS デジタル放送には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

3‐2　音量を調節する

● 音量を調節する

スピーカーやヘッドホンの音量を調節することができます。
調節範囲：0 ～ 50

(1) リモコンの + 音量 − 音量 を押します。

参 考
- 本体操作ボタンでの操作
  - 音量メニューが表示されるまで SELECT を押し、◀ または ▶ で音量を調節します。

● 音を消す

(1) リモコンの 消音 を押します。
音声が一時的に消えます。
もう一度 消音 を押すか + 音量 を押して音量を上げると、音声が出ます。

参 考
- 本体操作ボタンの ▶ を押しても、消音を解除することができます。

3 - 3　ゲーム映像を表示する

● スルーモードのオン / オフを切り換える

ゲーム映像表示時に、スルーモード（映像表示時の遅延を最小にしたモード）にする / しないの切り換えができます。

(1) リモコンの[スルー]を押します。
[スルー]を押すたびに、オン / オフが切り換わります。

注意点
- スルーモードの切り換えは、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力でのみ有効です。
- HDMI 入力に接続したゲーム機から 1080p@24Hz/25Hz/30Hz の信号が入力されている場合は、スルーモードへの切り換えはできません。また、スルーモード時に 1080p@24Hz/25Hz/30Hz の信号が入力された場合は、信号が入力されている間、設定が自動的に元の状態に戻ります。

● ゲーム画面の表示サイズを切り換える

ゲーム画面に適応した表示サイズに切り換えることができます。

■ PC/HDMI（PC 信号）入力の場合

設定	状　態
ノーマル	入力信号の解像度のままの大きさで表示します。
2 ×ノーマル	「ノーマル」時の表示サイズを縦横比 2 倍に拡大して表示します。

注意点
- 「2 ×ノーマル」を選択したときに解像度が 960 × 600 を超える信号が入力された場合は、「ノーマル」で表示されます。

■ VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合

設定	状　態
ポータブル（VIDEO 入力時のみ）	プレイステーション･ポータブルの画像を表示するときに選択します。
リアル	入力信号の解像度のままの大きさで表示します。
アスペクト 4：3	入力信号の垂直解像度を基準にして、4：3 の画面で表示します。
アスペクト 16：9	入力信号の垂直解像度を基準にして、16：9 の画面で表示します。
2 ×リアル	「リアル」時の表示サイズを縦横比 2 倍に拡大して表示します。
2 × アスペクト 4：3	「アスペクト 4：3」時の表示サイズを縦横比 2 倍に拡大して表示します。
2 × アスペクト 16：9	「アスペクト 16：9」時の表示サイズを縦横比 2 倍に拡大して表示します。

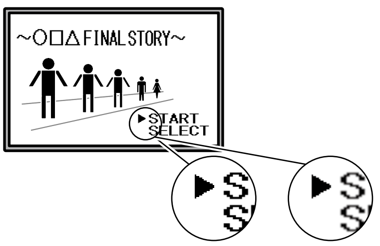
注意点
- 1080i/720p/1080p の信号入力時は、「リアル」に固定され、設定を切り換えることができません。
- 「2 ×アスペクト 16：9」を選択したときに水平方向の解像度が 1920 を超えた場合、映像の左右が一部切れます。

(1) リモコンの[サイズ]を押します。
[サイズ]を押すたびに、サイズが切り換わります。

● リアルイメージの有効 / 無効を切り換える［リアルイメージ］

ドットで表示されるゲーム映像を、ドットを崩さないように表示する / しないの切り換えができます。

注意点
- ［リアルイメージ］は、ゲーム画面の表示サイズに設定されている場合にのみ有効です。



「有効」の場合　「無効」の場合

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、(決定)を押します。
(2) ［本体設定］メニューで［リアルイメージ］を選択し、(決定)を押します。
［リアルイメージ］設定画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、(決定)を押します。
設定が完了します。

3－4　外部機器を操作する（HDMI CEC 機能）

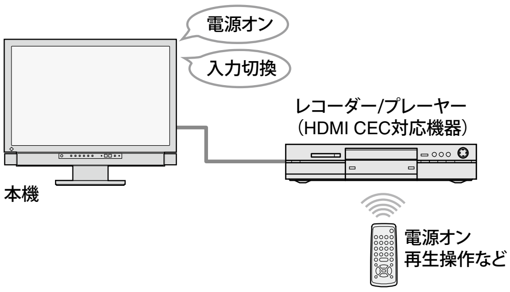
● HDMI CEC 機能について

本機は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）に対応しています。本機に HDMI CEC に対応した外部機器を HDMI ケーブルで接続することによって相互の制御が可能になります。

HDMI CEC 機能を使用する場合は、HDMI CEC 設定（P40 参照）が必要です。

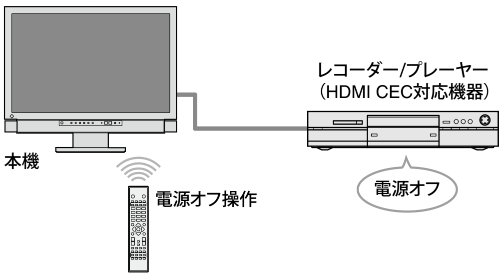
■電源オン連動

外部機器の電源を入れたり再生操作などをおこなうと、本機の電源が入り、入力が切り換わります。



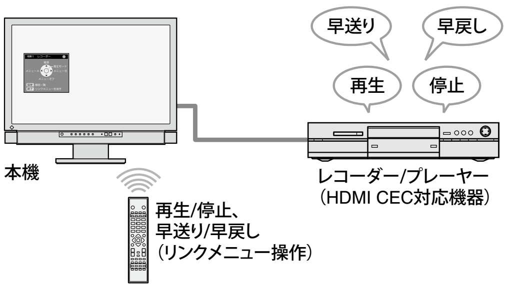
■電源オフ連動

本機の電源を切ると、外部機器の電源も切れます。



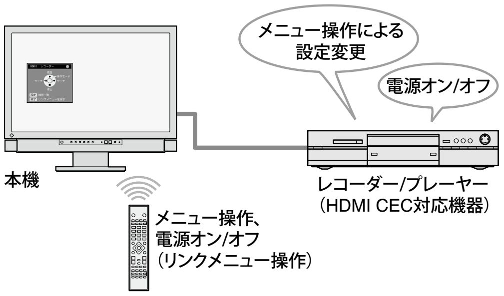
■外部機器の再生操作

本機のリモコンで、外部機器の再生 / 停止、早送り / 早戻しができます。



■外部機器のメニュー操作

本機のリモコンで、外部機器のメニューが操作できます。



注意点

- HDMI CEC 機能を使って本機から操作できる外部機器は、HDMI CEC に対応したレコーダーおよびプレーヤーのみです。
  ただし、機器によっては、正しく動作しないことがあります。
  また、AV アンプや HDMI セレクタなどを介して接続した場合も、HDMI CEC 機能は動作しません。
- 接続機器を追加したり、接続している入力を変更した場合は、機器の接続状態を変更する必要があります。接続機器の電源を入れた状態で、リンクメニューを表示し、［機器一覧］画面で［機器を探す］を選択してください（P40 参照）。（「しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されている間は本機および接続機器の電源を切らないでください。）

参考

- 電源オン連動は、本機に接続しているどの機器からでも動作します。
- 電源オフ連動は、本機に接続されているすべての機器に対して動作します。

参考

- 外部機器の再生操作、メニュー操作は、操作対象となる機器に対してのみ動作します。
  ただし、機器によっては、正しく動作しないことがあります。
- 再生操作、メニュー操作のしかたについては、P40 を参照してください。

● HDMI CEC 設定をおこなう［HDMI CEC 設定］

(1) 外部機器側のHDMI CECの設定が有効になっていることを確認します。
設定方法については、外部機器の取扱説明書を参照してください。

(2) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。

(3) ［本体設定］メニューで［HDMI CEC 設定］を選択し、決定を押します。
［HDMI CEC 設定］メニューが表示されます。

(4) 各項目を設定します。
1. ▲ または ▼ で設定項目を選択し、決定を押します。
2. ◀ または ▶ で設定を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

参 考
- HDMI CEC 機能を使用しない場合、また電源オン連動、電源オフ連動を動作させたくない場合に各設定を「無効」にします。
- ［HDMI CEC 機能］を「無効」にすると［電源オン連動］［電源オフ連動］が選択できなくなります。

● 再生操作 / メニュー操作のしかた

リンクメニューを表示して操作します。

(1) リモコンの HDMI CEC リンクメニュー を押します。
リンクメニューが表示されます。



リンクメニュー

注意点
- HDMI CEC リンクメニュー を押したときに、機器一覧が表示され「操作できる機器がありません。」と表示された場合は、機器の接続や機器の電源が入っているかを確認して、［機器を探す］を選択し、決定を押してみてください。
- リンクメニューを消すときは、リモコンの終了を押します。

■操作機器を切り換えるときは

(1) 設定 を押します。
操作可能な機器の一覧が表示されます。
現在選択されている機器に「✓」マークが表示されています。



(2) ▲ または ▼ で操作する機器を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

参 考
- 機器一覧に操作したい機器が表示されない場合は、機器の接続や機器の電源が入っているかを確認して、［機器を探す］を選択し、決定を押してみてください。
- 入力を切り換えることによっても、操作機器を変更できます。

■操作方法

リンクメニューには「再生モード」と「操作モード」の 2 種類のモードがあり、各モードでできる操作が異なります。

各モードでできる操作は次のとおりです。
- 再生モード：外部機器の再生操作（再生 / 停止、早送り / 早戻し）
- 操作モード：外部機器のメニュー操作（メニュー操作、電源オン / オフ）

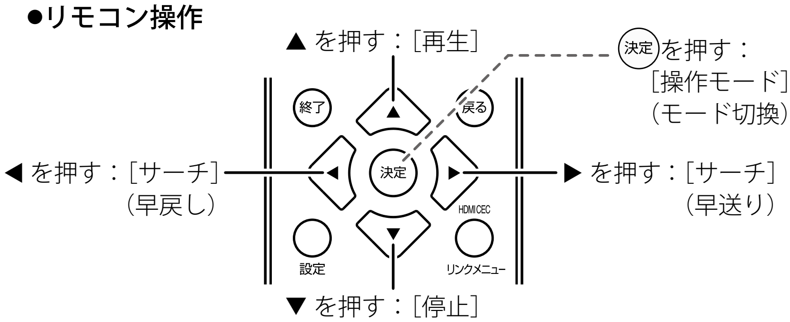
決定を押してモードを切り換え、各モード画面の表示に対応したリモコンボタンを押して、外部機器を操作します（P41 参照）。

■外部機器の再生操作（再生モード）

●再生モード画面



●リモコン操作



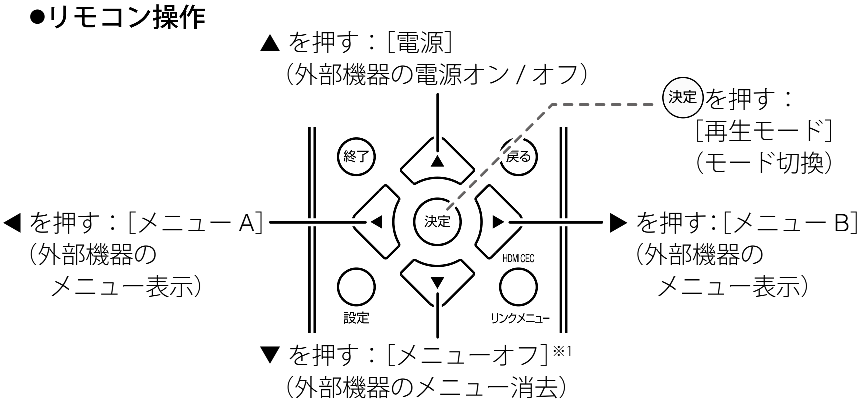
決定を押すと、モードが切り換わります。

■外部機器のメニュー操作（操作モード）

●操作モード画面



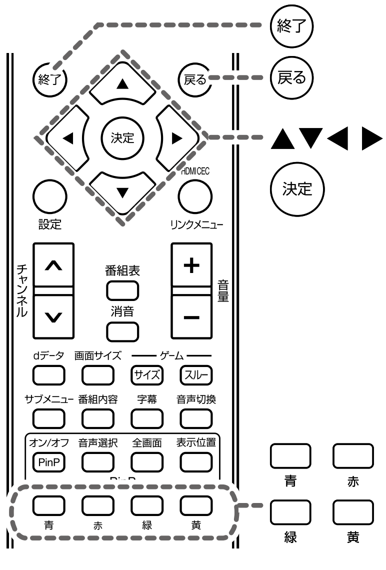
●リモコン操作



※1 外部機器のメニューでメニュー オフ操作ができない場合

注意点

- ◀ ▶ を押して表示されるメニューは、外部機器によって異なります。
- 外部機器のメニューが表示されたら、終了を押してリンクメニューを消してください。
  （リンクメニューを消さないと、外部機器のメニューが操作できません。）
- 外部機器のメニュー表示時には、右のリモコンボタンが使えます。
  （ボタンを押したときの動作は、メニューによって異なります。）



3 - 5　テレビを見る

● チャンネルを選ぶ

チャンネルの選びかたには、次の方法があります。

■ リモコンの数字ボタンで選ぶ	見たいチャンネルをダイレクトに選びます。（P42 参照）
■ 順送りで選ぶ	チャンネルを順番に切り換えて選びます。（P43 参照）
■ チャンネル番号で選ぶ	見たいチャンネルのチャンネル番号を入力して選びます。（P43 参照）

■ リモコンの数字ボタンで選ぶ

(1) リモコンの［放送］を押し、放送を選びます。

(2) ［1］～［12］のいずれかを押します。
　あらかじめボタンに割り当てられているチャンネルに変わります。

- 地上デジタル放送の場合
  かんたん設置設定（P33 参照）で設定したチャンネルが割り当てられています。
- BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合
  お買い上げ時には、次のチャンネルが割り当てられています。

BS デジタル放送		
ボタン	**チャンネル**	**放送局名**
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-i
7	171	BS ジャパン
8	181	BS フジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11
12	222	TwellV

CS1 デジタル放送			CS2 デジタル放送		
ボタン	**チャンネル**	**放送局名**	**ボタン**	**チャンネル**	**放送局名**
1	001	e2 メイト	1	100	e2 プロモ
5	055	ショップチャンネル	2	110	ワンテンポータル
			4	147	CS 日本番組ガイド
			6	160	C-TBS ウエルカム
			9	194	インターローカル TV
			10	101	宝塚プロモチャンネル
			11	290	SKY・STAGE

［2009 年 6 月現在］

注意点
- 地上デジタル放送は、チャンネル設定の［初期スキャン］（P70 参照）をおこなわないと選局できません。
- BS デジタル、110 度 CS デジタル放送では、別途各放送局と受信契約が必要になる場合があります。

参 考
- チャンネルの割り当てを変更する場合は、［デジタルメニュー］の［設定する］-［設置設定］-［チャンネル設定］をおこなってください。（P70 参照）

注意点
- 放送局名やチャンネル名は、実際の表示と異なる場合があります。

■順送りで選ぶ

(1) リモコンの[放送]を押し、放送を選びます。
(2) ▲ または ▼ を押します。
選局対象（P45 参照）のチャンネルが、順番に表示されます。

> **参 考**
> - 本体操作ボタンでの操作
>   - チャンネル切換メニューが表示されるまで [SELECT] を押し、◀ または ▶ で放送を切り換えます。

■チャンネル番号で選ぶ

(1) デジタル放送に切り換えます。
(2) リモコンの[チャンネル入力]を押し、[1]～[10]でチャンネル番号を押します。
入力したチャンネル番号の放送に切り換わります。

> **参 考**
> - 同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、放送を選ぶ画面が表示されます。▲ または ▼ で放送を選び、[決定]を押してください。
> - 存在しないチャンネルは選べません。
> - チャンネル番号を間違えて入力した場合は、[12]を押し、一つ前に戻って再入力します。

地上デジタル放送で、枝番号の異なる放送を選ぶとき

（枝番号とは、同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合に追加される区分番号のことです）

① 枝番号のある地上デジタル放送を受信中に、[サブメニュー]を押します。
② ▲ または ▼ で［枝番選局］を選択し、[決定]を押します。
③ 表示された放送局リストから見たい放送を選び、[決定]を押します。

参 考
- 手順③で[チャンネル入力]を押すと、選択中の枝番号の放送局にチェックが付きます。チャンネル番号入力時には、チェックを付けた放送局を表示します。

● 番組を選ぶ

番組の選びかたには、次の方法があります。

■ 番組表で選ぶ	画面に番組表を表示して選びます。（P43 参照）
■ 今放送中の番組を選ぶ	現在放送している番組のリストを表示して選びます。（P44 参照）
■ ジャンルで検索して選ぶ	映画やスポーツなどのジャンルを指定し、番組を検索して選びます。（P44 参照）

■番組表で選ぶ［番組表］

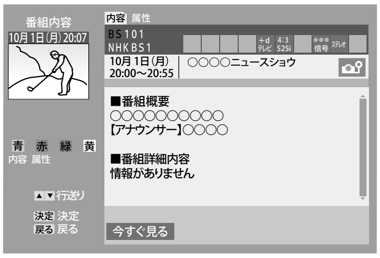
(1) リモコンの[番組表]を押します。
番組表が表示されます。
（番組表の見かたについては、P44 を参照してください。）

> **参 考**
> - 本機の電源を入れた直後や、テレビ放送に切り換えた直後、地上デジタル放送のチャンネルを切り換えた直後は、番組表の表示に時間がかかる場合があります。
> - ［デジタルメニュー］の［番組を探す］-［番組表で］を選択しても、番組表を表示できます。

(2) ◀ または ▶ でチャンネルを、▲ または ▼ で番組を選び、[決定]を押します。

> **参 考**
> - チャンネル番号（P43 参照）でチャンネル欄を選択することもできます。
> - 番組表データのないチャンネルは、表示されません。
> - 現在の日時よりも前の時間帯には戻れません。

番組内容が表示されます。



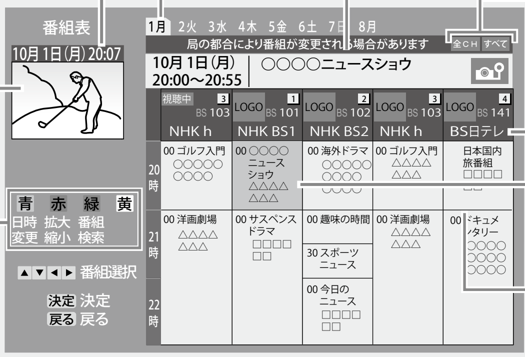
- 放送中の番組の場合
「今すぐ見る」が選択された状態になっているので[決定]を押すと、選んだ番組が表示されます。
- 放送予定の番組の場合
[戻る]を押して番組表に戻ります。
（または[終了]を押して画面表示を消します。）

次ページにつづく>>

番組表の見かた

現在時刻　日付　選択中の番組の紹介

番組表を開く前に見ていた画面



表示する放送およびチャンネル
番組表に表示する放送およびチャンネルの範囲を変更できます。
サブメニュー を押し、[表示内容][表示CH]で設定します。いったん、番組表を終了すると、表示内容は元に戻ります。

放送局名

選択中の番組
選んでいる番組は黄色になります。

青い部分には、短い番組が存在します。
カーソルを合わせると番組を表示します。

- 別の日の番組表を見たいとき

  青 を押すと日時変更画面が表示されます。▲/▼/◀/▶で日付、時間を変更します。

  決定 を押すと日時変更画面が消え、番組表が設定した日時の内容に変わります。

- 番組をジャンルで検索するとき

  緑 を押すとジャンル検索画面（メインジャンル）が表示されます。

  （以降の操作は「ジャンルで検索して選ぶ」（P44）の手順(4)以降を参照してください）

- 番組表を拡大、縮小したいとき

  赤 を押すと表示サイズ設定画面が表示されます。◀または▶で番組表内に表示するチャンネルの数を設定します。

  決定 を押すと設定画面が消え、番組表のチャンネル表示数が変わります。

■今放送中の番組を選ぶ［今放送中から］

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［番組を探す］を選択し、決定を押します。
(3)［番組を探す］メニューで［今放送中から］を選択し、決定を押します。
　現在放送中の番組リスト（裏番組のリスト）が表示されます。
(4) ▲ または ▼ で番組を選び、決定を押します。
　選んだ番組が左上の画面に表示されます。



(5) 戻るまたは終了を押します。

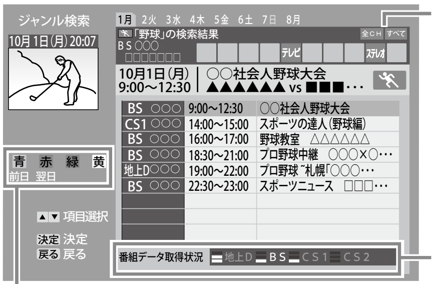
■ジャンルで検索して選ぶ［ジャンル別に］

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［番組を探す］を選択し、決定を押します。
(3)［番組を探す］メニューで［ジャンル別に］を選択し、決定を押します。
　ジャンル選択画面が表示されます。
(4) ▲ または ▼ で見たい番組のメインジャンルを選択し、決定を押します。

参考

- 番組の詳細情報を見るには、番組内容 を押します。
- リストに表示する放送およびチャンネルの範囲を変更することができます。
  サブメニュー を押し、［表示内容］［表示CH］で設定します。

(5) ▲ または ▼ で見たい番組のサブジャンルを選択し、(決定)を押します。
番組検索が始まり、検索結果が表示されます。



表示する放送およびチャンネル
検索結果に表示する放送およびチャンネルの範囲を変更できます。
(サブメニュー)を押し、［表示内容］［表示CH］で設定します。

番組データ取得状況の目安
検索できる番組数は、各放送の番組データの取得状況によって変わります。

・別の日の番組を探すとき
(青)：前日　(赤)：翌日

・現在よりも前の日には戻れません。
・現在より 7 日前までの検索結果が表示されます。

(6) ▲ または ▼ で番組を選び、(決定)を押します。
番組内容が表示されます。

- 放送中の番組の場合

  「今すぐ見る」が選択された状態になっているので(決定)を押すと、選んだ番組が表示されます。

- 放送予定の番組の場合

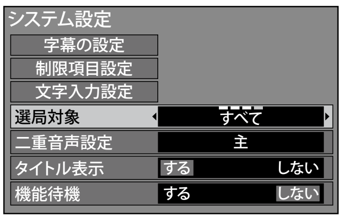
  (戻る)を押してジャンル検索画面に戻ります。
  （または(終了)を押して画面表示を消します）

● 選局対象を設定する［選局対象］

リモコンの順送りで選局されるチャンネルや、番組表などに表示されるチャンネルの範囲を設定できます。

設定	設定内容
お好み	リモコンの 1 から 12 に設定されているチャンネルと、［チャンネル設定］（P70 参照）で設定した 13 ～ 36 までのチャンネル
テレビ	テレビ放送のチャンネルのみ
ラジオ / テレビ	ラジオ放送およびデータ放送のチャンネルのみ
すべて	現在受信できるすべてのチャンネル

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。
(2) ［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、(決定)を押します。
(3) ［設定する］メニューで［システム設定］を選択し、(決定)を押します。
［システム設定］画面が表示されます。
(4) ▲ または ▼ で［選局対象］を選択し、◀ または ▶ で設定を選択します。



(5) (終了)を押します。
設定を終了します。

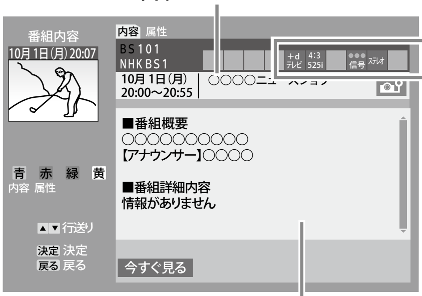
注意点
- ジャンル情報が送られていない番組は、ジャンル検索されません。
- お買い上げ直後や電源コードを長時間取り外していた後は、検索される番組が少ないことがあります。

● 番組の内容を見る［番組内容］

番組を見ているときや、番組表、番組リストなどで番組を選んでいるときに、その番組の内容を画面に表示することができます。

(1) リモコンの［番組内容］を押します。

その番組の内容が表示されます。
［戻る］を押すと、説明画面は消えます。



（P90参照）

● 番組内の信号を切り換える［信号切換］

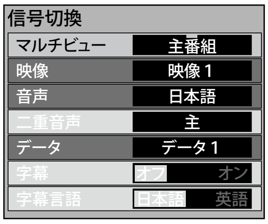
マルチビュー対応の放送や 1 つの番組に複数の映像や音声のある放送の場合、信号を切り換えて見ることができます。

(1) 複数の信号がある放送を視聴中に、リモコンの［サブメニュー］を押します。

(2) サブメニューで［信号切換］を選択し、［決定］を押します。

［信号切換］画面が表示されます。

(3) ▲ または ▼ で項目を、◀ または ▶ で信号を選択し、［決定］を押します。



信号切換

マルチビュー	主番組
映像	映像 1
音声	日本語
二重音声	主
データ	データ 1
字幕	オフ　オン
字幕言語	日本語　英語

指定した信号に切り換わります。

(4) ［終了］を押します。

設定を終了します。

● 音声を切り換える

2 ヵ国語放送や多重音声放送を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

(1) リモコンの［音声切換］を押します。

ボタンを押すたびに音声が切り換わります。
（例：「主音声」→「副音声」→「主＋副」）

参 考

- 放送中の番組の場合は、「今すぐ見る」が選択された状態になっていますので［決定］を押すと、選んだ番組が表示されます。
- アイコンで表示している番組の詳しい内容などを見たいときは、［赤］を押します。

注意点

- 表示される設定項目は、番組によって変わります。
- 切り換えた映像が有料の場合もあります。

注意点

- 切り換えられる音声は受信している番組によって異なります。

参 考

- 電源を入れたときやチャンネルを切り換えたときの放送が二重音声の場合に出力される音声（主音声 / 副音声 / 主＋副）をあらかじめ設定しておくことができます。
［デジタルメニュー］の［設定する］-［システム設定］-［二重音声設定］で設定してください。

● 字幕 / 文字スーパーの表示を設定する［字幕の設定］

デジタル放送で字幕放送サービスがおこなわれている場合は、画面に字幕を表示させせることができます。
また、視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示すること（文字スーパー）もできます。

設定	設定内容
字幕	「オフ」/「オン」
字幕言語	「日本語」/「英語」
文字スーパー	「オフ」/「オン」
文字スーパー言語	「日本語」/「英語」

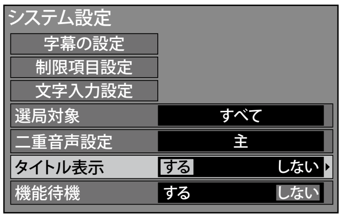
(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、決定を押します。
(3)［設定する］メニューで［システム設定］を選択し、決定を押します。
(4)［システム設定］メニューで［字幕の設定］を選択し、決定を押します。
［字幕の設定］画面が表示されます。
(5) ▲ または ▼ で項目を、◀ または ▶ で設定を選択します。



(6) 終了を押します。
設定を終了します。

● 番組タイトルの表示 / 非表示を設定する［タイトル表示］

チャンネルを切り換えたときなどに、画面右上に表示される番組タイトルを表示するかしないかを設定します。
(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、決定を押します。
(3)［設定する］メニューで［システム設定］を選択し、決定を押します。
［システム設定］画面が表示されます。
(4) ▲ または ▼ で［タイトル表示］を、◀ または ▶ で「する」または「しない」を選択します。



(5) 終了を押します。
設定を終了します。

参 考
- 字幕表示のオン / オフはリモコンの字幕でも切り換えることができます。
字幕を押すたびに「字幕オン」→「字幕オフ」と切り換わります。

注意点
- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

注意点
- 「オフ」（表示しない）に設定しても、チャンネル番号は表示されます。

● データ放送を見る

■ データ放送とは

テレビ番組を見ながら、その番組に関する情報を見たり、天気予報などの情報を受信したりすることのできる放送です。また、電話回線やネットワーク回線を利用して視聴者が番組に参加することもできます（双方向通信サービス）。

データ放送には、次の種類があります。

データ放送の種類	内　容
番組連動データ放送	放送中の番組に関連したデータ放送です。 例えば、番組で紹介している商品や店の情報などを見たり、のアンケートやクイズに答えたりすることができます。
番組非連動データ放送	放送中の番組内容と関係のないデータ放送です。 例えば、ニュースや天気予報、地域情報などを見たりすることができます。
独立データ放送	テレビ放送とは無関係の独立したデータ放送です。 例えば、天気予報やショッピング（オンライン通販）、交通情報などの放送があります。

注意点

- データ放送サービスの中には、放送局からの情報を本機に記憶し、更新できる番組があります。
  情報の更新は、電源ボタンオフ時（スタンバイ状態）のときにおこなわれる場合があります。主電源スイッチを切ったり、電源コンセントを抜く場合は、電源ボタンで電源を切った後、3 秒以上経過してからおこなうようにしてください。
- 双方向通信サービスを利用する場合は、電話回線またはネットワーク回線の接続が必要です。（P29、31 参照）

■ 番組連動 / 非連動データ放送を見る

(1) リモコンの 番組内容 を押します。

番組連動 / 非連動のデータ放送があることを確認します。

放送があるときは、次のアイコンが表示されます。（アイコンの内容については、P90 を参照してください。）



(2) 終了 を押します。

番組内容表示が消えます。

(3) dデータ を押します。

データ放送に切り換わります。



(4) ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で見たい項目を選択し、決定 を押します。

注意点

- アイコンが表示されていても、番組連動 / 非連動データ放送がない場合があります。
- 情報が多いときは、表示に時間がかかります。

参 考

- 番組により、カラーボタンなどを使った専用の選択画面や数字入力画面が表示されることがあります。そのときは、画面の指示に従ってください。
- データ放送視聴中に「お好みページ」への登録案内が出ることがあります。登録した「お好みページ」は設定メニューの［デジタルメニュー］-［情報を見る］-［お好みページ］で見ることができます。

データ放送を終了するとき

(1) 終了 を押します。

データ放送を終了します。

参 考

- サブメニュー を押して［データ放送表示オフ］を選択し、決定 を押すことでも、データ放送を終了できます。（表示を中止できる場合のみ）

■ 独立データ放送を見る

番組表などでデータ放送番組を選び、画面の指示に従って操作してください。

注意点

- データ放送を受信しなおすときは、終了 を押します。

■ 双方向通信の一覧を表示する

テレビ放送視聴中におこなった双方向通信の記録を一覧を、設定メニューの［デジタルメニュー］-［情報を見る］-［双方向通信一覧］で確認することができます。

● ペイ・パー・ビュー番組を見る

ペイ・パー・ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。有料チャンネルを契約しなくても、見たい番組だけ料金を払って見ることができます。ただし、放送会社とペイ・パー・ビューの契約が必要です。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入する

(1) ペイ・パー・ビュー番組を選びます。
番組によっては、番組購入の前にわずかな時間だけ視聴できる（プレビュー）ものがあります。
画面の指示に従って操作してください。

(2) ◀ または ▶ で「購入する」または「購入しない」を選択し、（決定）を押します。



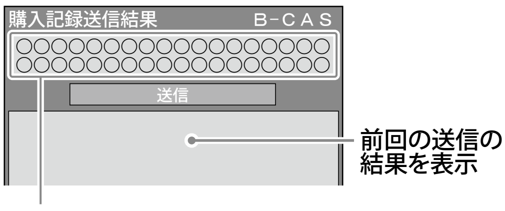
■ペイ・パー・ビュー番組の購入状況を確認する

購入したペイ・パー・ビュー番組のタイトルや金額を、設定メニューの［デジタルメニュー］-［情報を見る］-［購入記録］で確認することができます。

■ペイ・パー・ビュー番組の購入情報の送信結果を確認する

ペイ・パー・ビュー番組を購入したときの送信状況を、設定メニューの［デジタルメニュー］-［情報を見る］-［購入記録送信結果］で確認することができます。

（送信結果画面）



- 前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨表示します。このときは「送信」を選び、決定ボタンを押すと再送信されます。
- 通常は自動送信されます。

注意点
- ペイ・パー・ビュー番組を購入するには、電話回線の接続が必要です。
- 番組購入後の取り消しはできません。

参考
- 1 番組ごとの購入限度額を設定することができます。（P50 参照）

参考
- 番組によっては、選択できる項目が変わります。

注意点
- 表示される金額は参考金額です。価格改定などで請求金額と異なる場合があります。

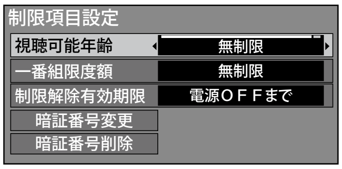
参考
- 購入記録は最大 25 件まで表示されます。

● 視聴制限を設定する［制限項目設定］

テレビ番組の視聴年齢やペイ・パー・ビュー番組の購入金額の上限を設定できます。

設定	設定内容
視聴可能年齢	番組を視聴できる年齢を制限できます。 設定範囲：4 歳～ 19 歳、無制限
一番組限度額	ペイ・パー・ビュー番組の 1 番組ごとの購入金額を制限できます。 設定範囲：100 円、500 円、1000 円、1500 円、2000 円、2500 円、3000 円、無制限
制限解除有効期限	一時的に視聴制限を解除（下記）したときの有効期限を設定できます。 設定範囲：電源 OFF まで、選局まで
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更できます。
暗証番号削除	暗証番号を取り消すことができます。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、（決定）を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、（決定）を押します。
(3)［設定する］メニューで［システム設定］を選択し、（決定）を押します。
(4)［システム設定］メニューで［制限項目設定］を選択し、（決定）を押します。
(5) [1]～[10] で暗証番号を入力します。
［制限項目設定］画面が表示されます。
(6) ▲ または ▼ で項目を、◀ または ▶ で設定を選択します。
［暗証番号変更］/［暗証番号削除］を選択した場合は、（決定）を押して番号の変更 / 削除をおこなってください。



(7)（終了）を押します。
設定を終了します。

■ 視聴制限一時解除

一時的に視聴制限を解除することができます。

(1)（サブメニュー）を押します。
(2) サブメニューで［視聴制限一時解除］を選択し、（決定）を押します。
(3) [1]～[10] で暗証番号を入力します。
制限が一時的に解除されます。

参 考

- 上限を超える番組は、暗証番号の入力が必要になります。（番組を選ぶと、暗証番号の入力画面が表示されますので、[1]～[10] で暗証番号を入力してください）
- 年齢制限を超える番組は、番組表などでは「･･･」と表示されます。

参 考

- 初めて暗証番号を入力するときは、2 回入力して番号を登録し、を押します。（番号は必ずメモして忘れないようにしてください）

● いろいろな情報を見る

放送局などからの情報や、本機に関する情報を見ることができます。

項目	内　容
放送メール	放送局や本機からのお知らせや情報を確認できます。
B-CAS カード	本体に取り付けた B-CAS カードを取り外すことなく、カードの登録番号が確認できます。
ステータス表示	本機に関するソフト情報を確認できます。
ボード	110度CSデジタル放送から送られる情報を確認できます。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［情報を見る］を選択し、(決定)を押します。
(3) ▲ または ▼ で項目を選択し、(決定)を押します。
選択した項目の情報画面が表示されます。

（［放送メール］画面）

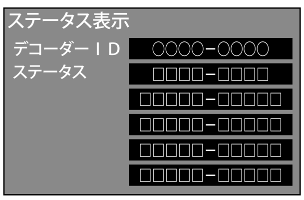
▲ または ▼ でメールを選択し、(決定)を押してください。



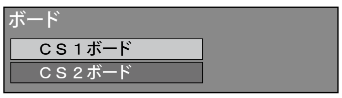
（［B-CAS カード］画面）



（［ステータス表示］画面）



（［ボード］画面）
▲ または ▼ でボードを選択し、(決定)を押してください。



CS 放送からの送られてきた情報が表示されますので、▲ または ▼ で確認したい情報を選択し、(決定)を押してください。

(4) (終了)を押します。
表示を終了します。

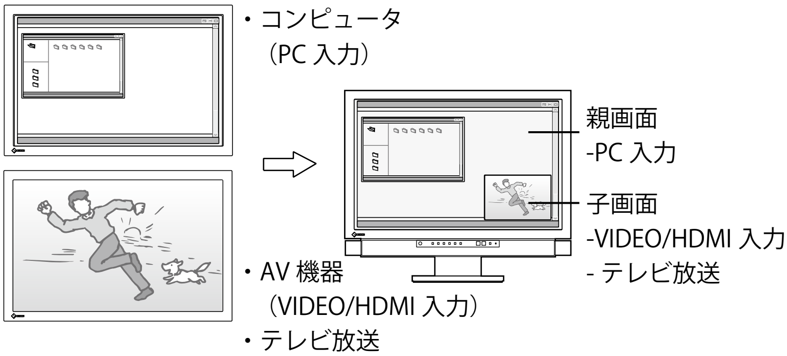
参 考
- メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。ボタンを選択して(決定)を押すと、関連画面を表示します。
- B-CAS カードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

参 考
- (青)を押すと、ソフト情報（本機で使用しているフリーソフトの状況）が表示されます。
- (赤)を押すと、ルート証明書が表示されます。

3-6　2 画面（PinP）表示にする

● 2 画面表示のオン / オフを切り換える

コンピュータ（PC 入力）の画面を親画面に、AV 機器（VIDEO/HDMI 入力）やテレビ放送の画面を子画面に、2 つの画面を同時に表示することができます。



(1) リモコンの オン/オフ PinP を押します。
　オン/オフ PinP を押すたびに、オン / オフが切り換わります。

● 出力音声を切り換える

2 画面表示時の出力音声を切り換えることができます。（親画面 / 子画面）

(1) リモコンの 音声選択 を押します。
　音声選択 を押すたびに、音声が切り換わります。

● 親画面 / 子画面の入力（放送）を切り換える

親画面 / 子画面の入力（放送）を切り換えることができます。

■ 親画面の場合

(1) リモコンの PC を押します。

■ 子画面の場合

(1) リモコンの VIDEO HDMI 放送 を押します。

● 子画面の表示位置を切り換える

子画面の表示位置を切り換えることができます。
（右上 / 右下 / 左下 / 左上）

(1) リモコンの 表示位置 を押します。
　表示位置 を押すたびに、位置が変わります。

● 子画面の表示を半透明にする［子画面半透明］

表示時に子画面を半透明にし、親画面が透けて見えるように設定できます。

　設定範囲：0、1、2、3

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定 を押します。
(2)［本体設定］メニューで［子画面半透明］を選択し、決定 を押します。
　［子画面半透明］設定画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で設定を選択し、決定 を押します。
　設定が完了します。

注意点

- 親画面と子画面を入れ替えることはできません。
- コンピュータが HDMI 入力に接続されている場合は、子画面側に表示されます。

参考

- 2 画面表示時に 画面サイズ を押すと、子画面の画面サイズを切り換えることができます。
  ただし、子画面に 1080i/720p/1080p の信号が表示されている場合は「16：9」に固定されます。
  また、子画面に HDMI 入力からの PC 信号を表示している場合は、画面サイズ での切り換えはできません。
- 2 画面表示時のカラーモードは PC 入力のモード設定が適用されます。

参考

- 2 画面表示時に、リモコンの 全画面 を押すと子画面を全画面（1 画面）で表示できます。
  もう一度ボタンを押すと、元の 2 画面表示に戻ります。

3‐7　画面の表示サイズを切り換える

● 自動切換の有効 / 無効を切り換える［画面サイズ自動切換］

AV 機器からの入力信号のアスペクト情報に応じて、自動で画面の表示サイズを切り換える / 切り換えないの設定ができます。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。
(2)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［入力別詳細設定］メニューで［画面サイズ自動切換］を選択し、決定を押します。
［画面サイズ自動切換］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

注意点
- ［画面サイズ自動切換］は、VIDEO /HDMI（ビデオ信号）入力でのみ有効です。

参 考
- 初期設定は「有効」となっています。画面サイズを自動で切り換えたくない場合は、設定を「無効」にしてください。
- 画面サイズは、自動で切り換えられた後、手動で切り換えることもできます。

● 手動で表示サイズを切り換える

参 考
- ゲーム映像を表示している場合は、サイズをご利用ください（「ゲーム画面の表示サイズを切り換える」P38 参照）。

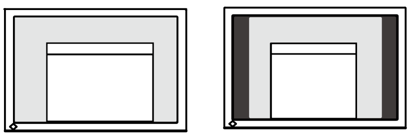
■ PC /HDMI（PC 信号）入力時

設定	状　態
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。

参 考
- 設定した解像度のままの大きさで表示したい場合は、サイズを押し、画面サイズを「ノーマル」に設定してください。

例：1280 × 1024 を表示した場合

フルスクリーン　　拡大（初期設定）

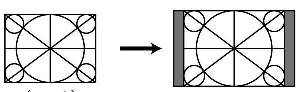
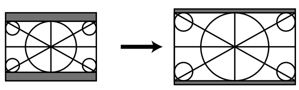
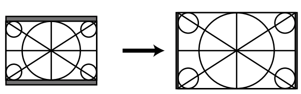


（1920 × 1200）　（1500 × 1200）

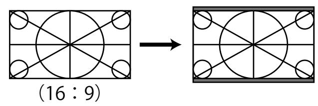
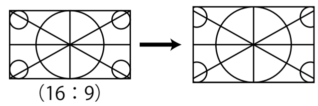
■ VIDEO /HDMI（ビデオ信号）入力時

注意点
- 1080i/720p/1080p の信号入力時は、「16：9」、「16：9 Zoom」のみ選択できます。

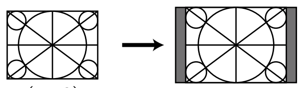
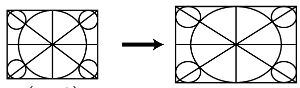
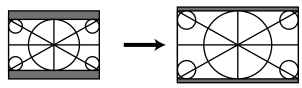
参 考
- 画面の表示サイズとは別に、画面の表示率を選択することができます（P54 参照）。

設定	状　態	入力信号 → 画面の見えかた（アスペクト比）
4：3	4：3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。16：9 サイズの映像は横に圧縮されます。	 (4：3)
4：3 Zoom1	16：9 のレターボックスを画面全体に表示します。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。	 (16：9 レターボックス)
4：3 Zoom2	14：9 のレターボックスを画面中央（15.5：10 の画面）に表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。	 (14：9 レターボックス)

次ページにつづく>>

設定	状　態	入力信号　→　画面の見えかた（アスペクト比）
16：9	16：9 サイズの映像をすべて画面に表示します。映像の上下に黒帯が表示されます。4：3 サイズの映像は横に広がります。	 （16：9）
16：9 Zoom	16：9 サイズの映像を画面全体に表示します。映像の左右が一部切れます。4：3 サイズの映像は横に広がります。	 （16：9）

■ テレビ放送時

設定	状　態	入力信号　→　画面の見えかた（アスペクト比）
ノーマル	入力信号のアスペクト情報に応じた表示になります。	 （4：3）
サイドカット	4：3 サイズの映像を画面全体に表示します。16：9 サイズの映像は左右が一部切れます。	 （4：3）
ズーム	16：9 のレターボックスを画面全体に表示します。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。	 （16：9 レターボックス）

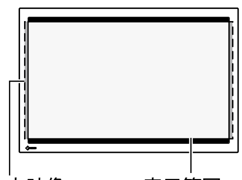
(1) リモコンの 画面サイズ を押します。

画面サイズ を押すたびに、サイズが切り換わります。

● 表示率を設定する［画面表示率］/［放送表示モード］

画面は通常、入力映像の上下左右の一部を切り取って表示されています（オーバースキャン）。この入力映像の表示範囲を切り換えることができます。

（例：「16：9」のとき）



■ VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力時

480i/480p/576i/576p の信号が入力されている場合

設定	状　態
標準	通常の表示（入力映像の上下左右の一部を切り取った状態）で画面を表示します。
フル / 全画面	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。

1080i/720p/1080p の信号が入力されている場合

設定	状　態
標準	通常の表示（入力映像の上下左右の一部を切り取った状態）で画面を表示します。
フル	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。
全画面	16：9 サイズの映像を、アスペクト比を保ったまま画面全体に表示します。映像の左右が一部切れます。

注意点

- ［画面表示率］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力でのみ有効です。
- ［放送表示モード］は、テレビ放送を 1 画面表示している場合でのみ有効です。

注意点

- 画面サイズが「16:9」の場合に「全画面」を選択すると、画面の見えかたは「16：9 Zoom」の画面サイズと同じ状態になります。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。
(2)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［入力別詳細設定］メニューで［画面表示率］を選択し、決定を押します。
［画面表示率］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で「標準」/「フル」/「全画面」を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

参考
- 「フル」および「全画面」を選択すると、画面周辺部にノイズが見える場合があります。その場合には「標準」を選択してください。

■テレビ放送時

設定	状態
16：9	通常の表示（入力映像の上下左右の一部を切り取った状態）で画面を表示します。
16：9 フル	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。
全画面	16：9 サイズの映像を、アスペクト比を保ったまま画面全体に表示します。映像の左右が一部切れます。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。
(2)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［入力別詳細設定］メニューで［放送表示モード］を選択し、決定を押します。
［放送表示モード］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で「16：9」/「16：9 フル」/「全画面」を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

参考
- 「16：9フル」および「全画面」を選択すると、画面周辺部にノイズが見える場合があります。その場合には「16：9」を選択してください。

第 4 章　調整と設定をする

4 - 1　　画面の調整をする

PC2 入力の場合（アナログ信号入力時）

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

以下の場合には自動画面調整機能がはたらきます。
- モニターに初めて信号を入力した場合
- これまでに表示したことのない解像度や垂直周波数、水平周波数に変更した場合

自動画面調整機能実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をしてください。

参 考
- コンピュータからデジタル信号が入力されている場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。画面の調整をする必要はありません。

注意点
- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。
- VGA など低解像度の信号では自動画面調整機能は働きません。

［調整手順］

1　自動画面調整をします。

● **画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［自動画面調整］**

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、(決定)を押します。
(2)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［入力別詳細設定］メニューで［自動画面調整］を選択し、(決定)を押します。
(4) ◀ または ▶ で「はい」を選択し、(決定)を押します。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

1 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［自動レンジ調整］」にお進みください。

注意点
- この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

参 考
- 「入力信号の解像度を選択してください。」というメッセージが表示された場合は、コンピュータ側で設定した解像度を選択して(決定)を押してください。

2　アナログ画面調整用のパターンを準備します。

■ ご使用の OS が Windows の場合
「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、画面調整パターン集を開きます。

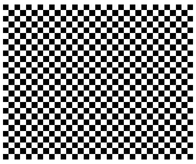
■ ご使用の OS が Windows 以外の場合
当社ホームページ（http://www.eizo.co.jp）から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

参 考
- 画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、Readmeja.txt を参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動画面調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［自動画面調整］

(1) 画面調整パターン集のパターン 1 を全画面に表示します。



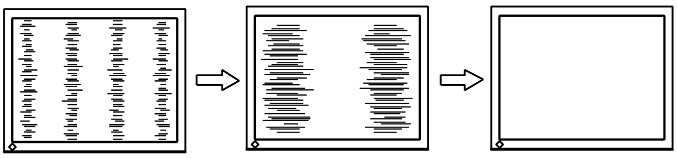
(2) 設定メニューの［本体設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(4)［入力別詳細設定］メニューで［自動画面調整］を選択し、(決定)を押します。
(5) ◀ または ▶ で「はい」を選択し、(決定)を押します。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

> 3 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［自動レンジ調整］」にお進みください。

4 設定メニューの［入力別詳細設定］メニューで詳細な調整をします。

● 縦縞を消す［クロック］

(1)［入力別詳細設定］メニューで［クロック］を選択し、(決定)を押します。
［クロック］調整画面が表示されます。
(2) ◀ または ▶ で縦縞が消えるように調整し、(決定)を押します。
調整が完了します。



参考
- 調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
- 調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる［フェーズ］」にすすみ調整をおこなってください。

● ちらつきやにじみをとる［フェーズ］

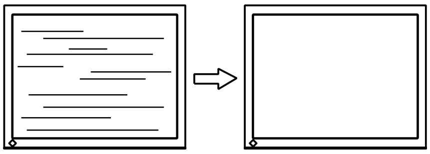
調整範囲：0 ～ 63

(1)［入力別詳細設定］メニューで［フェーズ］を選択し、(決定)を押します。

［フェーズ］調整画面が表示されます。

(2) ◀ または ▶ で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、(決定)を押します。

調整が完了します。



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

参 考

- 調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す［クロック］」に戻り、再度調整をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）

● 表示位置のずれを直す［ポジション］

(1)［入力別詳細設定］メニューで［ポジション］を選択し、(決定)を押します。

［ポジション］調整画面が表示されます。

(2) 画面の位置が合うように ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で調整し、(決定)を押します。

調整が完了します。

参 考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する［自動レンジ調整］

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

(1) 画面調整パターン集のパターン 2 を全画面に表示します。



(2)［入力別詳細設定］メニューで［自動レンジ調整］を選択し、(決定)を押します。

(3) ◀ または ▶ で「はい」を選択し、(決定)を押します。

出力レンジが自動的に調整されます。

(4) パターン 2 を閉じます。

VIDEO2 入力の場合

● ちらつきやにじみをとる［フェーズ］

調整範囲：0 ～ 63

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。

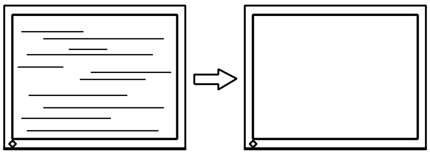
(2)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、決定を押します。

(3)［入力別詳細設定］メニューで［フェーズ］を選択し、決定を押します。

［フェーズ］調整画面が表示されます。

(4) ◀ または ▶ で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、決定を押します。

調整が完了します。



4‐2　カラー調整をする

● カラーモードを選ぶ［カラーモード］

カラーモードを切り換えることにより、モニターの用途に応じた表示モードに設定できます。

カラーモードの種類

■ PC/HDMI（PC 信号）入力時

モード	状　態
テキスト	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
ピクチャー	写真やイラストなどの画像表示に適しています。
ムービー	動画の再生に適しています。
ゲーム（PC）	ゲーム映像の表示に適しています。
カスタム（xxx ※1）	お好みの設定にすることができます。

※1 そのとき選択している入力が表示されます。

■ VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時

モード	状　態
スタンダード	標準的な映像表示に設定されています。
シネマ	映画などの映像に適した表示に設定されています。
ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。
ゲーム※1	ゲーム映像に適した表示に設定されています。
カスタム（xxx ※2）	お好みの設定にすることができます。

※1 VIDEO/HDMI（ビデオ 信号）入力時のみ
※2 そのとき選択している入力が表示されます。

リモコンで設定する場合

(1) リモコンの［カラーモード］を押します。
［カラーモード］を押すたびに、モードが切り換わります。

設定メニューで設定する場合

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、［決定］を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［カラーモード］を選択し、［決定］を押します。
［カラーモード］設定画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ でモードを選び、［決定］を押します。
設定が完了します。

参考

- PC 入力時、ScreenManager Pro for LCD を使うと、使用するアプリケーションにあわせてカラーモードが自動で切り換わります。（ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書「第 3 章 オートファインコントラスト」参照）

● 詳細な調整をする

カラーモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

● 各モードの調整項目

カラーモードの種類により、調整できる機能が異なります。

■ PC/HDMI（PC 信号）入力時　　〇：調整可　—：調整不可

機能名		カラーモード				
		テキスト	ピクチャー	ムービー	ゲーム（PC）	カスタム（xxx ※1）
ブライトネス		〇	〇	〇	〇	〇
黒レベル		—	—	—	〇	〇
コントラスト		—	〇	〇	〇	〇
色の濃さ		〇	〇	〇	〇	〇
色合い		〇	〇	〇	〇	〇
色温度		〇	〇	〇	〇	〇
詳細設定	Auto EcoView	—	〇	〇	〇	〇
	輪郭補正	—	〇	〇	〇	〇
	コントラスト拡張	—	〇	〇	〇	〇
	ガンマ	—	—	—	〇	〇
	ゲイン	—	—	—	〇	〇
	リセット	〇	〇	〇	〇	〇
リセット		〇	〇	〇	〇	〇

※1 そのとき選択している入力が表示されます。

■ VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時

〇：調整可　—：調整不可

機能名		カラーモード				
		スタンダード	シネマ	ダイナミック	ゲーム※1	カスタム（xxx ※2）
ブライトネス		〇	〇	〇	〇	〇
黒レベル		〇	〇	〇	〇	〇
コントラスト		〇	〇	〇	〇	〇
色の濃さ		〇	〇	〇	〇	〇
色合い		〇	〇	〇	〇	〇
色温度		〇	〇	〇	〇	〇
詳細設定	Auto EcoView	〇	〇	〇	〇	〇
	輪郭補正	〇	〇	〇	〇	〇
	コントラスト拡張	〇	〇	〇	〇	〇
	RGB バランス	〇	〇	〇	〇	〇
	ガンマ	—	—	—	〇	〇
	ノイズフィルタ	—	—	—	〇	〇
	I/P 変換	—	—	—	〇	〇
	リセット	〇	〇	〇	〇	〇
リセット		〇	〇	〇	〇	〇

※1 VIDEO/HDMI（ビデオ 信号）入力時のみ
※2 そのとき選択している入力が表示されます。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する［自動レンジ調整］」P58 参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参 考

- 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- PC 入 力 時、ScreenManager Pro for LCD を使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます。（ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書「第 4 章 カラー調整）」参照）

● ブライトネス（明るさ）を調整する［ブライトネス］

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［ブライトネス］を選択し、決定を押します。
［ブライトネス］調整画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で調整し、決定を押します。
調整が完了します。

● 黒レベルを調整する［黒レベル］

映像の黒色の状態を調整します。
PC/HDMI（PC 信号）入力では、色を構成する赤、緑、青（RGB）個別の調整となり、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送ではRGB 一括の調整となります。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［黒レベル］を選択し、決定を押します。
［黒レベル］調整画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で調整し、決定を押します。
調整が完了します。

参 考
- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。

● コントラストを調整する［コントラスト］

映像信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［コントラスト］を選択し、決定を押します。
［コントラスト］調整画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で調整し、決定を押します。
調整が完了します。

参 考
- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。
- 50 ですべての色階調を表示します（PC 入力時のみ）。
- 画面の明るさは、はじめに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをおすすめします。
コントラスト調整は以下のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが 100 でも画面が暗いと感じた時（コントラストを 50 以上に設定します）
  - ブライトネスが 0 でも画面が明るいと感じた時（コントラストを 50 以下に設定します）

注意点
- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色の濃さを調整する［色の濃さ］

色の濃さを調整します。

調整範囲：-50 ～ 50

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［色の濃さ］を選択し、決定を押します。
［色の濃さ］調整画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で調整し、決定を押します。
調整が完了します。

● 色合いを調整する［色合い］

色合いを調整します。値を高くすると緑がかった色になり、値を低くすると紫がかった色になります。

調整範囲：-50 ～ 50

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［色合い］を選択し、(決定)を押します。
［色合い］調整画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で調整し、(決定)を押します。
調整が完了します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色温度を調整する［色温度］

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

5000K	やや赤みがかかった色です。印刷業界では一般的に 5000K や 6500K が使われています。
6500K	暖色で紙色に近い色調で、写真やビデオ画像の表示に適した色調とされています。
9300K	やや青みがかかった白色です。

調整範囲：オフ、4000K ～ 10000K（500K 単位、9300K 含む）

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［色温度］を選択し、(決定)を押します。
［色温度］調整画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で調整し、(決定)を押します。
調整が完了します。

参考

- ［ゲイン］でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する［ゲイン］」P65 参照）。
- 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● 自動明るさ調整の設定を切り換える［Auto EcoView］

モニター下部のセンサーが検知した周囲の明るさと、表示映像の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します。

設定範囲：標準、強、無効

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［Auto EcoView］を選択し、(決定)を押します。
［Auto EcoView］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で「標準」/「強」/「無効」を選択し、(決定)を押します。
設定が完了します。

参考

- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。
- Auto EcoView 機能を使用する場合は、センサーをふさがないように注意してください。
- 「標準」の設定で画面が明るく感じるときに「強」にしてください。

● 映像の輪郭を補正する［輪郭補正］

輪郭の強調度合いを調整します。

調整範囲：-5 ～ 5

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［輪郭補正］を選択し、(決定)を押します。
［輪郭補正］調整画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で調整し、(決定)を押します。
調整が完了します。

参考
- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。

● 自動コントラスト調整の有効 / 無効を切り換える［コントラスト拡張］

暗いシーンの時にバックライトを制御して、自動的に映像のコントラスト感を調整する / しないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［コントラスト拡張］を選択し、(決定)を押します。
［コントラスト拡張］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、(決定)を押します。
設定が完了します。

参考
- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。

● 赤･緑･青（RGB）のバランスを微調整する［RGB バランス］

赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にします。

調整範囲：-3 ～ 3

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［RGB バランス］を選択し、(決定)を押します。
［RGB バランス］調整画面が表示されます。
(4) 赤、緑、青それぞれの値を ◀ または ▶ で調整し、(決定)を押します。
調整が完了します。

注意点
- ［RGB バランス］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時にのみ設定できます。

参考
- 設定をすべて「0」にすると、「標準」の状態となります。

● ガンマを調整する［ガンマ］

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

調整範囲：1.8、2.0、2.2、2.4、2.6、2.8

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［ガンマ］を選択し、(決定)を押します。
［ガンマ］調整画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で調整し、(決定)を押します。
調整が完了します。

参考
- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。

● ゲインを調整する［ゲイン］

色を構成する赤、緑、青（RGB）のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」（各色の入力信号が最大のとき）の色調を変更することができます。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［ゲイン］を選択し、(決定)を押します。
　［ゲイン］調整画面が表示されます。
(4) 赤、緑、青それぞれの値を ◀ または ▶ で調整し、(決定)を押します。
　調整が完了します。

注意点

- ［ゲイン］は、PC/HDMI（PC 信号）入力時にのみ設定できます。

参考

- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。
- ［ゲイン］調整画面の［リセット］を選択して「決定」を押すと、ゲインの値が初期設定（工場出荷状態）に戻ります。

● 映像のノイズを軽減する［ノイズフィルタ］

細かいノイズや MPEG 圧縮時のノイズを軽減します。

設定範囲：無効、強、弱

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［ノイズフィルタ］を選択し、(決定)を押します。
　［ノイズフィルタ］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で「無効」/「強」/「弱」を選択し、(決定)を押します。
　設定が完了します。

注意点

- ［ノイズフィルタ］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時にのみ設定できます。
- 設定によっては画面が見づらくなる場合があります。

参考

- 選択しているカラーモードにより、機能が表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P61 参照）。

● I/P 変換の処理方法を設定する［I/P 変換］

I/P（インターレース - プログレッシブ）変換の処理方法を設定します。

設定	状　態
動画（2-3）	毎秒 60 コマで記録された映像信号と映画フィルムなどの毎秒 24 コマで記録された映像信号を自動的に判別して、それぞれに適した変換処理をおこないます。ほとんどの映像信号において最適な設定です。
動画（2-3/2-2）	「動画（2-3）」に加えて、CG やアニメーションなどの毎秒 30 コマで記録された映像信号に対しても自動判別をおこない、最適な変換処理をおこないます。
動画	24 コマ /30 コマに対する変換処理をおこないません。「動画（2-3）」または「動画（2-3/2-2）」で映像信号の動きが気になる場合に設定すると、症状が改善される場合があります。
静止画	動きの少ない映像信号でちらつきが気になるときに設定すると、症状が改善される場合があります。

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定)を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［I/P 変換］を選択し、(決定)を押します。
　［I/P 変換］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で設定を選択し、(決定)を押します。
　設定が完了します。

注意点

- ［I/P 変換］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時にのみ設定できます。

4 - 3　音声を調整する

● 左右の音量バランスを調整する［バランス］

スピーカーやヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。

　調整範囲：-6 〜 6

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、決定を押します。

(2)［サウンド設定］メニューで［バランス］を選択し、決定を押します。

　［バランス］調整画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、決定を押します。

　調整が完了します。

● 高音 / 低音を調整する［高音］/［低音］

高音域 / 低音域の強弱を調整します。

　調整範囲：-6 〜 6

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、決定を押します。

(2)［サウンド設定］メニューで［高音］または［低音］を選択し、決定を押します。

　［高音］または［低音］調整画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、決定を押します。

　調整が完了します。

● 低音強調の有効 / 無効を切り換える［低音強調］

スピーカーから出力される音声の低音部を強調する / しないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、決定を押します。

(2)［サウンド設定］メニューで［低音強調］を選択し、決定を押します。

　［低音強調］設定画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、決定を押します。

　設定が完了します。

● ワイドサウンドの有効 / 無効を切り換える［ワイドサウンド］

スピーカーから出力される音声に広がりを持たせる / 持たせないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、決定を押します。

(2)［サウンド設定］メニューで［ワイドサウンド］を選択し、決定を押します。

　［ワイドサウンド］設定画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、決定を押します。

　設定が完了します。

参考

- ［バランス］、［高音］、［低音］調整は、スピーカーとヘッドホンで個別に調整できます。ヘッドホンの調整はヘッドホンを接続しているときにおこなってください。

注意点

- 音声の設定によっては、音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてみてください。ひずみが解消されることがあります。

● 音声のレベルを調整する［音声レベル］

入力する音声のレベルを調整します。
外部機器の平均的な音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。レベルを調整することで、音量差を軽減することができます。

調整範囲：-3 ～ 3

(1) 音量レベルを調整したい入力に切り換えます。
(2) 設定メニューの［本体設定］を選択し、(決定)を押します。
(3)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、(決定)を押します。
(4)［入力別詳細設定］メニューで［音量レベル］を選択し、(決定)を押します。
［音量レベル］調整画面が表示されます。
(5) ◀ または ▶ で調整し、(決定)を押します。
調整が完了します。

参考
- 例えば、VIDEO1 と VIDEO2 で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減できます。

4-4　省電力の設定をおこなう

● 無信号時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える［無信号電源オフ］

ビデオ信号の入力がない状態が 15 分続いた時に、モニターの電源を自動的にオフにする / しないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［PowerManager］を選択し、(決定)を押します。
(2)［PowerManager］メニューで［無信号電源オフ］を選択し、(決定)を押します。
［無信号電源オフ］設定画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、(決定)を押します。
設定が完了します。

注意点
- 主電源スイッチをオフにするか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

注意点
- ［無信号電源オフ］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力でのみ有効です。

参考
- 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます。」と表示されます。

● 無操作時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える［無操作電源オフ］

リモコンや本体のボタン操作がない状態が 3 時間続いた時に、モニターの電源を自動的にオフにする / しないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［PowerManager］を選択し、(決定)を押します。
(2)［PowerManager］メニューで［無操作電源オフ］を選択し、(決定)を押します。
［無操作電源オフ］設定画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、(決定)を押します。
設定が完了します。

注意点
- ［無操作電源オフ］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送でのみ有効です。

参考
- 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます。」と表示されます。

● モニターの省電力モードの有効 / 無効を切り換える［パワーセーブ（PC）］

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り換えができます。

■ デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

［節電の流れ］

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
節電モード	節電モード	オレンジ

■ アナログ信号入力の場合

「VESA DPMS」に準拠しています。

［節電の流れ］

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	オレンジ

(1) 設定メニューの［PowerManager］を選択し、(決定)を押します。

(2)［PowerManager］メニューで［パワーセーブ（PC）］を選択し、(決定)を押します。

［パワーセーブ（PC）］設定画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択し、(決定)を押します。

設定が完了します。

注意点

- ［パワーセーブ（PC）］は、PC/HDMI（PC 信号）入力でのみ有効です。
- HDMI 入力で［パワーセーブ（PC）］機能を利用するときは、［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［入力フォーマット］を「PC」に設定してください（P69 参照）。
- 2 画面表示時は省電力モードに移行しません。
- 「無効」に設定した場合、コンピュータの電源をオフすると、自動的にモニターの電源も切れます。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンがオフの場合、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。

参考

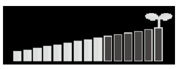
- 節電モードから復帰させるときは以下の操作をおこないます。
  - キーボードまたはマウスを操作する
  - リモコンの (電源) 以外のボタンを押す

4-5　EcoView Index でモニターの省電力の度合いを表示する

省電力の度合いを緑のインジケータで示します。インジケータが右方向に点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

(1) リモコンの (EcoView Index) を押します。

EcoView Index が表示されます。



参考

- EcoView Index は電源オン時や設定メニュー終了時などにも表示されます。
  ［PowerManager］メニューの［EcoView Index］で EcoView Index 表示の有効 / 無効を切り換えることができます。「オフ」に設定すると、リモコンの (EcoView Index) を押したときのみ、EcoView Index が表示されます。

4 - 6　モニターの電源を自動的にオフにする

モニターの電源を自動的にオフにするまでの時間を設定できます。

設定範囲：無効、30、60、90、120、150、180 分

(1) リモコンの オフタイマー を押します。

オフタイマー を押すたびに、設定時間が切り換わります。

■オフタイマーを解除する

(1)「無効」が表示されるまで、オフタイマー を押します。

■残り時間を確認する

(1) オフタイマーの設定中に、オフタイマー を押します。

電源が切れるまでの時間が表示されます。

■オフタイマー時間を延長する

(1) 残り時間の表示中に、オフタイマー を押します。

オフタイマー を押すたびに、時間が延長されます。

参考

- 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます。」と表示されます。
- 電源を切ったときにも、オフタイマーが解除されます。
- 残り時間は、秒を切り捨てた分単位で表示されます。

4 - 7　電源ランプの点灯 / 消灯を切り換える［電源ランプ］

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯 / 消灯の切り換えができます。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。

(2)［本体設定］メニューで［電源ランプ］を選択し、決定を押します。

［電源ランプ］設定画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択し、決定を押します。

設定が完了します。

4 - 8　HDMI 入力の信号の入力フォーマットを設定する［入力フォーマット］

HDMI 端子にコンピュータを接続して、PC 信号を入力する場合に設定します。

設定範囲：50Hz、60Hz、PC

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。

(2)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、決定を押します。

(3)［入力別詳細設定］メニューで［入力フォーマット］を選択し、決定を押します。

［入力フォーマット］設定画面が表示されます。

(4) ◀ または ▶ で「PC」を選択し、決定を押します。

設定が完了します。

注意点

- ［入力フォーマット］は、HDMI 入力時にのみ設定できます。
- コンピュータを起動する前に、本設定をおこなってください。
コンピュータの起動後に設定を変更した場合は、コンピュータを再起動してください。

4 - 9　HDMI 入力の音声の入力端子を設定する［音声入力端子］

HDMI 入力で、映像信号は HDMI 端子から、音声信号は HDMI 端子以外から入力する場合に設定します。

設定範囲：HDMI、アナログ音声、PC2 音声

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定を押します。
(2)［本体設定］メニューで［入力別詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［入力別詳細設定］メニューで［音声入力端子］を選択し、決定を押します。
［音声入力端子］設定画面が表示されます。
(4) ◀ または ▶ で音声信号を入力する端子を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

注意点
- ［音声入力端子］は、HDMI 入力時にのみ設定できます。

4 - 10　デジタル放送の設定をおこなう

● チャンネル設定をする［チャンネル設定］

現在のチャンネル設定を修正します。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、決定を押します。
(3)［設定する］メニューで［設置設定］を選択し、決定を 3 秒以上押します。
(4)［設置設定］メニューで［チャンネル設定］を選択し、決定を押します。
［チャンネル設定］画面が表示されます。
(5) ▲ または ▼ でチャンネル修正したい放送を選択し、決定を押します。

注意点
- ［デジタルメニュー］は、テレビ放送選択時にのみ有効になります。



■ 地上デジタル放送の場合

初期スキャン	引越しなどで受信地域が変わったときなどに、改めて受信設定を自動でおこないます。
再スキャン	地上デジタル放送の受信状況が変わったときに（新たに放送局が追加されたなど）、受信できる局を自動で追加します。
マニュアル修正	自動で設定された地上デジタル放送のチャンネル設定を手動で修正します。

初期スキャン

① ［初期スキャン］を選択し、決定を押します。
② ◀ または ▶ でお住まいの地域を選択し、決定を押します。
チャンネルスキャンが始まります。
チャンネルスキャンが終了すると、チャンネル設定画面が表示されます。
③ 正しく設定されていることを確認して［終了］を選択し、決定を押します。
④ 設定確認画面で「はい」を選択し、決定を押します。
⑤ 終了を押します。
設定を終了します。

注意点
- 受信される地域によっては 10 分程度かかることがあります。

再スキャン

① ［再スキャン］を選択し、(決定)を押します。
チャンネルスキャンが始まります。
チャンネルスキャンが終了すると、チャンネル設定画面が表示されます。

② 正しく設定されていることを確認して［終了］を選択し、(決定)を押します。

③ 設定確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。

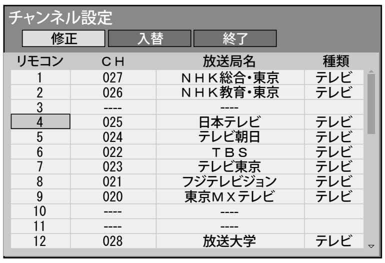
④ (終了)を押します。
設定を終了します。

マニュアル修正

① ［マニュアル］を選択し、(決定)を押します。

② ［修正］を選択し、(決定)を押します。

③ ▲ または ▼ で修正したいリモコン番号を選択します。


チャンネル設定
修正　入替　終了

リモコン	ＣＨ	放送局名	種類
1	027	ＮＨＫ総合・東京	テレビ
2	026	ＮＨＫ教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	025	日本テレビ	テレビ
5	024	テレビ朝日	テレビ
6	022	ＴＢＳ	テレビ
7	023	テレビ東京	テレビ
8	021	フジテレビジョン	テレビ
9	020	東京ＭＸテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	028	放送大学	テレビ

④ ◀ または ▶ で「CH」（チャンネル）の項目を選択し、▲ または ▼ で修正します。

⑤ 修正が終了したら、(戻る)を押します。

⑥ ［終了］を選択し、(決定)を押します。

⑦ 設定確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。

⑧ (終了)を押します。
設定を終了します。

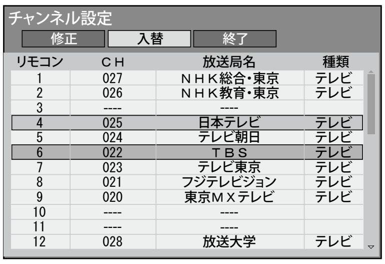
チャンネル設定の入れ替え

チャンネルや放送局名など、設定した項目を他のリモコン番号と入れ換えることができます。

❶ 上記手順②の画面で［入替］を選択し、(決定)を押す

❷ 入れ替えたいリモコン番号を選択し、(決定)を押します。

❸ 入れ替え先のリモコン番号を選択し、(決定)を押します。


チャンネル設定
修正　入替　終了

リモコン	ＣＨ	放送局名	種類
1	027	ＮＨＫ総合・東京	テレビ
2	026	ＮＨＫ教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	025	日本テレビ	テレビ
5	024	テレビ朝日	テレビ
6	022	ＴＢＳ	テレビ
7	023	テレビ東京	テレビ
8	021	フジテレビジョン	テレビ
9	020	東京ＭＸテレビ	テレビ
10	----	----	
11	----	----	
12	028	放送大学	テレビ

手順❷で選択したリモコン番号の設定と、手順❸で選択したリモコン番号の設定が入れ替わります。

❹ 入れ換えが終了したら、(戻る)を押します。

❺ ［終了］を選択し、(決定)を押します。

❻ 設定確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。

❼ (終了)を押します。

次ページにつづく>>

注意点

- 再スキャンに 10 分程度かかることがあります。
- 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

参 考

- チャンネルは最大 36 局まで設定できます。
設定したチャンネルは、「お好み」チャンネルとして登録されます。
［選局対象］（P45 参照）を「お好み」にすると、番組表には設定したチャンネルのみが表示され、リモコンの順送りでも設定したチャンネルのみが選局されます。

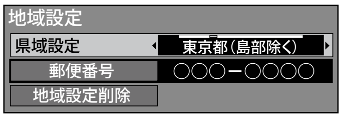
■BS・CS1・CS2 放送の場合

設定方法は、地上デジタル放送の「マニュアル修正」と同様です。P71を参照してください。

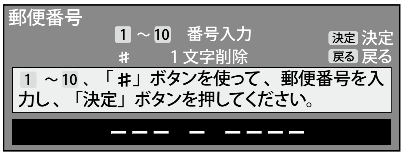
● 地域設定をする［地域設定］

地域設定は、引越しなどでお住まいが変わったときなどに、データ放送の地域情報を受信するために設定します。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、(決定)を押します。
(3)［設定する］メニューで［設置設定］を選択し、(決定)を 3 秒以上押します。
(4)［設置設定］メニューで［地域設定］を選択し、(決定)を押します。
［地域設定］画面が表示されます。
(5) ▲ または ▼ で［県域設定］を選択し、◀ または ▶ でお住まいの地域を選択します。



(6) ▲ または ▼ で［郵便番号］を選択し、(決定)を押します。
［郵便番号］設定画面が表示されます。
(7) 1 〜 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、(決定)を押します。

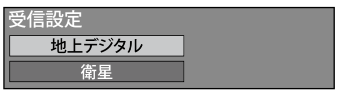


(8) 設定確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。
(9) (終了)を押します。
設定を終了します。

● 受信設定をする［受信設定］

デジタル放送の映りが悪いときなどに、アンテナの方向を調整し、アンテナレベルを最大にします。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、(決定)を押します。
(3)［設定する］メニューで［設置設定］を選択し、(決定)を 3 秒以上押します。
(4)［設置設定］メニューで［受信設定］を選択し、(決定)を押します。
［受信設定］画面が表示されます。
(5) ▲ または ▼ で調整するアンテナの種類を選択し、(決定)を押します。



参考
- 伊豆諸島、小笠原諸島地域は「東京都島部」を選択します。
- 南西諸島鹿児島県地域は「鹿児島県島部」を選択します。

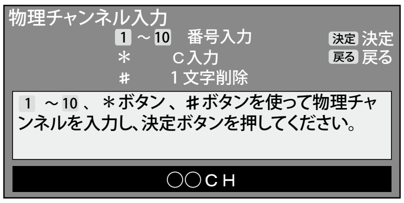
参考
- 地域設定をお買い上げの状態に戻すときは、［地域設定削除］を選択してください。

参考
- 集合住宅などの共同アンテナの場合は、この調整は不要です。
- アンテナの方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。
- アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適性を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さでなく、質（信号と雑音の比率）を表します。
アンテナレベルは、天候や季節などの自然条件、地域やチャンネルなどにより異なります。またアンテナの種類などによっても変動することがありますので、十分な余裕をとることをおすすめします。
- アンテナレベルは、(サブメニュー)を押し、［受信状況］を選択することによっても確認できます。

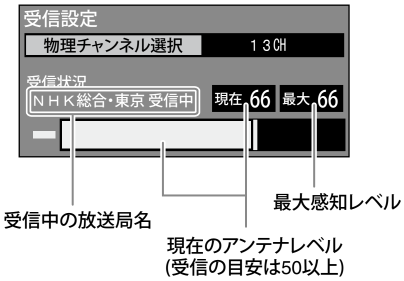
■地上デジタル用アンテナの場合

① ［物理チャンネル選択］が選択されていることを確認し、決定を押します。
［物理チャンネル入力］画面が表示されます。

② 1～10で視聴するいずれかの放送局の「物理チャンネル」を入力し、決定を押します。



③ アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大にします。



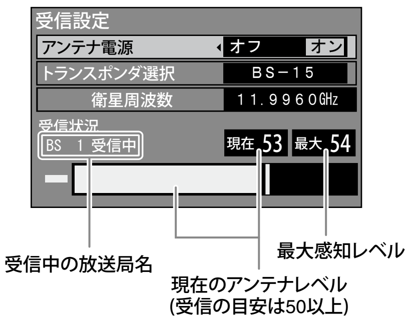
④ 終了を押す
調整を終了します。

■衛星（BS・110度CSデジタル）用アンテナの場合

① ▲または▼で［アンテナ電源］を選択し、◀または▶で「オン」または「オフ」を選択します。

設定	内　　容
オン	戸建住宅でアンテナを設置している場合
オフ	集合住宅などで、共同アンテナを利用している場合

② アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大にします。



③ 終了を押します。
調整を終了します。

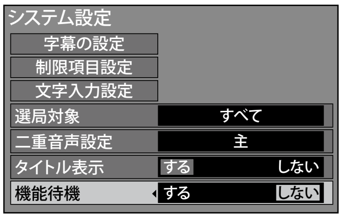
参 考
• アンテナ電源を「オン」にするときは、アンテナ設定終了後、「機能待機の設定［機能待機］」（P74参照）をおこなってください。

注意点
• ［トランスポンダ選択］と［衛星周波数］の設定は、変えないでください。変えると視聴できなくなることがあります。この設定は、放送局からの案内が来たときのみ、再設定してください。

機能待機の設定［機能待機］

衛星アンテナのコンバーターへ、電源を常時供給するかしないかを設定します。

❶ 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。
❷［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、(決定)を押します。
❸［設定する］メニューで［システム設定］を選択し、(決定)を押します。
［システム設定］画面が表示されます。
❹ ▲または▼で［機能待機］を選択し、◀または▶で「する」または「しない」を選択します。



❺ (終了)を押します。
設定を終了します。

注意点

- 機能待機の設定は、衛星アンテナ設定の［アンテナ電源］が「オン」のときに有効です。

参 考

- 機能待機を「する」に設定すると、出画時間は早くなりますが、電源ボタンオフ時（スタンバイ状態）でも 10W 以下の電力を消費します。
- 「しない」に設定すると、電源ボタンオフ時の消費電力を少なくすることができます。

● 電話設定をする［電話設定］

電話回線に接続した電話の設定をおこないます。
かんたん設置設定（P33 参照）で設定した電話設定を修正したい場合もここでおこないます。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、(決定)を押します。
(3)［設定する］メニューで［設置設定］を選択し、(決定)を 3 秒以上押します。
(4)［設置設定］メニューで［電話設定］を選択し、(決定)を押します。
［電話設定］画面が表示されますので、電話の使用状況に応じて各項目を設定します。（設定内容については、P35 を参照してください。）
(5) (終了)を押します。
設定を終了します。

注意点

- 設定の前に、電話回線に正しく接続されていることを確認してください。（P29 参照）

● B-CAS カードの動作をテストする［B-CAS カードテスト］

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、(決定)を押します。
(3)［設定する］メニューで［設置設定］を選択し、(決定)を 3 秒以上押します。
(4)［設置設定］メニューで［B-CAS カードテスト］を選択し、(決定)を押します。
B-CAS カードテストが開始されます。
テストが完了すると、テスト結果が表示されます。
(5) (終了)を押します。
テストを終了します。

注意点

- テスト結果に「NG」と表示されたときは、B-CAS カードの挿入を確認してください。

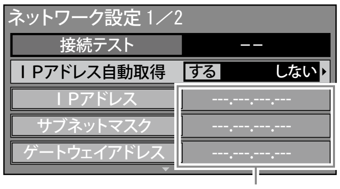
● ネットワーク設定 / ブラウザ設定をする［ネットワーク設定 / ブラウザ設定］

データ放送の双方向通信サービスをインターネット経由で利用する場合に設定します。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、決定を押します。
(3)［設定する］メニューで［設置設定］を選択し、決定を 3 秒以上押します。
(4)［設置設定］メニューで［ネットワーク設定］を選択し、決定を押します。
　［ネットワーク設定］画面が表示されます。
(5) IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスを設定します。
　ルーターなどの仕様に従って、IP アドレスを設定してください。

■ DHCP での IP アドレスの自動取得が使える場合

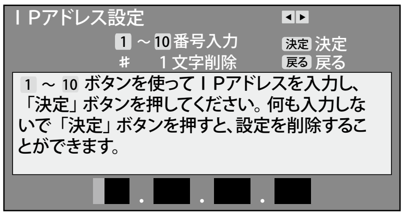
① ▲ または ▼ で［IP アドレス自動取得］を選択し、◀ または ▶で「する」を選択します。



取得したアドレスを表示

■ 手動で入力する場合

① ▲ または ▼ で［IP アドレス自動取得］を選択し、◀ または ▶で「しない」を選択します。
② ▲ または ▼ で［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイアドレス］をそれぞれ選択し、決定を押します。
　画面の指示に従ってそれぞれ入力してください。



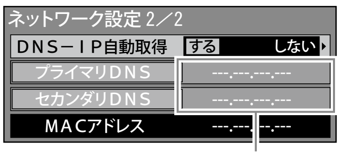
（入力画面例：IPアドレス）

③ 戻るを押します。

(6) プライマリ DNS/ セカンダリ DNS を設定します。

■ DHCP での DNS アドレスの自動取得が使える場合

① ▲ または ▼ で［DNS-IP 自動取得］を選択し、◀ または ▶で「する」を選択します。



取得したアドレスを表示

次ページにつづく>>

参 考

・ブロードバンドルーターやルーター機能付き ADSL モデムをお使いの場合は、一般に DHCP での IP アドレス自動取得が使えます。ご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

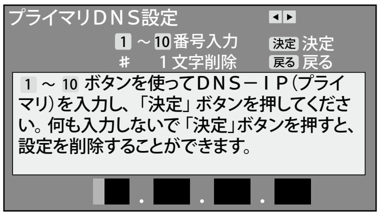
注意点

・IP アドレスが 0 ～ 255 の範囲外のときは、エラーメッセージが表示されます。

■手動で入力する場合

① ▲または▼で［DNS-IP 自動取得］を選択し、◀または▶で「しない」を選択します。

② ▲または▼で［プライマリ DNS］［セカンダリ DNS］をそれぞれ選択し、(決定)を押します。
プロバイダーから指示された IP アドレスを画面の指示に従って入力してください。



（入力画面例：IPアドレス）

③ (戻る)を押します。

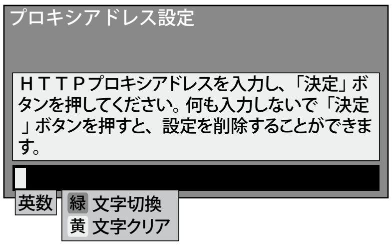
(7) (戻る)を押します。

(8)［設置設定］メニューで［ブラウザ設定］を選択し、(決定)を押します。
［ブラウザ設定］画面が表示されます。

(9) プロキシアドレス / プロキシポート番号を設定します。
プロバイダーから指定があるとき、プロキシアドレスを設定します。
これは、ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを転送する中継サーバーのアドレスです。

① ▲または▼で［プロキシアドレス］を選択し、(決定)を押します。

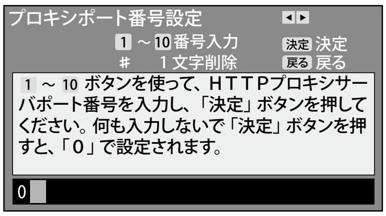
② アドレスを入力し、(決定)を押します。
文字の入力方法は、「6-2　文字入力のしかた」（P88）を参照してください。



③ 設定確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。

④ ▲または▼で［プロキシポート番号］を選択し、(決定)を押します。

⑤ ポート番号を入力し、(決定)を押します。



⑥ 設定確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。

(10) (戻る)を押します。

(11)［設置設定］メニューで［ネットワーク設定］を選択し、(決定)を押します。
［ネットワーク設定］画面が表示されます。

(12)▲または▼で［接続テスト］を選択し、(決定)を押します。
接続テストが実行されます。
テストが完了すると、テスト結果が表示されます。

注意点
- IP アドレスが 0 ～ 255 の範囲外のときは、エラーメッセージが表示されます。

注意点
- テスト結果に「NG」と表示されたときは、ネットワークの接続と設定を確認し、再度テストを実行してください。

● 自動更新設定（ダウンロード予約）をする［自動更新設定］

デジタル放送から送られる新しい情報の放送ダウンロードの方法を設定します。

設定	内　容
自動	通常は「自動」をおすすめします。 電源ボタンオフ時（スタンバイ状態）のときに情報が届いた場合、自動的に放送ダウンロードを実行します。
手動	情報が届いた場合、メールでお知らせします。 このときは、［放送メール］（P51 参照）を確認し、［ダウンロード予約］の「する」または「しない」を選択します。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、決定を押します。
(3)［設定する］メニューで［自動更新設定］を選択し、決定を押します。
［自動更新設定］画面が表示されます。
(4)［ダウンロード予約］が選択されていることを確認し、◀ または ▶ で「自動」または「手動」を選択します。



(5) 終了を押します。
設定を終了します。

参 考
・デジタル放送からの情報を放送ダウンロードで本機に取り込むことで、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えられます。

4 - 11　モニター情報を表示する［インフォメーション］

機種名、入力信号、解像度などを表示します。

(1) 設定メニューの［インフォメーション］を選択し、決定を押します。
［インフォメーション］メニューが表示されます。

参 考
・工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

4 - 12　操作ボタンをロックする

設定 / 調整した状態を変更できないように、本体操作ボタンでの設定 / 調整をロックします。

(1) リモコンの電源（または本体の⏻）を押して、モニターの電源を切ります。

(2) 本体のSELECTを約 5 秒押します。
モニターの電源が入ります。
上記操作を実行するごとにロック / ロック解除が切り換わります。

参 考
・ロックした状態でも次の操作は可能です。
- 電源ボタンによる電源オン / オフ
- 操作ボタンのロック / ロック解除
- EIZO ロゴの表示 / 非表示（P77 参照）

4 - 13　EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り換える

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り換えができます。

(1) リモコンの電源（または本体の⏻）を押して、モニターの電源を切ります。

(2) 本体の⏻を約 3 秒押します。
モニターの電源が入ります。
上記操作を実行するごとに表示 / 非表示が切り換わります。

4 - 14　表示されているメニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す［リセット］

そのときに表示されている設定メニューの設定内容を、初期状態（工場出荷状態）に戻すことができます。

(1) 各メニューの［リセット］を選択し、(決定)を押します。

(2) ◀ または ▶ で「はい」を選択し、(決定)を押します。

同じメニュー内の設定 / 調整項目が初期状態になります。

注意点

- ［デジタルメニュー］の設定をリセットする場合は、「4-15　すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す［設定リセット］」（P78）を参照してください。
- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

4 - 15　すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す［設定リセット］

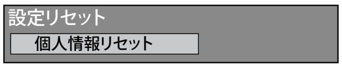
カラー調整や音声、本体設定、デジタル放送の設定など、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、(決定)を押します。

(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、(決定)を押します。

(3)［設定する］メニューで［設定リセット］を選択し、(決定)を 3 秒以上押します。

(4)［個人情報リセット］が選択されていることを確認し、(決定)を 3 秒以上押します。



(5) 実行確認画面で「はい」を選択し、(決定)を押します。

メッセージが表示されますので、メッセージに従って操作してください。

注意点

- 本機を廃棄などで手放される以外には、実行しないでください。
- 本機に記録されたお客様の操作に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が、すべて削除されます。
- この設定リセットでは、双方向データ放送を使用したときに、放送局やインターネットのホームページに登録した情報は、削除されません。それぞれのサービスで情報の削除などをおこなってください。
- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

第 5 章　こんなときは

5 - 1　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

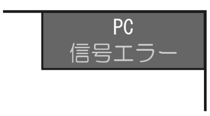
- 画面が表示されない場合 →【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】項目 1
【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】項目 1
【テレビ放送の場合】項目 1
- 画面に関する症状 →【共通】項目 1 〜 6
【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】項目 2 〜 6
【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】項目 2 〜 7
- その他の症状 →【共通】項目 7 〜 13
【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】項目 7
【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】項目 8
- USB に関する症状 →【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】項目 8
- HDMI CEC 機能に関する症状 →【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】項目 9
- テレビ放送に関する症状 →【テレビ放送の場合】項目 2 〜 11

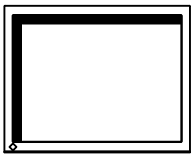
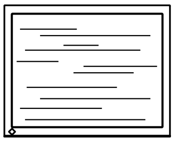
【共通】

症　　状	原因と対処方法
1.　画面が明るすぎる / 暗すぎる	• ［カラー調整］メニューの［ブライトネス］、［コントラスト］を調整してみてください（P62 参照）。（LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。） • ［カラー調整］-［詳細設定］メニューの［Auto EcoView］を「標準」または「強」にしてみてください（P63 参照）。周囲の明るさと表示映像の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します。
2.　残像があらわれる	• 長時間同じ画像を表示する場合は、スクリーンセーバーを設定したり、PowerManager 設定やオフタイマーを活用してください。 • この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
3.　画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
4.　画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
5.　画面にノイズがあらわれる	• ［コントラスト拡張］、［輪郭補正］機能を利用している場合、表示パターンによっては画面の階調異常やノイズなど、正常な画面が表示されないことがあります。
6.　文字に色がつく	• ［輪郭補正］が強くかかっていると文字に色がつく場合があります。
7.　音が出ない / 音量が調節できない	• 音声ケーブルは正しく接続されていますか。 • ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されていませんか。 • 音量を確認してみてください。
8.　接続機器によって音量に差がある	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［音声レベル］で接続機器間の音量差を軽減してみてください。（P67 参照）
9.　突然電源が切れた	• オフタイマー機能を使っていませんか。オフタイマーの設定を確認してみてください。（P69 参照） • ［PowerManager］メニューの電源オフ機能を設定していませんか？各設定を確認してみてください。（P67 参照）

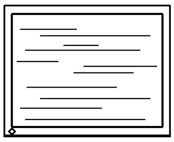
症　　　状	原因と対処方法
10. 選択できないメニュー項目がある	・設定できるメニューの項目は入力（放送）ごとに異なります。設定メニュー項目一覧を確認してみてください。（「設定メニュー項目一覧」P94 参照）
11. 本体の操作ボタンが効かない	・操作ボタンがロックされていないか確認してみてください。（P77 参照）
12. リモコンが効かない	・リモコン受光部に向けていますか。 ・リモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ・乾電池が消耗していませんか。 ・乾電池を入れる方向を間違っていませんか。
13. ScreenManager Pro for LCD が動作しない	・USB ケーブルは正しく接続されていますか。 ・オートファインコントラスト、カラー調整、画面調整は、PC 入力（PC1/PC2）に接続したコンピュータでのみ動作します。HDMI 入力に接続したコンピュータでは動作しません。 HDMI 入力に接続したコンピュータで動作する機能は次のとおりです。 - 一部のホットキー - 電源スケジュール - サウンド ・［本体設定］メニューの［USB 切換］の設定を確認してください。（P37 参照） - PC 入力に接続しているコンピュータで動作しない場合「自動」またはコンピュータと USB 接続しているポート（「PC1」または「PC2」）に設定されていますか。 - HDMI 入力に接続しているコンピュータで動作しない場合コンピュータと USB 接続しているポート（「PC1」または「PC2」）に設定されていますか。

【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】

症　　　状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく差し込まれていますか。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 ・主電源スイッチをオンにしてください。 ・リモコンの（電源）を押すか、または本体操作ボタンの（⏻）を押してみてください。
・電源ランプが点灯：橙色	・リモコンのいずれかのボタン（（電源）を除く）を押してみてください。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・コンピュータの電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：青色	・コンピュータは正しく接続されていますか。 ・［ブライトネス］、［コントラスト］、［ゲイン］の各調整値を上げてみてください。（P62、65 参照）
・以下のようなメッセージが表示される 例：  	・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（現在の入力信号は、［インフォメーション］メニューで確認できます。範囲外の周波数はマゼンダ色で表示されます。） ・コンピュータの設定が本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。（P92、93 参照） ・コンピュータを再起動してみてください。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくは、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

症　　状	原因と対処方法
2.　自動画面調整が動作しない	• 自動画面調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
3.　画像がずれている 	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［ポジション］で調整してみてください。（P58 参照） • ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4.　画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［クロック］で調整してみてください。（P57 参照） 解像度を 1920 × 1200 に設定しているときは、入力している信号によって［クロック］を調整しても症状が改善しないことがあります。その際には解像度を 1600 × 1200、1920 × 1080 などに変更してみてください。
5.　画面全体がちらつく、にじむように見える 	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［フェーズ］で調整してみてください。（P58 参照）
6.　画面にノイズがあらわれる	• アナログ信号の場合、［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［信号フィルタ］で設定を切り換えてみてください。入力している信号によっては、症状が改善されない場合があります。その場合には、デジタル信号入力でのご使用をおすすめします。 • HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7.　モニターが省電力モードに移行しない（HDMI（PC 信号）入力時）	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［入力フォーマット］で、設定が「PC」になっているか確認してください。（P69 参照）
8.　接続した USB 機器が動作しない（PC 入力時）	• USB ケーブルは正しく接続されていますか。 • ［本体設定］メニューの［USB 切換］の設定を確認してください。（P37 参照） - PC 入力に接続しているコンピュータで動作しない場合「自動」またはコンピュータと USB 接続しているポート（「PC1」または「PC2」）に設定されていますか。 - HDMI 入力に接続しているコンピュータで動作しない場合コンピュータと USB 接続しているポート（「PC1」または「PC2」）に設定されていますか。 • 別の USB ポート（ダウンストリーム）に差し換えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。） • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、各機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。） • Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。）

【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】

症　　状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない • 電源ランプが点灯しない	• 電源コードは正しく差し込まれていますか。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 主電源スイッチをオンにしてください。 • リモコンの（電源）を押すか、または本体操作ボタンの⏻を押してみてください。
• 電源ランプが点灯：青色	• 機器は正しく接続されていますか。 • 接続した機器の電源は入っていますか。 • ［ブライトネス］、［コントラスト］の各調整値を上げてみてください。（P62 参照） • ［インフォメーション］メニューの「入力信号」を確認してみてください。「信号エラー」と表示されている場合は、機器から入力されている信号が本機の仕様に対応していません。接続している機器の取扱説明書を参照し、信号の仕様を確認してください。
2. ビデオ機器を接続した場合に、早送り / 早戻しをすると映像が乱れる	• 本機の機構上、多少乱れが出ることがあります。故障ではありません。
3. 画面に色にじみや色縞、点状のノイズが見える（VIDEO1（映像信号）入力時）	• 映像信号の入力フォーマットが NTSC および PAL の場合は、［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［3D YC 分離］で、設定が「有効」になっているか確認してください。 接続機器によっては、設定を「無効」にすると症状が解消することがあります。 （［3D YC 分離］設定は、NTSC および PAL フォーマット時にのみ有効です。）
4. 画面の表示がおかしい（VIDEO1 入力時）	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［カラーシステム］で入力信号のフォーマットを変更してみてください。（通常は「自動」を選択してください。）
5. 画面全体がちらつく、にじむように見える（VIDEO2 入力時） 	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［フェーズ］で調整してみてください。（P59 参照）
6. 画面の色がおかしい（HDMI（ビデオ信号）入力時）	• ［本体設定］-［入力別詳細設定］メニューの［カラースペース］で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください。（通常は「自動」を選択してください。）
7. 画面が点滅する（HDMI（ビデオ信号）入力時）	• HDMI ケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルが High Speed に対応しているか確認してください。
8. 音が出ない / 音量が調節できない（HDMI（ビデオ信号）入力時） • 以下のようなメッセージが表示される 	• 接続した機器の対応フォーマットを確認してみてください。本機の音声入力のフォーマットについては P93 を参照ください。

症　　状	原因と対処方法
9. 接続した機器が正しく認識されない（HDMI CEC 機能使用時） ・［機器一覧］に機器が表示されない ・接続機器の入力が違っている ・「Error」と表示される	・接続した機器は HDMI CEC に対応していますか。 ・HDMI セレクタなどを介して、複数の機器を接続していませんか。本機は、HDMI セレクタを介しての接続には対応していません。 ・接続状態を変更していませんか。接続機器を追加したり、接続している入力を変更した場合は、機器の接続状態を変更する必要があります。接続機器の電源を入れた状態で、リンクメニューを表示し［機器一覧］画面で［機器を探す］を選択してください。（P40 参照） （「しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されている間は本機および接続機器の電源を切らないでください。）

【テレビ放送の場合】

症　　状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない	・電源コードは正しく差し込まれていますか。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 ・主電源スイッチをオンにしてください。 ・リモコンの（電源）を押すか、または本体操作ボタンの⏻を押してみてください。
2. デジタル放送が映らない / 映りが悪い	・電波の種類（地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送）に適合したアンテナを使用していますか。 ・BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。 ・アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 ・BS デジタル、110 度 CS デジタル放送のアンテナを直接接続している場合、［デジタルメニュー］の［設定する］-［設置設定］-［受信設定］-［衛星］-［アンテナ電源］が「オン」になっていることを確認してください。（P72 参照） ・アンテナ線は外れていませんか。 ・［デジタルメニュー］の［設定する］-［設置設定］-［受信設定］でアンテナレベルを確認し、レベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。（P72 参照） ・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。（P26 参照） ・デジタル放送の認証に失敗している可能性があります。B-CAS カードの抜き差し、または電源コードをいったんコンセントから抜き、再度接続してみてください。 ・降雨対応放送になっていませんか。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、本機は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送は、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。
3. 地上デジタル放送が受信できない / 地上デジタル放送の番組表などが表示されない / 本体の（放送切換）を押しても地上デジタル放送に変わらない	・地上デジタル放送がおこなわれているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。 ・チャンネル設定の［初期スキャン］をおこないましたか。（P70 参照） ・共同アンテナをご使用の場合、共同アンテナは地上デジタル放送に対応（パススルー方式）になっていますか。ケーブルテレビの場合はご契約のケーブルテレビ会社に、その他の場合は共同アンテナの管理者にお問い合わせください。
4. 映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	・多少の時間がかかることがあります。特に、電源コードを抜き差ししたときは、しばらく時間がかかります。

症　　　状	原因と対処方法
5.　特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルなどを使用していませんか。 • 携帯電話など、本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。デジタル放送に対応したケーブルなどを使用してください。
6.　ペイ・パー・ビュー番組が視聴できない	• B-CAS カードは正しく挿入されていますか。（P26 参照） • ペイ・パー・ビュー番組を視聴するための手続きはされていますか。 • 電話回線の接続や設定は正しいですか。
7.　引越しをしたら、データ放送や字幕が表示されなくなった	• ［デジタルメニュー］の［設定する］-［設置設定］-［地域設定］が正しく設定されているか確認してください。（P72 参照）
8.　引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 県外に引越した場合は、チャンネル設定の［初期スキャン］、県内で引越した場合は［再スキャン］をおこなってください。（P70 参照）
9.　数字ボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わった / 以前選局できた放送がなくなっている	• 放送変更があった場合、放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。［デジタルメニュー］の［情報を見る］-［放送メール］を確認してみてください。（P51 参照）
10.　複数台のテレビで、数字ボタンのチャンネルまたは枝番が異なっている	• チャンネル設定の［初期スキャン］などをおこなった時間が異なる場合は、同じにならない場合があります。本機を複数台お使いの場合は、［初期スキャン］を同時におこなってください。 • 異なるメーカーのテレビでは、同じにならない場合があります。
11.　受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	• ［デジタルメニュー］の［設定する］-［設置設定］-［チャンネル設定］-［地上デジタル］で［初期スキャン］をおこなってください。（P70 参照）

5-2　メッセージ一覧

画面に表示される主なメッセージを説明します。

【全般】

メッセージ	内　容
「まもなく電源が切れます。」	・［無信号電源オフ］/［無操作電源オフ］/ オフタイマー設定時、電源が切れる 1 分前に表示されます。
「この操作はできません。」	・PC/VIDEO/HDMI 入力で、[番組表]、[番組内容]、[dデータ]、[サブメニュー]、[音声切換]、[字幕]を押した場合に表示されます。 ・本機に信号が入力されていないときや仕様範囲外の信号が入力されているときに、リモコンの[画面サイズ]、[サイズ]、[スルー]を押した場合に表示されます。 ・テレビ放送視聴時および 2 画面表示中に、リモコンの[スルー]を押した場合に表示されます。 ・テレビ放送視聴時および 2 画面表示中に、リモコンの[サイズ]を押した場合に表示されます。 ・2 画面表示中、子画面が HDMI 入力からの PC 信号を表示しているときに、リモコンの[画面サイズ]を押した場合に表示されます。 ・PC/HDMI 入力で、1080p@24Hz/25Hz/30Hz の信号が入力されているときに、リモコンの[スルー]を押した場合に表示されます。
「ScreenManager® の「HDMI CEC 機能」を［有効］にしてください。」	・［本体設定］-［HDMI CEC設定］メニューの［HDMI CEC 機能］が「無効」になっているときに、リモコンの[HDMI CEC/リンクメニュー]を押した場合に表示されます。

【テレビ放送】

メッセージ	内　容
「受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)」	・アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選んでいるため受信できません。
「現在、受信できません。(0020)」	・受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
「B-CAS カードを正しく挿入してください。」	・B-CAS カードの挿入方向違い、または使用できないカードが挿入されています。
「視聴できません。視聴するには、決定ボタンを押してください。」	・ペイ・パー・ビュー番組の購入をしなかった場合などに表示されます。で再度選局操作ができます。
「購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。」	・購入記録が送信できず、B-CAS カードの記録容量を超えている場合などに表示されます。
「降雨対応放送に切り替わりました。」	・雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できないことがあります。
「緊急放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。」	・緊急警報放送が始まっています。必ず確認してください。

【ネットワーク接続時】

［ネットワーク設定］（P75 参照）の［接続テスト］などで表示されます。

メッセージ	内　　容
「接続できませんでした。 LAN ケーブルの接続をご確認ください。 （C200）」	• ハブをお使いの場合は、ハブの Linkランプが点灯しているか確認してください。消灯している場合は、ケーブルが正しく接続されているかどうか、またはケーブル間違いなど※1を確認してください。
「IP アドレスが設定されていません。本機の「ネットワーク設定」をご確認ください。（C201）」	• ネットワーク設定で IP アドレスが「---. ---. ---. ---」になっていませんか。IP アドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）
「IP アドレスが取得できませんでした。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。（C203）」	• ハブをお使いの場合は、ハブ～ルーター間の接続を確認してください。ルーターにつなぐ側のハブのポートは UPLINK につないでください。 • ハブの Link ランプが消灯している場合はケーブルが正しく接続されているかどうか、またはケーブル間違いなど※1を確認してください。 • 上記で問題がなければルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。ルーターの設定や動作を確認してください。いったん、ルーターのリセットをおこなってください。
「IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。（C204）」	• 本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われている場合に表示されます。他の PC や、本機、ルーターの IP アドレスを確認してください。
「接続テストが実行できませんでした。 （C205）」	• 一度、本機の電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
「アドレスが正しく設定されませんでした。（C206）」	
「接続テストに失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。（C207）」	• ハブ～ルーター間の接続を確認してください。本機とルーター間にハブを使用する場合、ルーターにつなぐ側のハブのポートは UPLINKにつないでください。 • ハブの UPLINK ポートの Link ランプが点灯しているか確認し、消灯している場合はケーブルが正しく接続されていない、またはケーブル間違いなど※1を確認してください。 • ネットワーク設定での IP アドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを確認してください。 • 無線 LAN をご使用の場合、通信設定を確認してください。

※1 ケーブル間違いなどの具体例：LAN コネクタの接触不良、LAN ケーブル以外のケーブルの使用、クロスケーブルとストレートケーブルの間違い。

【通信時】

データ放送からお好みページを使った場合などに表示されます。

メッセージ	内　　容
「サーバーが見つかりません。（B019）」	• アドレス（URL）が間違っていませんか。 • ブラウザ設定やブロードバンドルーターなどの設定は正しいですか。
「サーバーへの接続に失敗しました。 （B020）」	• サーバーが混みあっているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから再度実行してください。まったくホームページに接続できない場合は、ブラウザ設定やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
「サーバーとの通信に失敗しました。 （B021）」	• 通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
「接続サイト先の証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？ サイト名：○○○○○」	• 接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをおすすめします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。

第 6 章　ご参考に

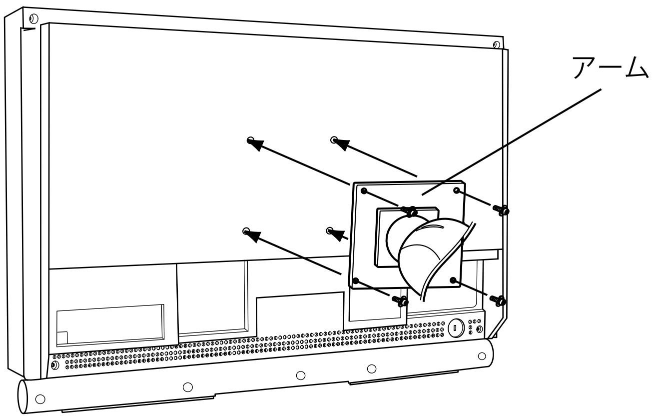
6‑1　アーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。

1 **液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

2 **スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）**
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ 4 箇所を取り外します。

3 **モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。**
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



注意点

- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものをお選びください。取付には本機に付属している M4 × 12mm ネジをご使用ください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°　下 45°
- モニターを縦方向に回転させないでください。
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

6 - 2　文字入力のしかた

文字の入力はデータ放送の操作時やブラウザ設定のアドレス入力時などで必要となることがあります。文字入力のしかたは次のとおりです。

● 文字の入力設定をする［文字入力設定］

文字の入力方法と漢字への変換方式を設定することができます。

入力方法	内　容
リモコンボタン	リモコンボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力します。
画面キーボード	画面上にキーボードを表示し、▲ / ▼ / ◀ / ▶ / 決定 を使って入力します。

変換方法	内　容
通常方式	変換する文字を入力後に、一括変換します。
予測方式	1 文字の入力で変換候補を表示します。

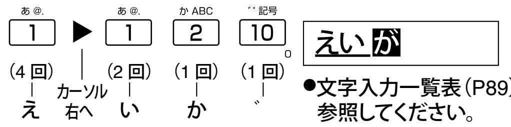
(1) 設定メニューの［デジタルメニュー］を選択し、決定 を押します。
(2)［デジタルメニュー］で［設定する］を選択し、決定 を押します。
(3)［設定する］メニューで［システム設定］を選択し、決定 を押します。
(4)［システム設定］メニューで［文字入力設定］を選択し、決定 を押します。
　［文字入力設定］画面が表示されます。
(5) ▲ または ▼ で［入力方法］を選択し、◀ または ▶ で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選択します。
(6) ▲ または ▼ で［変換方式］を選択し、◀ または ▶ で「通常方式」または「予測方式」を選択します。
(7) 終了 を押します。
　設定を終了します。

注意点
- ［デジタルメニュー］は、テレビ放送選択時にのみ有効になります。

● 携帯（リモコン）方式で文字を入力する

文字入力欄にカーソルを移動させると、文字が入力できます。

(1) 緑 を押します。
(2) ▲ または ▼ で入力モードを選択し、決定 を押します。
　漢字に変換するときは「かな」を選択します。
(3) 文字を入力します。
　例：「えいが」と入力するとき



●文字入力一覧表（P89）を参照してください。

- 漢字に変換しないときは、決定 を押します。
- 漢字に変換するときは、変換したい漢字が出るまで ▼ を押し、決定 を押します。

注意点
- 入力欄の状況により、選択できる入力モードが制限される場合があります。（例：英数と数字のみ）

参 考
- 文字を削除するときは、◀ または ▶ で消したい位置にカーソルを移動し、黄 を押してください。

参 考
- 続けて文字を入力する場合は、手順 (1) から繰り返します。

■ リモコンボタンでの文字入力一覧表

ボタン＼入力モード	かな	カナ	英数	数字
あ @. 1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : _ 1	1
か ABC 2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
さ DEF 3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
た GHI 4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
な JKL ° 5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
は MNO 6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
ま PQRS 7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
や TUV 8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
ら WXYZ 9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
゛゜記号 10 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	ー , ; ' " ? ! ( ) & ¥ 0	0
わをん␣ 11 *	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
改行 12 #	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「え」を入力するときはを 4 回押す）
  未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 「英数」と「数字」は、半角で入力されます。（全角に変換するときは ▼ を押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて ゛゜記号 10 を押します。

● 画面キーボード方式で文字を入力する

文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボードが表示され、文字が入力できます。

(1) 緑 で入力モードを選択します。
押すたびに、「かな」→「カナ」→「英数」と切り換わります。

(2) ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で、画面上に表示されたキーボードから入力する文字を選択し、決定 を押します。
この操作を繰り返して、文字を入力していきます。
- 漢字に変換しないときは、赤 を押します。
- 漢字に変更するときは、青 を押し（画面からキーボードが消える）、▼ で表示された変換候補の漢字を選択し、決定 を押します。

(3) 入力を終了するときは、赤 を押します。
画面キーボードの表示が消えます。

注意点
- 文字を入力しない場合は、赤 を押して画面キーボードを消してください。

参 考
- 続けて文字を入力する場合は、手順 (1) から繰り返します。

■ 画面キーボードの見かた



改行	改行するとき
空白	スペースを入力するとき
キーボード移動	画面キーボードを移動
入力位置移動	入力位置の カーソルを移動

青 変換：文字を変換する
赤 終了：文字入力を終了する
　確定：入力変換中の文字を確定させる
緑 文字切換：入力モードを切り換える
黄 文字クリア：文字を消す

6 - 3　アイコン一覧

テレビ放送視聴時、各画面上に表示されるアイコンの内容は次のとおりです。

番組内容画面

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送の番組	ラジオ	ラジオ放送の番組
データ	データ放送の番組	d テレビ	番組とは別のデータ放送をおこなっている番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送をおこなっている番組	d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送をおこなっている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送をおこなっている番組	16:9 1125i	番組の映像信号情報 上：画面の縦横比（16：9、4：3） 下：信号方式 （525i［480i］、525p［480p］、1125i［1080i］、750p［720p］）
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかの信号が切り換えられる番組	主+副	二重音声信号で、「主＋副」音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組	サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
ステレオ	ステレオ音声の番組	有料	有料のデータを含む番組 （ペイ・パー・ビュー番組など）
デジタル XCOPY	DVD レコーダーなどのデジタル録画機器でコピー禁止の番組（録画できません）	マルチ ビュー	マルチビュー放送の番組
アナログ XCOPY	アナログコピーガードがかかっている番組（アナログで録画できません）	字幕	番組の中に字幕の情報が含まれている番組
コピー 制限	DVD などのデジタル録画機器でコピー回数が制限されている番組	20 才〜	視聴年齢制限がある番組 （表示される年齢は 4 〜 20 才まで）
アナログ X出力	アナログ出力していない番組		

注意点

- 本機に録画機能は搭載されていません。

番組ジャンル

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	映画		ニュース・報道
	ドラマ		アニメ・漫画
	スポーツ		ドキュメンタリー・教養
	音楽		演劇・公演
	バラエティ		趣味・教育
	情報・ワイドショー		福祉

6 - 4　地上デジタル放送の放送一覧

地上デジタル放送のチャンネル設定をおこなうと、放送の運用規格に基いて、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをリモコンの数字ボタン（1～12）に自動設定します。この表では、その際に地域内のどの放送局がそのボタンに設定されるかを記載しています。

お住まいの地域	リモコンボタン	旭川	リモコンボタン	釧路	リモコンボタン	北見	リモコンボタン	帯広	リモコンボタン	札幌	リモコンボタン	函館	リモコンボタン	室蘭
放送局名	1	HBC 旭川	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 帯広	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 室蘭
	2	NHK 教育・旭川	2	NHK 教育・釧路	2	NHK 教育・北見	2	NHK 教育・帯広	2	NHK 教育・札幌	2	NHK 教育・函館	2	NHK 教育・室蘭
	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・室蘭
	5	STV 旭川	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 帯広	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 室蘭
	6	HTB 旭川	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 帯広	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 室蘭
	7	TVH 旭川	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 帯広	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 室蘭
	8	UHB 旭川	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 帯広	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 室蘭

お住まいの地域	リモコンボタン	青森	リモコンボタン	岩手	リモコンボタン	宮城	リモコンボタン	秋田	リモコンボタン	山形	リモコンボタン	福島	リモコンボタン	茨城	リモコンボタン	栃木
放送局名	1	RAB 青森放送	1	NHK 総合・盛岡※1	1	TBC テレビ	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・福島※1	1	NHK 総合・水戸※1	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・青森	2	NHK 教育・盛岡※1	2	NHK 教育・仙台	2	NHK 教育・秋田	2	NHK 教育・山形	2	NHK 教育・福島※1	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京
	3	NHK 総合・青森	4	テレビ岩手	3	NHK 総合・仙台	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	4	福島中央テレビ	4	日本テレビ	3	とちぎテレビ
	5	青森朝日放送	5	岩手朝日テレビ	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	5	YTS 山形テレビ	5	KFB 福島放送	5	テレビ朝日	4	日本テレビ
	6	ATV 青森テレビ	6	IBC テレビ	5	KHB 東日本放送	8	AKT 秋田テレビ	6	テレビュー山形	6	テレビュー福島	6	TBS	5	テレビ朝日
			8	めんこいてれび	8	仙台放送			8	さくらんぼテレビ	8	福島テレビ	7	テレビ東京	6	TBS
													8	フジテレビジョン	7	テレビ東京
													12	放送大学	8	フジテレビジョン
															12	放送大学

お住まいの地域	リモコンボタン	群馬	リモコンボタン	埼玉	リモコンボタン	千葉	リモコンボタン	東京	リモコンボタン	神奈川	リモコンボタン	新潟	リモコンボタン	山梨	リモコンボタン	長野
放送局名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府※1	1	NHK 総合・長野
	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・新潟	2	NHK 教育・甲府※1	2	NHK 教育・長野
	3	群馬テレビ	3	テレビ埼玉	3	ちばテレビ	4	日本テレビ	3	tvk	4	TeNY テレビ新潟	4	YBS 山梨放送	4	テレビ信州
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	5	テレビ朝日	4	日本テレビ	5	新潟テレビ 21	6	UTY	5	ABN 長野朝日放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	6	TBS	5	テレビ朝日	6	BSN			6	SBC 信越放送
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	7	テレビ東京	6	TBS	8	NST			8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	8	フジテレビジョン	7	テレビ東京						
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	9	東京 MX テレビ	8	フジテレビジョン						
	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学						

お住まいの地域	リモコンボタン	富山	リモコンボタン	石川	リモコンボタン	福井	リモコンボタン	静岡	リモコンボタン	愛知	リモコンボタン	三重	リモコンボタン	岐阜	リモコンボタン	岐阜
放送局名	1	KNB 北日本放送	1	NHK 総合・金沢※1	1	NHK 総合・福井※1	1	NHK 総合・静岡	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	NHK 総合・大津※1
	2	NHK 教育・富山※1	2	NHK 教育・金沢※1	2	NHK 教育・福井※1	2	NHK 教育・静岡	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・大阪
	3	NHK 総合・富山※1	4	テレビ金沢	7	FBC テレビ	4	静岡第一テレビ	3	NHK 総合・名古屋	3	NHK 総合・津※1	3	NHK 総合・岐阜※1	3	BBC びわ湖放送
	6	チューリップテレビ	5	北陸朝日放送	8	福井テレビ	5	静岡朝日テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	MBS 毎日放送
	8	BBT 富山テレビ	6	MRO			6	SBS	5	CBC	5	CBC	5	CBC	6	ABC テレビ
			8	石川テレビ			8	テレビ静岡	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	8	関西テレビ
									10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ	10	よみうりテレビ

お住まいの地域	リモコンボタン	京都	リモコンボタン	大阪	リモコンボタン	兵庫	リモコンボタン	奈良	リモコンボタン	和歌山	リモコンボタン	鳥取	リモコンボタン	島根	リモコンボタン	岡山
放送局名	1	NHK 総合・京都※1	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・神戸※1	1	NHK 総合・奈良※1	1	NHK 総合・和歌山※1	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	1	NHK 総合・岡山※1
	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・鳥取※1	2	NHK 教育・松江※1	2	NHK 教育・岡山※1
	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	3	サンテレビ	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	3	NHK 総合・鳥取※1	3	NHK 総合・松江※1	4	RNS 西日本テレビ
	5	KBS 京都	6	ABC テレビ	4	MBS 毎日放送	6	ABC テレビ	5	テレビ和歌山	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送
	6	ABC テレビ	7	テレビ大阪	6	ABC テレビ	8	関西テレビ	6	ABC テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	6	RSK テレビ
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	9	奈良テレビ	8	関西テレビ					7	テレビせとうち
	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ					8	OHK テレビ

お住まいの地域	リモコンボタン	広島	リモコンボタン	山口	リモコンボタン	徳島	リモコンボタン	香川	リモコンボタン	愛媛	リモコンボタン	高知	リモコンボタン	福岡	リモコンボタン	佐賀
放送局名	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・山口※1	1	四国放送	1	NHK 総合・高松※1	1	NHK 総合・松山	1	NHK 総合・高知	1	KBC 九州朝日放送	1	NHK 総合・佐賀※1
	2	NHK 教育・広島	2	NHK 教育・山口※1	2	NHK 教育・徳島※1	2	NHK 教育・高松※1	2	NHK 教育・松山	2	NHK 教育・高知	2	NHK 教育・福岡※2 NHK 教育・北九州※2	2	NHK 教育・佐賀※1
	3	RCC テレビ	4	KRY 山口放送	3	NHK 総合・徳島※1	4	RNC 西日本テレビ	4	南海放送	4	高知放送	3	NHK 総合・福岡※2 NHK 総合・北九州※2	3	STS サガテレビ
	4	広島テレビ	3	TYS テレビ山口			5	KSB 瀬戸内海放送	5	愛媛朝日	6	テレビ高知	4	RKB 毎日放送		
	5	広島ホームテレビ	5	YAB 山口朝日			6	RSK テレビ	6	あいテレビ	8	さんさんテレビ	5	FBS 福岡放送		
	8	TSS					7	テレビせとうち	8	テレビ愛媛			7	TVQ 九州放送		
							8	OHK テレビ					8	TNC テレビ西日本		

お住まいの地域	リモコンボタン	長崎	リモコンボタン	熊本	リモコンボタン	大分	リモコンボタン	宮崎	リモコンボタン	鹿児島	リモコンボタン	沖縄
放送局名	1	NHK 総合・長崎※1	1	NHK 総合・熊本※1	1	NHK 総合・大分※1	1	NHK 総合・宮崎※1	1	MBC 南日本放送	1	NHK 総合・那覇
	2	NHK 教育・長崎※1	2	NHK 教育・熊本※1	2	NHK 教育・大分※1	2	NHK 教育・宮崎※1	2	NHK 教育・鹿児島※1	2	NHK 教育・那覇
	3	NBC 長崎放送	3	RKK 熊本放送	3	OBS 大分放送	3	UMK テレビ宮崎	3	NHK 総合・鹿児島※1	3	RBC テレビ
	4	NIB 長崎国際テレビ	4	KKT くまもと県民	4	TOS テレビ大分	6	MRT 宮崎放送	4	KYT 鹿児島読売 TV	5	QAB 琉球朝日放送
	5	NCC 長崎文化放送	5	KAB 熊本朝日放送	5	OAB 大分朝日放送			5	KKB 鹿児島放送	8	沖縄テレビ（OTV）
	8	KTN テレビ長崎	8	TKU テレビ熊本					8	KTS 鹿児島テレビ		

※1 初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた地域外の NHK 放送を数字ボタンに設定します。
（設定される放送は、地域によって決められています。）
その後「※1」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。これは、放送の運用規定によるものです。

※2 初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高い方の放送をダイレクト選局ボタンに設定します。
これは、放送の運用規定によるものです。

6-5　仕様

パネル	液晶パネル		61cm（24.1）型カラー TFT、アンチグレア 視野角：上下 178°、左右 178°　CR ≧ 10	
	ドットピッチ		0.270mm	
	解像度		1920 ドット× 1200 ライン	
	最大表示色		約 1677 万色：8bit 対応（10 億 6433 万色中 /10bit-LUT）	
	表示サイズ		518.4mm（水平）× 324.0mm（垂直）	
電源			AC100V ± 10%、50/60Hz、1.8A	
消費電力	画面表示時		130W 以下（USB 機器接続時、スピーカー動作時） 125W 以下（USB 機器未接続時、スピーカー非動作時）	
	省電力モード時		0.7W 以下（入力未信号時、USB 機器未接続時）	
	電源ボタンオフ時		機能待機設定が「する」のとき：10W 以下（USB 機器未接続時） 機能待機設定が「しない」のとき：0.6W 以下（USB 機器未接続時）	
	主電源スイッチオフ時		0W	
	年間消費電力量※1		区分名※2：BII、受信機型サイズ：24V 型 103kWh/ 年（カラーモード：スタンダード時）	
PC 入力	（PC1）	映像	入力端子	DVI-D（HDCP 対応）× 1
			水平走査周波数	31.5 ～ 76kHz：各プリセット信号± 1kHz
			垂直走査周波数	59 ～ 61Hz：各プリセット信号± 1Hz - VGA TEXT 時は 69 ～ 71Hz - 720p/1080p@50Hz※3 時は 49 ～ 51Hz - 1080p@24Hz※3 時は 23.5 ～ 24.5Hz - 1080p@25Hz※3 時は 24.5 ～ 25.5Hz - 1080p@30Hz※3 時は 29 ～ 31Hz - 1080p@48Hz※3 時は 47 ～ 49Hz
			ドットクロック（最大）	162MHz
			信号伝送方式	TMDS（Single Link）
		音声	入力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1
	（PC2）	映像	入力端子	D-Sub15 ピン（ミニ）× 1
			水平走査周波数	31.5 ～ 80kHz：各プリセット信号± 1kHz
			垂直走査周波数	55 ～ 76Hz：各プリセット信号± 1Hz - 720p/1080p@50Hz※3 時は 49 ～ 51Hz
			ドットクロック（最大）	162MHz
			入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性
			入力映像信号	アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω）
			信号メモリー	50 種（プリセット 37 種）
			プラグ＆プレイ機能	VESA DDC 2B
		音声	入力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1
VIDEO 入力	（VIDEO1）	映像	入力端子	・S 映像　DIN ミニ 4 ピン× 1 ・映像　ピンジャック× 1
			対応フォーマット	NTSC、PAL、PAL-60
			信号入力レベル	・S 映像　Y：1.0Vp-p/75 Ω、C：NTSC 0.28Vp-p/75 Ω、 PAL 0.30Vp-p/75 Ω ・映像　Y：1.0Vp-p/75 Ω
		音声	入力端子	ピンジャック× 1（S 映像 / 映像共有）

※1 省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※2 区分名：省エネルギー法によるテレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分の名称です。

※3 マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

VIDEO 入力	（VIDEO2）	映像	入力端子	ピンジャック× 1
			対応フォーマット	- 525i（480i）/525p（480p）：60Hz - 625i（576i）/625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i）/750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/50Hz/60Hz
			信号入力レベル	Y：1.0Vp-p/75 Ω、Cb,Cr：0.7Vp-p/75 Ω
		音声	入力端子	ピンジャック× 1
HDMI 入力※4	（HDMI1/HDMI2）	映像 / 音声	入力端子	HDMI TypeA × 2
			対応フォーマット	・PC 信号 - 水平走査周波数 / 垂直走査周波数：PC1 同様 - ドットクロック（最大）：PC1 同様 ・ビデオ信号 - 525i（480i）/525p（480p）：60Hz - 625i（576i）/625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i）/750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/25Hz/30Hz/50Hz/60Hz ・音声信号 - 2ch リニア PCM（32kHz/44.1kHz/48kHz）
		音声※5	入力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1
アンテナ入力	地上デジタル		入力端子	UHF 75 Ω F 型コネクタ× 1
			受信チャンネル	地上 D000 〜地上 D999（CATV パススルー対応）
	BS・110 度 CS デジタル		入力端子	75 Ω F 型コネクタ× 1
			受信チャンネル	BS000 〜 BS999、CS000 〜 CS999
音声出力	スピーカー出力		2W ＋ 2W	
	ラインアウト端子		Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1	
	ヘッドホン出力端子		Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1	
その他	電話回線端子		モジュラージャック式 RJ-11 × 1	
	LAN 端子		RJ-45 × 1　10BASE-T/100BASE-TX	
寸法	本体		566mm（幅）× 444 〜 480mm（高さ）× 230mm（奥行き）	
	本体（スタンドなし）		566mm（幅）× 416mm（高さ）× 92.3mm（奥行き）	
質量	本体		約 11.1kg	
	本体（スタンドなし）		約 8.7kg	
可動範囲			チルト角度：上 35°下 5°、スィーベル角度：右 172°左 172°、 昇降：24mm	
環境条件	温度		動作温度範囲：0℃〜 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃〜 60℃	
	湿度		動作湿度範囲：20% 〜 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：10% 〜 80% R.H.（非結露状態）	
	気圧		動作気圧範囲：700hPa. 〜 1060hPa. 輸送および保存気圧範囲：200hPa. 〜 1060hPa.	
USB	規格		USB Specification Revision 2.0 準拠	
	ポート		アップストリーム× 2、ダウンストリーム× 2	
	供給電源		ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート	

※4 本機はカラースペース（色空間）の xvYCC 規格には対応していません。
※5 音声信号を HDMI 端子以外から入力する場合に使用します。

設定メニュー項目一覧

項目				PC1	PC2	HDMI1/2（PC 信号入力時）	VIDEO1	VIDEO2	HDMI1/2（ビデオ信号入力時）	テレビ放送
カラー調整	カラーモード			○	○	○	○	○	○	○
		ブライトネス		○	○	○	○	○	○	○
		黒レベル（R）/（G）/（B）		○	○	○	—	—	—	—
		黒レベル		—	—	—	○	○	○	○
		コントラスト		○	○	○	○	○	○	○
		色の濃さ		○	○	○	○	○	○	○
		色合い		○	○	○	○	○	○	○
		色温度		○	○	○	○	○	○	○
		詳細設定	Auto EcoView	○	○	○	○	○	○	○
			輪郭補正	○	○	○	○	○	○	○
			コントラスト拡張	○	○	○	○	○	○	○
			RGB バランス	—	—	—	○	○	○	○
			ガンマ	○	○	○	○	○	○	○
			ゲイン	○	○	○	—	—	—	—
			ノイズフィルタ	—	—	—	○	○	○	○
			I/P 変換	—	—	—	○	○	○	○
			リセット	○	○	○	○	○	○	○
		リセット		○	○	○	○	○	○	○
サウンド設定	バランス			○	○	○	○	○	○	○
	高音			○	○	○	○	○	○	○
	低音			○	○	○	○	○	○	○
	低音強調※1			○	○	○	○	○	○	○
	ワイドサウンド※1			○	○	○	○	○	○	○
	リセット			○	○	○	○	○	○	○
PowerManager	無信号電源オフ			○	○	○	○	○	○	○
	無操作電源オフ			○	○	○	○	○	○	○
	パワーセーブ（PC）			○	○	○	○	○	○	○
	EcoView Index			○	○	○	○	○	○	○
	リセット			○	○	○	○	○	○	○
本体設定	USB 切換			○	○	○	○	○	○	○
	電源ランプ			○	○	○	○	○	○	○
	子画面半透明			○	○	○	○	○	○	○
	リアルイメージ			○	○	○	○	○	○	—
	HDMI CEC 設定	HDMI CEC 機能		○	○	○	○	○	○	○
		電源オン連動		○	○	○	○	○	○	○
		電源オフ連動		○	○	○	○	○	○	○
		リセット		○	○	○	○	○	○	○
	入力別詳細設定	自動画面調整		—	○	—	—	—	—	—
		自動レンジ調整		—	○	—	—	—	—	—
		クロック		—	○	—	—	—	—	—
		フェーズ		—	○	—	—	○	—	—
		ポジション		—	○	—	—	—	—	—
		信号フィルタ		—	○	—	—	—	—	—
		入力フォーマット		—	—	○	—	—	○	—
		画面サイズ自動切換		—	—	—	○	○	○	—
		画面表示率		—	—	—	○	○	○	—
		3D YC 分離		—	—	—	○	—	—	—
		カラーシステム		—	—	—	○	—	—	—
		カラースペース		—	—	○	—	—	○	—
		音声入力端子		—	—	○	—	—	○	—
		放送表示モード		—	—	—	—	—	—	○
		音声レベル		○	○	○	○	○	○	—
		リセット		○	○	○	○	○	○	○
	リセット			○	○	○	○	○	○	○

項目	PC1	PC2	HDMI1/2（PC 信号入力時）	VIDEO1	VIDEO2	HDMI1/2（ビデオ信号入力時）	テレビ放送
デジタルメニュー※2	—	—	—	—	—	—	○
インフォメーション	○	○	○	○	○	○	○

※1 ヘッドホン接続時は選択できません。

※2 デジタルメニューの設定項目は以下を参照してください。

デジタルメニュー項目一覧

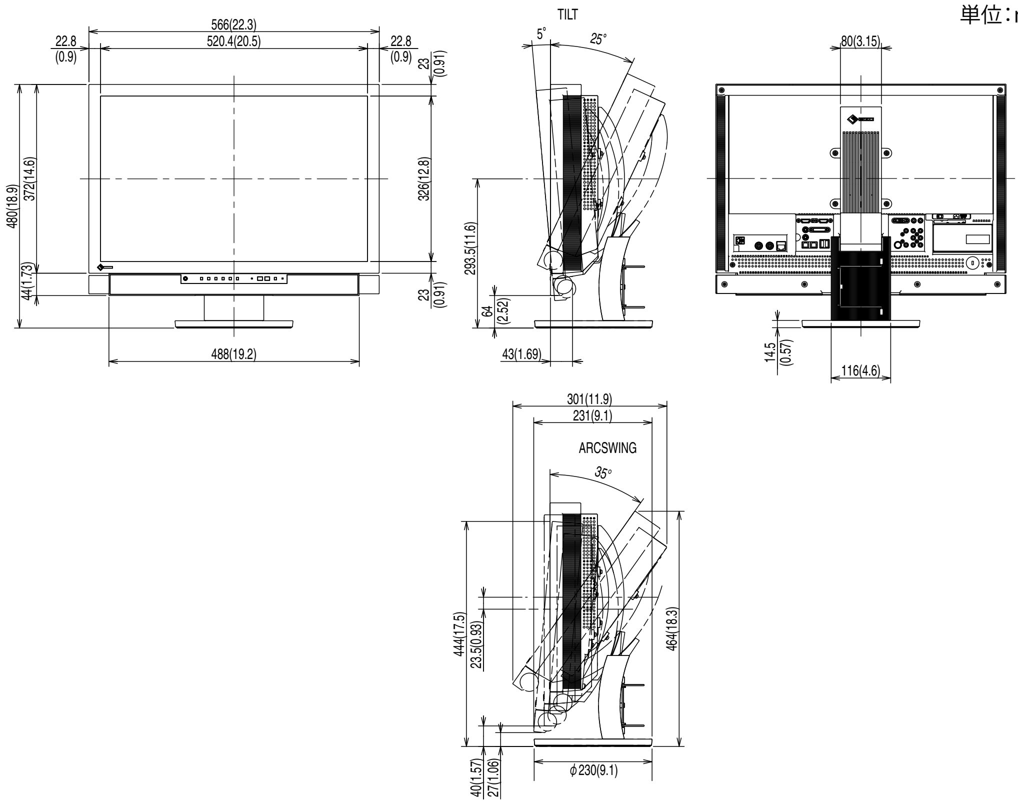
第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層
番組を探す	番組表で	番組表	番組内容	
	今放送中から	裏番組表		
	ジャンル別に	メインジャンル	サブジャンル	ジャンル検索結果
情報を見る	放送メール			
	購入記録			
	購入記録送信結果			
	双方向通信一覧			
	B-CAS カード			
	ステータス表示	ソフト情報表示		
		ルート証明書表示		
	お好みページ			
	ボード	CS1 ボード		
		CS2 ボード		
設定する	システム設定	字幕の設定	字幕	
			字幕言語	
			文字スーパー	
			文字スーパー言語	
		制限項目設定	視聴可能年齢	
			一番組限度額	
			制限解除有効期限	
			暗証番号変更	
			暗証番号削除	
		文字入力設定	入力方法	
			変換方式	
		選局対象		
		二重音声設定		
		タイトル表示		
		機能待機		
	設置設定	チャンネル設定	地上デジタル	初期スキャン
				再スキャン
				マニュアル
			BS	
			CS1	
			CS2	
		地域設定	県域設定	
			郵便番号	
			地域設定削除	

次ページにつづく>>

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層
設定する	地域設定	受信設定	地上デジタル	物理チャンネル選択
				受信状況
			衛星	アンテナ電源
				トランスポンダ選択
				衛星周波数
				受信状況
		電話設定	回線設定	
			トーン検出	
			内線設定	
			電話テスト	
			発信者番号通知	
			電話会社設定	
			マイラインプラス	
		B-CAS カードテスト		
		ネットワーク設定	接続テスト	
			IP アドレス自動取得	
			IP アドレス	
			サブネットマスク	
			ゲートウェイアドレス	
			DNS-IP 自動取得	
			プライマリ DNS	
			セカンダリ DNS	
			MAC アドレス	
		ブラウザ設定	プロキシアドレス	
			プロキシポート番号	
	自動更新設定	ダウンロード予約		
	設定リセット	個人情報リセット		

外観寸法

単位：mm（インチ）



別売オプション品

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報は、当社のホームページをご覧ください。

http://www.eizo.co.jp

6-6　用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：暖色で紙色に近い白色
9300K：やや青みがかった白色

カラーシステム

ビデオ信号の信号方式のことです。本機は、NTSC、PAL、PAL-60 に対応しています。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と赤の色差（U）、青の色差（V）により表現する YUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の階調により表現する RGB などがあります。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1920 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため 1920 × 1200 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

コントラスト拡張

映像に合わせてバックライトの明るさとゲインレベルを制御するとともに、ガンマ値を補正し、コントラスト感のある画像を実現する機能です。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

輪郭補正

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（節電モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Contents Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMI とは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格のひとつである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1 本のケーブルで送受信することができます。なお、本機は入力にのみ対応しています。

HDMI CEC（Consumer Electronics Control）

CEC とは、HDMI で規定されている機器間制御に関する規格です。CEC に対応した機器を HDMI ケーブルで接続すると、機器間の連動操作が可能になります。

I/P（Interlace Progressive）変換

画面の走査処理を I（インターレス）から P（プログレッシブ＝ノンインターレス）に変換する技術です。DVD などデジタル処理されたビデオ信号で、ちらつきを軽減するなど、より高品質な画面を表示するために用いられます。

VESA DPMS（Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

6-7 プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

表示モード	ドットクロック		周波数 水平：kHz 垂直：Hz	極　性
NEC PC-9821 640 × 400@70Hz	25.2MHz	水平	31.48	負
		垂直	70.10	負
VGA 640 × 480@60Hz	25.2MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VGA 720 × 400@70Hz	28.3MHz	水平	31.47	負
		垂直	70.09	正
Macintosh 640 × 480@67Hz	30.2MHz	水平	35.00	負
		垂直	66.67	負
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.3MHz	水平	49.72	負
		垂直	74.55	負
Macintosh 1152 × 870@75Hz	100.0MHz	水平	68.68	負
		垂直	75.06	負
Macintosh 1280 × 960@75Hz	126.2MHz	水平	74.76	正
		垂直	74.76	正
VESA 640 × 480@73Hz	31.5MHz	水平	37.86	負
		垂直	72.81	負
VESA 640 × 480@75Hz	31.5MHz	水平	37.50	負
		垂直	75.00	負
VESA 720 × 480@60Hz	28.3MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VESA 800 × 600@56Hz	36.0MHz	水平	35.16	正
		垂直	56.25	正
VESA 800 × 600@60Hz	40.0MHz	水平	37.88	正
		垂直	60.32	正
VESA 800 × 600@72Hz	50.0MHz	水平	48.08	正
		垂直	72.19	正
VESA 800 × 600@75Hz	49.5MHz	水平	46.88	正
		垂直	75.00	正
VESA 848 × 480@60Hz	33.8MHz	水平	31.02	正
		垂直	60.00	正
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0MHz	水平	48.36	負
		垂直	60.00	負
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0MHz	水平	56.48	負
		垂直	70.07	負
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8MHz	水平	60.02	正
		垂直	75.03	正
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0MHz	水平	67.50	正
		垂直	75.00	正
VESA CVT 1280 × 768@60Hz	79.5MHz	水平	47.78	負
		垂直	59.87	正
VESA CVT 1280 × 768@75Hz	102.3MHz	水平	60.29	負
		垂直	74.89	正
VESA CVT RB 1280 × 768@60Hz	68.3MHz	水平	47.40	正
		垂直	60.00	負
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0MHz	水平	60.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0MHz	水平	63.98	正
		垂直	60.02	正
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0MHz	水平	79.98	正
		垂直	75.03	正
VESA 1360 × 768@60Hz	85.5MHz	水平	47.71	正
		垂直	60.02	正
VESA 1600 × 1200@60Hz	162.0MHz	水平	75.00	正
		垂直	60.00	正

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、設定メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、設定メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、設定メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

表示モード	ドット クロック		周波数 水平：kHz 垂直：Hz	極　性
VESA CVT 1680 × 1050@60Hz	146.3MHz	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正
VESA CVT RB 1680 × 1050 @60Hz	119.0MHz	水平	64.67	正
		垂直	59.88	負
VESA CVT RB 1920 × 1200@60Hz	154.0MHz	水平	74.04	正
		垂直	59.95	負
720p@50Hz 1280 × 720p	74.3MHz	水平	37.50	正
		垂直	50.00	正
720p@60Hz 1280 × 720p	74.3MHz	水平	45.00	正
		垂直	59.94	正
1080p@50Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	56.25	正
		垂直	50.00	正
1080p@60Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	67.50	正
		垂直	59.94	正
VESA CVT RB 1280 × 720@60Hz	64.0MHz	水平	44.44	正
		垂直	59.98	負
VESA CVT 1280 × 720 @60Hz	74.5MHz	水平	44.47	負
		垂直	59.86	正
VESA CVT RB 1920 × 1080@60Hz	138.5MHz	水平	66.59	正
		垂直	59.93	負

第 7 章　アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポートの拠点一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

廃棄時にご注意願います！

2009 年 4 月の家電リサイクル法の改正により、お客様が液晶テレビを廃棄される場合には、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）が必要になります。収集・運搬料金等は、各自治体・販売店によって異なります。

長年ご使用の機器の点検を！

長期ご使用になりますと、内部のほこりなどの堆積によって
故障する場合があります。

愛情点検

このような症状はありませんか？	● 電源を入れても映像や音が出ない ● 映像が時々消える ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする ● 製品内部に水や異物が入った ● 電源を切っても映像や音が消えない

ご使用中止	すぐに電源プラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ず販売店またはエイゾーサポートに点検をご相談ください。

株式会社ナナオ

〒924-8566　石川県白山市下柏野町 153 番地

http://www.eizo.co.jp

第 2 版　2009 年 6 月

00N0L522B1

(U.M-FX2431TV)